

第七十七回帝國議會衆院

產業設備營團法案委員會議錄(速記)第二回

付託議案
(六號) 產業設備營團法案(政府提出)(第一回)

昭和十六年十一月十八日(火曜日)午前十時

十二分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 橫川重次君

理事伊禮肇君

理事木村淺七君

理事鶴理事

理事福田關次郎君

理事長野高一君

理事青木作雄君

板野友造君

金光庸夫君

喜多壯一郎君

佐藤謙之輔君

曾和義式君

小林房之助君

堤康次郎君

野口喜一君

松井郡治君

星一君

星島二郎君

龍澤七郎君

西尾末廣君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣岸信介君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官谷口恒二君

大藏省銀行局長相田岩夫君

大藏省會社部長山住克巳君

陸軍次官木村兵太郎君

商工次官椎名惣三郎君

商工省總務局長神田選君

商工省鐵鋼局長津田廣君

商工省化學局長山本茂君

商工省機械局長佐藤笠太郎君

商工書記官赤間文三君

燃料局長官小金義照君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

産業設備營團法案(政府提出)

○横川委員長開會致シマス、皆様ニ申上

ゲマスガ、本日午前九時四十五分ニ理事會ヲ開會致シマス、是等ノ事項ヲ此ノ際申上ダマス

○横川委員長開會致シマス、皆様ニ申上

ゲマスガ、本日午前九時四十五分ニ理事會ヲ開會致シマス、是等ノ事項ヲ此ノ際申上ダマス

マシタ事項ヲ此ノ際申上ダマス

一、本議會ノ特質ニ鑑ミ、本委員會ニ於

テモ質疑ハ要ヲ指摘シ、出來ルダケ簡潔ニセラレタキコト

一、質問者ハ一人一時間ノ限度ヲ以テ質

疑ヲ了セラレタキコト、尙ほ多少ノ伸縮ハ委員長ノ裁量ニ委セラレタキコト

一、重複ノ質疑ハ出來ルダケ之ヲ避ケラレタキコト、其ノ爲メ各委員ニ於カレテハ努メテ其ノ席ヲ保タレタキコト

次ニ是ハ本委員會ノ午後ノ再開ノコトデ

アリマスルガ

一、午後ハ本會議ニ於テ決議案議了後直

チニ再開ノコト

出席政府委員左ノ如シ

商工大臣岸信介君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏次官谷口恒二君

大藏省銀行局長相田岩夫君

大藏省會社部長山住克巳君

陸軍次官木村兵太郎君

商工次官椎名惣三郎君

八當局ノ議案ニ對シマスル説明ヲ求メマス——岸商工大臣

○岸國務大臣 産業設備營團法案提案ノ理由ヲ御説明致シマス、最近ニ於ケル時局ノ緊迫化ハ軍需產業、生産擴充計畫、代用品產業、不足物資產業等ノ國家緊要產業ノ急速

且ツ大規模マル増産ヲ要請スル所極メ切ナルモノガアルノデゴザイマシテ、之ニ對シテ政府ハ從來各種此ノ事業法ノ制定、獎勵金、助成金等ノ交付等、各般ノ施設ヲ講

ジテ參リマシタガ、是等國家緊要產業ノ中ニハ、企業トシテノ危険性相當高キ等ノ事由ニ依リマシテ、其ノ設備ノ建設又ハ維持ヲ一般事業者ニ期待スルコトガ著シク困難ナルモノガ少クナインデアリマシテ、此ノ種ノ設備ノ建設ニ付キマシテハ、國家トシリ近時著シク過大化セル此ノ未動遊休設備ハ、我が國戰時經濟ノ運營ニ幾多ノ好マンカラザル影響ヲ及ボシツツアリマスノデ、現下ノ急務ナリト考フルノデアリマス、又第三國貿易ノ杜絶、輸送力ノ窮屈化等ニ依テ新タニ積極的ナル施設援助ヲ行フコトガ現第一ハ、國家緊要產業ノ設備ニシテ事業者ニ付キマシテモウ少シ詳シ御説明ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、只今申上ダシタ御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

トスル次第アリマス、何卒十分御審議ノ上御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

尙ほ御審議ノ参考マデニ本營團ノ業務ニ付キマシテモウ少シ詳シ御説明ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、只今申上ダシタ御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

第一ハ、國家緊要產業ノ設備ニシテ事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコトガ著シク困難ナルモノノ建設、貸付、出資、賣買ト云フコトデアリマス、第二ハ、未動遊休設備ノ賣買、保有、活用ニ關スル問題デアリマス、

本營團ノ資本ハ大體自己資本ヲ二億ト致シマシテ、産業設備債券ガ其ノ五倍ノ十億、合計十二億トナツテ居ルノデアリマス、但シ此ノ資本金二億ノ中五千万圓ハ政府ヨリ途ヲ圖リ、又ハ將來ノ生產擴充上緊要ナルモノハ「スクラップ」トシテ之ヲ再生活用ノシテ、所謂重點主義生產ノ果敢ナル實行ヲ可能ナラシムルト共ニ、低物資政策ノ確保

ニ資スルコトガ肝要ナリト存ズルノデアリ

マス、而シテ是等ノ施設ニ付キマシテハ統制會等ト緊密ニ連絡協調致シマシテ、其ノ

實行ノ適正圓滑ヲ期スルコトガ必要デアリ

マスガ、施設自體トシテハ之ヲ國家トシテ

行フヲ適當ト考ヘラレマスノデ、茲ニ是等

ノ目的ヲ達成スル爲ノ母體機關タル重要使

命ヲ擔當スベキモノトシテ、政府ガ全額出

資ヲ致シマスル所ノ特殊法人産業設備營團ヲ設立シテ、右營團ヲシテ政府ノ意圖ヲ奉ジ、

國家緊要產業ノ設備ノ建設、貸與、出資、未動

遊休設備ノ賣買、保有等ノ業務ヲ行ハシメン

トスル次第アリマス、何卒十分御審議ノ上御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

尙ほ御審議ノ参考マデニ本營團ノ業務ニ付キマシテモウ少シ詳シ御説明ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、只今申上ダシタ御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

第一ハ、國家緊要產業ノ設備ニシテ事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコトガ著シク困難ナルモノノ建設、貸付、出資、賣買ト云フコトデアリマス、第二ハ、未動遊休設備ノ賣買、保有、活用ニ關スル問題デアリマス、

本營團ノ資本ハ大體自己資本ヲ二億ト致シマシテ、産業設備債券ガ其ノ五倍ノ十億、合計十二億トナツテ居ルノデアリマス、但シ此ノ資本金二億ノ中五千万圓ハ政府ヨリ途ヲ圖リ、又ハ將來ノ生產擴充上緊要ナルモノハ「スクラップ」トシテ之ヲ再生活用ノシテ、所謂重點主義生產ノ果敢ナル實行ヲ可能ナラシムルト共ニ、低物資政策ノ確保

ニ資スルコトガ肝要ナリト存ズルノデアリ

マス、而シテ是等ノ施設ニ付キマシテハ統

制會等ト緊密ニ連絡協調致シマシテ、其ノ

實行ノ適正圓滑ヲ期スルコトガ必要デアリ

マスガ、施設自體トシテハ之ヲ國家トシテ

行フヲ適當ト考ヘラレマスノデ、茲ニ是等

ノ目的ヲ達成スル爲ノ母體機關タル重要使

命ヲ擔當スベキモノトシテ、政府ガ全額出

資ヲ致シマスル所ノ特殊法人産業設備營團ヲ設立シテ、右營團ヲシテ政府ノ意圖ヲ奉ジ、

國家緊要產業ノ設備ノ建設、貸與、出資、未動

遊休設備ノ賣買、保有等ノ業務ヲ行ハシメン

トスル次第アリマス、何卒十分御審議ノ上御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

尙ほ御審議ノ参考マデニ本營團ノ業務ニ付キマシテモウ少シ詳シ御説明ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、只今申上ダシタ御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

第一ハ、國家緊要產業ノ設備ニシテ事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコトガ著シク困難ナルモノノ建設、貸付、出資、賣買ト云フコトデアリマス、第二ハ、未動遊休設備ノ賣買、保有、活用ニ關スル問題デアリマス、

本營團ノ資本ハ大體自己資本ヲ二億ト致シマシテ、産業設備債券ガ其ノ五倍ノ十億、合計十二億トナツテ居ルノデアリマス、但シ此ノ資本金二億ノ中五千万圓ハ政府ヨリ途ヲ圖リ、又ハ將來ノ生產擴充上緊要ナルモノハ「スクラップ」トシテ之ヲ再生活用ノシテ、所謂重點主義生產ノ果敢ナル實行ヲ可能ナラシムルト共ニ、低物資政策ノ確保

ニ資スルコトガ肝要ナリト存ズルノデアリ

マス、而シテ是等ノ施設ニ付キマシテハ統

制會等ト緊密ニ連絡協調致シマシテ、其ノ

實行ノ適正圓滑ヲ期スルコトガ必要デアリ

マスガ、施設自體トシテハ之ヲ國家トシテ

行フヲ適當ト考ヘラレマスノデ、茲ニ是等

ノ目的ヲ達成スル爲ノ母體機關タル重要使

命ヲ擔當スベキモノトシテ、政府ガ全額出

資ヲ致シマスル所ノ特殊法人産業設備營團ヲ設立シテ、右營團ヲシテ政府ノ意圖ヲ奉ジ、

國家緊要產業ノ設備ノ建設、貸與、出資、未動

遊休設備ノ賣買、保有等ノ業務ヲ行ハシメン

トスル次第アリマス、何卒十分御審議ノ上御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

尙ほ御審議ノ参考マデニ本營團ノ業務ニ付キマシテモウ少シ詳シ御説明ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、只今申上ダシタ御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

第一ハ、國家緊要產業ノ設備ニシテ事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコトガ著シク困難ナルモノノ建設、貸付、出資、賣買ト云フコトデアリマス、第二ハ、未動遊休設備ノ賣買、保有、活用ニ關スル問題デアリマス、

本營團ノ資本ハ大體自己資本ヲ二億ト致シマシテ、産業設備債券ガ其ノ五倍ノ十億、合計十二億トナツテ居ルノデアリマス、但シ此ノ資本金二億ノ中五千万圓ハ政府ヨリ途ヲ圖リ、又ハ將來ノ生產擴充上緊要ナルモノハ「スクラップ」トシテ之ヲ再生活用ノシテ、所謂重點主義生產ノ果敢ナル實行ヲ可能ナラシムルト共ニ、低物資政策ノ確保

ニ資スルコトガ肝要ナリト存ズルノデアリ

マス、而シテ是等ノ施設ニ付キマシテハ統

制會等ト緊密ニ連絡協調致シマシテ、其ノ

實行ノ適正圓滑ヲ期スルコトガ必要デアリ

マスガ、施設自體トシテハ之ヲ國家トシテ

行フヲ適當ト考ヘラレマスノデ、茲ニ是等

ノ目的ヲ達成スル爲ノ母體機關タル重要使

命ヲ擔當スベキモノトシテ、政府ガ全額出

資ヲ致シマスル所ノ特殊法人産業設備營團ヲ設立シテ、右營團ヲシテ政府ノ意圖ヲ奉ジ、

國家緊要產業ノ設備ノ建設、貸與、出資、未動

遊休設備ノ賣買、保有等ノ業務ヲ行ハシメン

トスル次第アリマス、何卒十分御審議ノ上御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

尙ほ御審議ノ参考マデニ本營團ノ業務ニ付キマシテモウ少シ詳シ御説明ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、只今申上ダシタ御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

第一ハ、國家緊要產業ノ設備ニシテ事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコトガ著シク困難ナルモノノ建設、貸付、出資、賣買ト云フコトデアリマス、第二ハ、未動遊休設備ノ賣買、保有、活用ニ關スル問題デアリマス、

本營團ノ資本ハ大體自己資本ヲ二億ト致シマシテ、産業設備債券ガ其ノ五倍ノ十億、合計十二億トナツテ居ルノデアリマス、但シ此ノ資本金二億ノ中五千万圓ハ政府ヨリ途ヲ圖リ、又ハ將來ノ生產擴充上緊要ナルモノハ「スクラップ」トシテ之ヲ再生活用ノシテ、所謂重點主義生產ノ果敢ナル實行ヲ可能ナラシムルト共ニ、低物資政策ノ確保

ニ資スルコトガ肝要ナリト存ズルノデアリ

マス、而シテ是等ノ施設ニ付キマシテハ統

制會等ト緊密ニ連絡協調致シマシテ、其ノ

實行ノ適正圓滑ヲ期スルコトガ必要デアリ

マスガ、施設自體トシテハ之ヲ國家トシテ

行フヲ適當ト考ヘラレマスノデ、茲ニ是等

ノ目的ヲ達成スル爲ノ母體機關タル重要使

命ヲ擔當スベキモノトシテ、政府ガ全額出

資ヲ致シマスル所ノ特殊法人産業設備營團ヲ設立シテ、右營團ヲシテ政府ノ意圖ヲ奉ジ、

國家緊要產業ノ設備ノ建設、貸與、出資、未動

遊休設備ノ賣買、保有等ノ業務ヲ行ハシメン

トスル次第アリマス、何卒十分御審議ノ上御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

尙ほ御審議ノ参考マデニ本營團ノ業務ニ付キマシテモウ少シ詳シ御説明ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、只今申上ダシタ御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

第一ハ、國家緊要產業ノ設備ニシテ事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコトガ著シク困難ナルモノノ建設、貸付、出資、賣買ト云フコトデアリマス、第二ハ、未動遊休設備ノ賣買、保有、活用ニ關スル問題デアリマス、

本營團ノ資本ハ大體自己資本ヲ二億ト致シマシテ、産業設備債券ガ其ノ五倍ノ十億、合計十二億トナツテ居ルノデアリマス、但シ此ノ資本金二億ノ中五千万圓ハ政府ヨリ途ヲ圖リ、又ハ將來ノ生產擴充上緊要ナルモノハ「スクラップ」トシテ之ヲ再生活用ノシテ、所謂重點主義生產ノ果敢ナル實行ヲ可能ナラシムルト共ニ、低物資政策ノ確保

ニ資スルコトガ肝要ナリト存ズルノデアリ

マス、而シテ是等ノ施設ニ付キマシテハ統

制會等ト緊密ニ連絡協調致シマシテ、其ノ

實行ノ適正圓滑ヲ期スルコトガ必要デアリ

マスガ、施設自體トシテハ之ヲ國家トシテ

行フヲ適當ト考ヘラレマスノデ、茲ニ是等

ノ目的ヲ達成スル爲ノ母體機關タル重要使

命ヲ擔當スベキモノトシテ、政府ガ全額出

資ヲ致シマスル所ノ特殊法人産業設備營團ヲ設立シテ、右營團ヲシテ政府ノ意圖ヲ奉ジ、

國家緊要產業ノ設備ノ建設、貸與、出資、未動

遊休設備ノ賣買、保有等ノ業務ヲ行ハシメン

トスル次第アリマス、何卒十分御審議ノ上御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

尙ほ御審議ノ参考マデニ本營團ノ業務ニ付キマシテモウ少シ詳シ御説明ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、只今申上ダシタ御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

第一ハ、國家緊要產業ノ設備ニシテ事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコトガ著シク困難ナルモノノ建設、貸付、出資、賣買ト云フコトデアリマス、第二ハ、未動遊休設備ノ賣買、保有、活用ニ關スル問題デアリマス、

本營團ノ資本ハ大體自己資本ヲ二億ト致シマシテ、産業設備債券ガ其ノ五倍ノ十億、合計十二億トナツテ居ルノデアリマス、但シ此ノ資本金二億ノ中五千万圓ハ政府ヨリ途ヲ圖リ、又ハ將來ノ生產擴充上緊要ナルモノハ「スクラップ」トシテ之ヲ再生活用ノシテ、所謂重點主義生產ノ果敢ナル實行ヲ可能ナラシムルト共ニ、低物資政策ノ確保

ニ資スルコトガ肝要ナリト存ズルノデアリ

マス、而シテ是等ノ施設ニ付キマシテハ統

制會等ト緊密ニ連絡協調致シマシテ、其ノ

實行ノ適正圓滑ヲ期スルコトガ必要デアリ

マスガ、施設自體トシテハ之ヲ國家トシテ

行フヲ適當ト考ヘラレマスノデ、茲ニ是等

ノ目的ヲ達成スル爲ノ母體機關タル重要使

命ヲ擔當スベキモノトシテ、政府ガ全額出

資ヲ致シマスル所ノ特殊法人産業設備營團ヲ設立シテ、右營團ヲシテ政府ノ意圖ヲ奉ジ、

國家緊要產業ノ設備ノ建設、貸與、出資、未動

遊休設備ノ賣買、保有等ノ業務ヲ行ハシメン

トスル次第アリマス、何卒十分御審議ノ上御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

尙ほ御審議ノ参考マデニ本營團ノ業務ニ付キマシテモウ少シ詳シ御説明ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、只今申上ダシタ御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

第一ハ、國家緊要產業ノ設備ニシテ事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコトガ著シク困難ナルモノノ建設、貸付、出資、賣買ト云フコトデアリマス、第二ハ、未動遊休設備ノ賣買、保有、活用ニ關スル問題デアリマス、

本營團ノ資本ハ大體自己資本ヲ二億ト致シマシテ、産業設備債券ガ其ノ五倍ノ十億、合計十二億トナツテ居ルノデアリマス、但シ此ノ資本金二億ノ中五千万圓ハ政府ヨリ途ヲ圖リ、又ハ將來ノ生產擴充上緊要ナルモノハ「スクラップ」トシテ之ヲ再生活用ノシテ、所謂重點主義生產ノ果敢ナル實行ヲ可能ナラシムルト共ニ、低物資政策ノ確保

ニ資スルコトガ肝要ナリト存ズルノデアリ

マス、而シテ是等ノ施設ニ付キマシテハ統

制會等ト緊密ニ連絡協調致シマシテ、其ノ

實行ノ適正圓滑ヲ期スルコトガ必要デアリ

マスガ、施設自體トシテハ之ヲ國家トシテ

行フヲ適當ト考ヘラレマスノデ、茲ニ是等

ノ目的ヲ達成スル爲ノ母體機關タル重要使

命ヲ擔當スベキモノトシテ、政府ガ全額出

資ヲ致シマスル所ノ特殊法人産業設備營團ヲ設立シテ、右營團ヲシテ政府ノ意圖ヲ奉ジ、

國家緊要產業ノ設備ノ建設、貸與、出資、未動

遊休設備ノ賣買、保有等ノ業務ヲ行ハシメン

トスル次第アリマス、何卒十分御審議ノ上御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

尙ほ御審議ノ参考マデニ本營團ノ業務ニ付キマシテモウ少シ詳シ御説明ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、只今申上ダシタ御同意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

第一ハ、國家緊要產業ノ設備ニシテ事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコトガ著シク困難ナルモノノ建設、貸付、出資、賣買ト云フコトデアリマス、第二ハ、未動遊休設備ノ賣買、保有、活用ニ關スル問題デアリマス、

本營團ノ資本ハ大體自己資本ヲ二億ト致シマシテ、産業設備債券ガ其ノ五倍ノ十億、合計十二億トナツテ居ルノデアリマス、但シ此ノ資本金二億ノ中五千万圓ハ政府ヨリ途ヲ圖リ、又ハ將來ノ生產擴充上緊要ナルモノハ「スクラップ」トシテ之ヲ再生活用ノシテ、所謂重點主義生產ノ果敢ナル實行ヲ可能ナラシムルト共ニ、低物資政策ノ確保

ニ資スルコトガ肝要ナリト存ズルノデアリ

マス、而シテ是等ノ施設ニ付キマシテハ統

制會等ト緊密ニ連絡協調致シマシテ、其ノ

實行ノ適正圓滑ヲ期ス

一億五千万圓ト云フコトニナルノデアリマス、此ノ十一億五千万圓ノ資金ヲ、先程申シマシタ二ツノ目的ニドウ云フ風ニ割振ル豫定カト申シマスト、其ノ概要ニ付テ吾々ノ考ヘヲ申上ゲマス

豫メ御断リ申上ゲタイノデアリマスガ、何分ニモ本營園ノ業務ハ全然新規ノモノデアリマスルノデ、今カラ申上ゲマスル數字モ、今後設立委員ノ方々ニ御審議ヲ願フ際、相或ハ正式ニ營園ガ設立セラレマシテ、具體的ニ事業計畫ヲ樹立致シマス場合ニハ、相當ノ變化モアルモノト豫想セラレマスノデ、本營園設置ノ案ヲ立案致シマシタ際ノ資料程度ニ一ツ御聽取ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

更ニ實ハ此ノ種ノ特種法人ヲ設立致シマス場合ニハ、事業計畫ノ大要ノ資料ヲ御配付申上ゲテ御審議、御協贊ヲ御願ヒ致スベキデアリマスガ、事業ノ性質上、對内的ニモ、對外的ニモ、日本ニドレグケノ未動遊休施設ガアルカト云フヤウナ事柄ノ關係數字ヲ正式ニ公表サレマスクトハ、現在ノ状況トシテ不適當ト考ヘマスノデ、洵ニ恐縮デアリマスガ、御配付申上ゲテ居リマセヌノデ、惡シカラズ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

隨ヒマシテ是カラ御説明申上ガル數字ニ付キマシテハ、サウ云フ意味ニ於テ御聽取ヲ願ヒタイト思ヒマス

脩テ現在日本ニ遊休未動設備ノ現在高ガドレダケニ達シテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハツハ日本興業銀行ノ調査ガアリマス、所ガ之ニ依リマスト、未動施設ガ約二十四億、遊休設備ガ約八十五億、合計百九億ト云フ巨額ニ上ツテ居リマス、此

ノ金額ハ日本ノ全国定資産總額五百七億ノ
二割強ニ當ルト云フコトニナル譯デアリマ
ス、所ガ商工省ノ重要産業ノ部門ニ付キマ
シテハ、他ノ方法ニ依ツテ調査致シマシタ
所ニ依リマスト云フト、今日マデニ判明シタ
モノハ、約二十五億前後デアリマス、百九
億ト二十五億前後ト云フ事柄ニ付キマシテ
ハ、相當ナ開キガアルノデアリマスガ、實
ハ是ハ兩方ノ調査ノ仕方ガ全然違ツテ居ル
ノデアリマス、興銀ノ方ノ調査ハ、我が國
産業ノ固定資産ヲ拂込資本金、社債、積立金
借入金等ヲ基礎トシテ一定ノ假定ヲ以テ推
定シテ、之ニ産業ノ操業率ヲ推定スルト云
フヤウナ方法ヲ採ツテ居ルノデアリマス、
サウ云フ推定ヲ前提トシテ居ルシ、又未動
設備ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、苟
モ建設途上ニアツテ、未ダ動イテ居ラヌモ
ノヲ悉ク未動資產ノ中ニ入レテ居ルノデア
リマスガ、私共ノ調査ハ、サウ云フ點ニ付
キマシテ、未動施設ニ付キマシテハ、未動
ノ狀況デ近キ將來ニ於テ殆ド豫測ガ付カヌ
ト云フヤウナモノダケフ此ノ未動資產トシ
テ舉ゲテ居ル、所ガ興銀ノ方デハ、苟モ途
中ニアルモノハ、將來二年後三年後ニ出來
上ルコトガハツキリシテ居ツテモ、未動設
備ニ入レテ居ルト云フヤウナ點ニアリマス、
或ハ私共ノ方デハ中小工業ノ方ノモノヲ含
ンデ居リマセヌガ、之ヲ含ンデ居ルト云フ
ヤウナ點ニ於キマシテ、全然調査ノ基礎ヲ
異ニ致シテ居ルノデ、サウ云フ數字ニナツ
テ居ルノデアリマス、私共ノ方ハ大體重要
産業ニ付キマシテ、現在今申上ゲタヤウナ
意味ニ於テ、未動遊休ニナツテ居ルモノヲ
取上ゲテ集計シテ見マスト、二十五億前後
ノコトニナツテ居ル譯デアリマス、所デ此

未動遊休設備ノ存在ガ、申スマデモナク
原價高ノ原因トナリ、經濟界ニ惡影響ヲ與
ヘテ居ルコトハ、先程提案理由ニ於テモ申
上ガア通りアリマスガ、此ノ重點主義ノ實行ハ
謂重點主義生産ヲ敢行シテ、我ガ國國民經
濟ノ生產性、經濟性ヲ昂揚スルコトガ急務
ナノデアリマスガ、此ノ重點主義ノ實行ハ
反面ニ於テ完全ニ操業停止ニ陥ル工場ヲ生
ズルコトナリマスノデ、此ノ工場ノ處理
對策ガ別途講ゼラレテ居リマセヌト、其ノ
徹底ヲ期スルコトガ實際問題トシテ困難ナ
ノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、
重要產業ノ徹底セル整理統合、再編成計畫
ノ樹立ニハ、是等未動遊休設備ノ處理機關
ノ存在ガ必須ノ前提條件ト考ヘルノデアリマ
ス、現ニ或ル業種デハ整理統合ノ具體策
ハアツテモ、本營團ノ如キ機關ノ存在セザ
ルコトヤ、其ノ他課稅上ノ困難ノ爲ニ、其ノ
實行ガ停滞シテ居ルヤウナ實例モアルノデ
アリマス

マシテモ、事業者トシテハ、將來ノ見込ガ十分立タナイト云フ事業上ノ危險負擔ニ付テハ不安ヲ持ツ譯デアリマシテ、中々思フヤウニ是ガ出來テ行カヌ、斯ウ云フ場合ニ補助金ヲ交付スル方法モアリマスケレドモ是ハ必ズシモ適當デナクシテ、補助金ヲヤラントスレバ此ノ設備ガ増加シタダケノ生産費ノ割高トナリ、其ノ爲メ物價ノ昂騰ヲ來スト云フヤウナコトニナリマシテ、價格ノ値上ヲ以テ「カバー」セネバラスト云フコトニナリマスガ、是モ低物價政策トノ關係上適當デナイノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ此ノ營團ガ設備ヲ建設シテ、低廉ナル貸貸料ヲ取ツテ、之ヲ貸付使用サセ、萬一不適用トナレバ、之ヲ引取ルコト致シマスレバ、事業者ハ安ンジテ重要物資ノ生産ニ邁進シ得ル譯デアリマス、斯ウ云フ事例ハ「アルミニウム」ノ場合ノミナラズ、戰時又ハ事變後需要方激減スル虞ガアリ、又ハ技術上今日多少ノ不安ノアル重要物資ノ生産等ノ場合ノ如ク、事業者ニ取ツテハ、其ノ物資ノ増產ガ、目下國家ガ之ヲ最モ必要トシテ居ルコトヲ知悉シテ居リナガラ、當該事業ノ増產ヲ躊躇シツツアルヤウナ事例ニ付キマシテモ、本營團ノ活動ニ依リマシテ、之ヲ打開スルコトガ出來ルト思フノデアリマス此ノ買取總額ハ約三億乃至四億ト考ヘテ居常、收支日論見ノ概要ヲ御説明致シマスト、戰時中維持ヲ必要トスル設備ノ買取保有、トシ、保有設備ノ維持費、倉敷料、移轉費ハ、總テ營團ノ損失トナリマスガ、其ノ損失ハ昭和二十年マデノ累計約一億一千七百万圓ト計算ヲ致シテ居リマス、第二ハ整理廢棄

スペキ未動遊休設備アリマス、整理廢棄
スペキ設備ノ總額ヲ約二億六千万圓程度ト
見テ居リマス、前述ノ如ク此ノ場合之ヲ「ス
クラップ」ト致シマスガ、其ノ「スクラン
プ」ノ價格ガ、約一千八百万圓ニ推定出来
ルト思ヒマス、唯相當高ク買ヒマスノデ、
買フ時ニハ高イ値段デ買ヒマシテ、之ヲ
「スクランプ」トシテ賣ル譯デアリマスノデ、
之ニ依ル損失ハ約一億二千五百万圓程度ニ
考ヘテ居ルノデアリマス

千七百万圓、整理廢棄資材ベキ設備ノ賣買差損金一億二千五百万圓、活用ノ賣賣損失六百七十五萬圓、債券利拂一億一千六百五十万圓ニ、借入金ノ利拂等ヲ含メタル合計額カラ、建設設備ノ賃貸料及ビ配當金收入五千九百五千万圓ヲ差引キ、結局三億一千百九十万圓ニ達スル見込ミデアリマス但シ右ノ數字ハ昭和二十年度マデノ分ノ合計デアリマシテ、別途損失補償金トシテ、豫算外國庫負擔ノ契約ヲ御願ヒ致シテ居リマスル八百五

ソレカラ内務當局ノ出席モ時ニ求メテ戴キ
タイ、厚生當局ハ無論デアリマスガ、特ニ職
業局長ノ出席ヲ計ラツテ戴キタイト思ヒマ
ス、ソレカラ大藏當局ニは是非今日中ニ
出シテ戴キタイノデアリマスガ、更生金庫
ノ取扱ツテ居ル轉廢業者ノ範圍ニ關スル資
料及ビ國民更生金庫ノ引受資產等ノ評價方
法基準ヲ簡単デ宜シウゴザイマスカラ示シ
テ貰ヒタイト思ヒマス
商工大臣ニ質疑フシマス、遊休未動設備

コトガ、今ノ日本トシテノ國家的要請ダレ
云フコトモ吾々ハ感覺シ得ル、私ハ今度ノ
營團法案ガ時局緊迫ノ力デ提出セラレタ、
斯ウ云フ感覺ヲ持ツノデス、私ノ質疑ハ全
部ソコカラ出發スルノデスカラ、數字ナド
ニ付テモ今前以テ商工大臣ガ今日ノ防諜ヒ
ノ必要ナドデ釘ヲ差シテ居ラレルガ、私ハ
出來ルダケ適當ナ機會ニ、場合ニ依ツタク
ラバ其ノ根據ニナル數字ハ祕密會デモ悉
員ニ示サナケレバ、本當ノ質疑ヘ進マナイト

第三ハ未動遊休設備ノ活用ノ爲ニスル賣買デアリマス、活用シ得ル未動遊休設備ヘ約二億六千万圓ニ達シマスルガ、其ノ大部分ハ政府直接ノ活用措置又ハ營團ノ斡旋ニ依リ活用致シマスノデ、本營團ガ一時買取りタル上、適當ナ利用者ニ賣却スルモノハ右ノ中三千六百七十五万圓程度ニ豫想致シテ居リマス備ノ一時の保有ニ要スル金利利拂、及び買受價格ト賣却價格ノ差損金ト致シマシテヘ、約額ヲ五億四千六百万圓程度、建設出資スル資、賣買デアリマスガ、建設貸與スル設備總額ヲ一億三千四百万圓、合計約七億八千万圓ト豫定致シテ居リマス、建設設備ノ賃貸料及ビ配當金トシテ、ソレム、約四千六百万圓及ビ一千三百五十万圓ニナリマス、右ニ依リマシテ所要資金ト致シマシテハ豫定致シテ居リマス、尙ホ債券ノ利拂ノ總額ハ一億一千六百五十万五千五百圓ノ合計十二億三千万圓デ、損失補償金ハ買取保有設備ノ維持費其ノ他一億一

ノ十萬圓ノ損失補償金ハ、昭和十六年度ノミ
ノ業務ニ依ツテ昭和十九年度マニ被ルベ
キ損失ヲ見込ンダモノデアリマス、尙ホ當
業者ヲシテ維持セシムベキ未動遊休設備ハ
以前ノモノカラ申シマスト約十四億ニ達ス
ル見込デアリマスガ、是ガ維持ニ付キマシ
テハ、原則トシテ第一次的ニハ當該設備ノ
保有者ノ負擔ニ依リ、第二次的ニハ同業者
ノ連帶共助ノ精神ニ依ル施設ヲ講ゼシメ、
政府ハ必要ニ概ジテ所要資金ノ供給ヲ圖リ、
未動遊休設備ノ資金化ヲ援助スル所存デア
リマス、以上簡単デアリマスガ、提案理由並
ニ事業ノ概要ヲ御傳へ致シマス
○横川委員長　是ヨリ質疑ニ入リマス——
喜多壯一郎君
○喜多委員　質疑ニ入ルニ先ダチマシテ私
ハ委員長ニ御願ヒヲシタイノデス、此ノ法
案ハ商工省ノ提案ニナルモノデアリマスガ、
資金ハ國家カラト云フ今ノ大臣ノ説明デハ
ツキリシテ居リマスカラ、私ハ是非大藏大
臣ノ出席ヲ適當ナ時期ニ委員長カラ計ラツ
テ戴キタイ、又常ニ政府委員ノ席ニ大藏當
局ガ居テ、吾々ノ質疑ヲ聽イテ、少クモ忙
シイ大臣ニ其處へ來テ又繰返サナクテモ宜
イヤウニ用意ヲシテ戴キタイト思ヒマス、

ヲ迅速ニ整理スルコトガ必要ダト云フコトハ、提案理由デ吾々ハ分リマスガ、一方民間ニハ、將來ノ爲ニ鑑シテ置ケ、戰爭後——此ノ言葉ガ何時的確ニ使ハレルカ、吾々ハ豫期スルコトハ出來マセヌガ、即チ和平克復ノ時ニハ直グ所謂遊休未動設備ノ力ガ動イテ來テ日本ノ貿易力ノ中心ニナルノダカラ、言換ヘレバ大東亞共榮圈確立ノ曉ニハ支那ノ大衆ニモ、印度ノ大衆ニモ、南米ノ民度ノ低イ人々ニモ、必要トスルモノヲヤルノハ今ノ遊休未動設備ノ力ダト云フコトヲ考へラレルノデス、ソレダカラソレハ其ノ儘出來レバ残シタラ宜イデヤナイカト云フ聲ガアツル、是ハ私ハ自然ノ聲ダト思ヒマス、併シ遊休未動設備ハソレヲ一概ニ遊休未動設備トシテ整理シテシマフト云フコトヲシナクテ宜イナラゾレニ越シタコトハナインデス、併シ現狀ノ日本デハ何シロ資源ガ乏シイシ、其ノ上ニ支那事變デ戰ヒツツ五年、而モ對日資金凍結令ヲ受ケテカラト云フモノハ——ノミナラズ今日明日何時太平洋デ戰ガ起ルカモ分ラナイ、ソレバ海外カラ「スクラップ」ノ一片モ來ナイ、「アルミニウム」ノ原料モ來ナイト云フ時ニハ不急不要ナ物ハ他ノ軍需工業其ノ他國家ガ必要トスル方面ニ轉用スル

云フコトヲ一言申上ガテ置キマス
時局ハ非常ニ緊迫シテ居リマス、恐ラク何時
日本ト對日包圍陣ノ敵性國家ト戰火ヲ開クを
分ラヌ、私ハ一日モ早ク是ガ實行サレンコト
ヲ希望スル、ソレハ高度國防國家ノ建設ト云
フカ、結局ハ國防力ノ増強ト、其ノ國防力ノ增
強ヲ押進メテ行ク國民ノ戰時生活ノ最低水
準ガ安定確保サレテ居ルノデナケレバ、如何
ニ高度國防國家ノ確立ヲ謳ツテモ出來マセ
ヌ、其ノ意味カラスルト、私ハ在來商工當局
者ガ企業體制ノ全面的ナ整備強化ト云フコ
トヲ今ノ提案理由ノ中ニモアツタヤウニ
重點生產主義ノ確立ヤ増強ト云フコトハ所
謂戰爭遂行第一主義ト增產遂行第一主義
ピツタリ合ツテ來ル、其ノ上ニアナタ方ハ所
此ノ二ツニ立ツテ居ル上ニ、更ニ今度豫算
總會ノ方ニ中小企業ノ整理統合カラ來ル轉
廢業者ニ對スル共助金補助制度ニ使フ金ヲ
ナル企業ヘノ資本ト資材ト労務トノ集中ガ
出シテ來ラレテ居ル、是ハ尤モダト思ヒマス
ス、重點生產主義ノ強化確立ノ點カラスルベ
バ、何ト言ツテモ弱體劣等ノ部面カラ優秀
企業ヘノ資本ト資材ト労務トノ集中ガ
必要ナンデアル、ソコデ私ハ此ノ營團ノ質
疑ノ中ニ必然的ニ今追加豫算案トシテ出サ
レテ居ル轉廢業者ニ對スル共助金補助ニ付

テモ質疑ヲシタイト思ヒマスカラ、商工大臣ハ出來ルダケ此ノ委員會ヲ尊重スルバカリヂヤナレハ單ニ委員會ヲ尊重スルバカリヂヤナレ、國民ノ戰時水準ヲ保持スルト云フ一ノ大キナ力ニナルノダカラ、勉強シテ貰ヒタイト云フコトモ附加ヘテ置キタイ、ノミナラズ遊休未動設備ハ、廣イ意味カラガ生キテ行ク爲ニハ、能ク育ツテ行ク爲ニハ、必然的ニ統制會ヲ吾々ハ問題ニシナケレバナリマセヌ、同時ニ又商工省ノ機構其ノモノニモ考ヘテ貴ハナケレバナラヌ點ガアルト思ヒマス、特ニ商工省ガ、斯ウ云ツタ目的ニ依ツテ、日本ノ企業體制ヲ整理統合スルト云フコトニ付テハ、商工省自體モ機構ヲ整理統合シテ行クコトガ軍需省ニ向先此ノ點ニ付テ第一ニ御答辯ヲ求メタイト思ヒマス。

同時ニ企業合同整理ハ、昨年九月ノ三國同盟ノ締結以來、ウント拍車ヲ掛ケラレテ來タ、ソコヘ持ツテ來テ對日資金凍結令ガ出タノデ、否デモ應デモヤラナケレバナラス、ソコデ昨年末ノ經濟新體制要綱及び財政金融基本方策要綱ト產業團體令、此ノ三ツノ建前デ宜イト思ツテ居ラレタラシイ、併シ是ハ觀念的ナモノデアリ、机上ノモノデアル、謂ハバ胃癌ハ斯ウシテ手術スレバ癒ルゾト云ツタコトヲ文字ニシタモノデアラウト思フ、其ノ胃癌ヲ切開シテ癌ヲ取り除クト云フ、俗ナ言葉デ言ヘバ、企業合同整理ノ理論的體系ハ先程申上ゲタ三原則デ立テ置イテ、ソレデ暫ク政府ハ手ヲ抜いて居ツタ、所ガ今度愈々癌ガ大キクナツテ來テ、モウ苦シイカラ「メス」ヲ入レルト云フコトガ、此ノ產業設備營團デナケレバナラヌ者ノ手ニ維持サレルカト云フ大體ノ見當ヲ

ト私ハ解釋スルノデスガ、此ノ點ニ付テ商工大臣ノ見解ヲ聽キタイモウ一ツ遊休未動設備ハ、廣イ意味カラ言ヘバ企業ノ合同、整理統合ナノデアル、ガ生キテ行ク爲ニハ、能ク育ツテ行ク爲ニハ、必然的ニ統制會ヲ吾々ハ問題ニシナケレバナリマセヌ、同時ニ又商工省ノ機構其ノモノニモ考ヘテ貴ハナケレバナラヌ點ガアルト思ヒマス、特ニ商工省ガ、斯ウ云ツタ目的ニ依ツテ、日本ノ企業體制ヲ整理統合スルト云フコトニ付テハ、商工省自體モ機構ヲ整理統合シテ行クコトガ軍需省ニ向先此ノ點ニ付テ第一ニ御答辯ヲ求メタイト思ヒマス。

同日マデフ數字ダトスレバ、若シ太平洋ニ戰火ヲ見ルヤウナ場合ニハ、遊休未動設備ハウント殖エテ來ル、サウスト、二十年マデ計算シテ居ルノダ、假リノ數字ダト、商工大臣ハ相當餘地ノアルヤウニ仰シヤツテ居ラレタガ、コンナ數字デ足リルカト云フ感ジガスル、明日ノ「パン」ト行ツタラ、其ノ數字ハ「パン」ト行ツテシマフ、ソレハ先ノコトデスカラ、「寸先ハ闇ダトモ言フシ、分リマセヌガ、私ハココデ金額的ニモ「スケール」ノ上カラ言ツテモ、モツト大キナモノヲ持タナカツタ云フコトヲ感ズルノデス、同時ニ今二十年マデノ計算デ示サレタガ、此ノ數字テ行ケバ、重點主義生產組織ノ方へ行ク、謂ハバ優秀工業方面へ行クヤウナ資材や原材料ハ殖エマスカト云フ點ヲ聽イテ置キタイ

更ニ未動遊休設備デ何等カノ措置ヲ要スルモノモ資本的ニハ分ツタガ、私ハ業種別的ニ聽キタイ、何ト何デアル、鐵カ石炭カ其ノ他ドウダ、サウシテソレガドウ云フ根據カラ成ツテ來タカト云フ風ナコトヲ、成ルベク具體的ニ示シテ戴キタインデス、モツト言ヘバ、轉用活用サレル業種別ハドラウト思フ、其ノ胃癌ヲ切開シテ癌ヲ取り除クト云フ、俗ナ言葉デ言ヘバ、企業合同整理ノ理論的體系ハ先程申上ゲタ三原則デ立テ置イテ、ソレデ暫ク政府ハ手ヲ抜いて居ツタ、所ガ今度愈々癌ガ大キクナツテ來テ、モウ苦シイカラ「メス」ヲ入レルト云フコトガ、此ノ產業設備營團ニ保存サレ、幾ラガ此ノ營團ニ保存サレ、幾ラガ其ノノ手ニ維持サレルカト云フ大體ノ見當ヲ

聽キタカツタノデスガ、是ハ岸商工大臣カノ巧ミニ煙幕ヲ事實上必要モアツテ張ラレタト思フガ、アナタハ言ヘナイト仰シヤツタガ、是ハ祕密會ニ於テモ發表ナサル必要ガアリマセウ、是ガ分ツテ來ナケレバ、一體二億圓ノ資金デ宜イノカ、ソレノ五倍ノ起債デ宜イノカト云フ根據ハ出テ來ナイ、私ハ此ノ點ヲ一ツ聽キタイ、若シガ何ト云ツテモ是ガ出テ來ナケレバ、今ノ日本ノ經濟界ニ於テハ固定資本ノ増加惡化、生產費ノ暴騰、特ニアナタガ最モ力ヲ入レルト昨日モ言ハレタ低物價政策ヘノ惡イ影響ガ來マセウ、金融逼迫ガ來マスヨ、是ハ色々ナ副作用ガ起キテ來ルト云フコトヲ考ヘルト、吾々ガ成ルベク正確ナ數字ニ依ツテ審議ヲ進メテ行ケルヤウニシテ戴ケルナラバ好都合ダト思ヒマス

○岸國務大臣 喜多委員ノ御質問ハ、相當廣範圍ニ亘ツテ居リマシタガ、前提トシテノ御話ニ付キマシテハ、私全然同感デゴザイマシテ、言フマデモナク日本ノ經濟ハ、從來外國依存、特ニ其ノ大部分ハ、英米ニ依存シテ今日ノ經濟が發展ヲシテ參ツタノデアリマス、而シテ支那事變發生以來、之ヲ自給自足ノ經濟、東亞共榮圈内ニ於ケル資源ノ確保ニ依ツテ日本ノ自給經濟確立ニ努力ヲ致シテ參リマシタケレドモ、尙ホ遺憾ナガラ英米ニ依存スル部分ガ甚ダ多カツタノデアリマス、然ルトコロ此ノ七月以降、

資金凍結令其ノ他ニ依ツテ、吾々ノ欲スルト否トニ拘ラズ、絕對ニ英米依存、又外國依存カラ離レ、自給經濟ヲ急速ニ確立シナリマス、隨テ吾々ハ從來此ノ自給經濟確立

「テ置ク必要ガアルト云フ御指摘ノ件モ、御
尤モダト思ヒマス、併シ私共ハ現在ノ實情
ト將來ノ見透シニ付キマシテモ、或ル種ノ
見透シヲ以テ此ノ「スケール」ヲ實ハ考ヘタ
ノデアリマス、ソレハ先程御指摘ニモアリ
マシタル通り、日本ノ現在ノ設備ノ中、一
口ニ未動遊休施設ト申シマスガ、其ノ中眞ニ
「スクラップ」トシテ再生、活用スベキモノト、
之ヲ將來ノ事態ニ對處スル爲ニ出來ルダケ
保有シテ置クト云フ、一方ノ必要ヲ充タス
ト云フ見地カラ考ヘマスト、現在ノ業界ノ
力ヲ以テシテモ相當ナ保有ノ力モアリマス
シ、又其ノ營團自身モ或ル程度ノモノハ、其
ノ點ノ保有モ致シマス、サウシテ「スクラッ
プ」スベキモノハ「スクラップ」シテ行ク、斯
ウ云フ考ヘ方カラ此ノ數字ヲ出シテ居ル譯
デアリマス、唯事態ガ非常ニ急變ヲ致シマシ
テ、ソレカラ豫測シナイヤウナ事態ガ參リマ
スト、此ノ設備營團ノ規模ヲ更ニ擴大セネバ
ナラヌヤウナ必要ガ起ツテ來ルコトモアルカ
トモ思ヒマスガ、現在ハサウ云フ見透シノ下
ニ之ヲ立テ居ル譯デアリマス、更ニ之ニ依ツ
テ未動遊休施設ガ整理サレルナラバ、眞ニ
重點主義ヲ厲行スル爲ニ、優秀工場ニ對スル
資材ノ供給ガ十分ニ行ツテ、サウシテ必要ナ
物ノ物資ノ増産第一ガ確保出來ルカト云フ
御質問デアリマスルガ、今日ノ日本ノ產業狀
況ト致シマシテハ、原材料ガ先程申上ゲマシ
タヤウナ狀況デ、海外カラ入ツテ來ナイ、
而モ東亞共榮圈内ニ於テ確保スルニハ、
相當ナ尙ホ開發其ノ他ノ時日ヲ要スル、此
ノ事態ニ即應シテ、ドウヤツテ行クカト云
フ問題ニ付テ、第一段ニ考フベキモノハ、
言フマデモナク此ノ資材ヲ重點的ニ配當シ
テ、能率ノ惡イ所ノモノヲ廢メテ、能率ノ

良イ所へ集中スルト云フ考へ方ト、モウ一
ツハ從來日本ニ於テ蓄積サレテ居ル所ノ物
的ナ此ノ資材ト云フモノヲ總動員スルト云
フ考へ方デアリマス、鐵ノ生産ニ致シマシ
テモ、又銅ノ生産ニ致シマシテモ、過去年
年生産サレタ所ノモノハ、何等カノ形ニ於
テ其ノ大部分ガ國內ニ集積サレテ居ル譯デ
アリマシテ、是ガ現在機械設備其ノ他トシ
テ活用サレテ居リ、是ガ生産ヲ生ンデ居ル
限リニ於キマシテハ、結構デアリマスケレ
ドモ、未動遊休ノ形ニ於テ存シテ居ルトシ
マスルト、其ノ或ル物ヲ「スクラップ」シテ、サ
ウシテ原材料ノ不足ニ充テルト云フ、過去
ノ蓄積ヲ總動員スルト云フ考へ方デアリマ
ス、此ノ見地ヲ以チマシテ此ノ營團ガ活動
致シマスト、相當ナ原材料ヲ此ノ方面カラ
總動員出來、重點主義ノ強化ト對應シテ優
秀工場ニ於ケル増產第一ト云フ事柄ノ實效
ヲ相當擧げ得ルト思ヒマス、最後ニ業種別
ニ具體的ニ整理ヲ要シ、若シクハ此ノ未動
遊休施設ノ狀況、其ノ他是ガ活用ノ狀況ニ
付テノ具體的數字等ニ付キマシテハ、私ノ
方ニ於キマシテハ此ノ營團ノ設備ニ關シマ
シテ相當ナ調查ヲ持ツテ居リマス、併シ是
ハツ公ノ席デ申上ゲル事柄ハ先程申上ゲ
マシタヤウニ適當デナイト思ヒマス、能ク
御相談申上ゲマシテ何等カノ方法ニ於キマ
シテ御示シスルコトニ致シタイ、斯ウ存ジ
テ居リマス

資本ノ總額ガ昨年ノ上半期カラ實ニ厖大ニ
ナツタモノダト思フ、併シソレハ資本ノ合
同ニアツテ、眞實ノ企業合同ニナツテ來テ
居ナイノデハナイカ、ソレハ餘り長クナク
テ結構デス、アナタハ私ヨリ知ツテ居ルノ
ダカラ、時間ヲ取ラレテシマフト委員長ニ
叱ラレマスカラ、短イ所デ説明シテ戴キタ
イ、同時ニ私ハ斯ウ思フノデス、產業別整
理ノ行ハレタモノハ、實ヲ言フト纖維工業
ト石油事業ト銀行無盡ノ一部デハナイカ、
此處ノ席デハソレ以下ニハ瓦リマセヌ、新
規事業ノ整理ハ相當多イ、其ノ他ノ事情ニ
依ツテ困難ダカラ、機械工事其ノ他ノ諸事
業ノ唯擴張手段トシテ行ハレテ行クト云フ
ヤウナコトデ、合併併合方行ハレテモ、事實
ソレハ本當ノ遊休未動設備ノ整理ノ前提行
爲デアル、合同行為ニ行ツテナイト云フヤ
ウニ見テ居ルノデスガ、其ノ見方カラスル
トコロデ政府當局ニ非常ニ大キイ決心ヲ以
テヤツテ戴カナイト、住宅營團ガ出來タダケ
デ住宅ガ出來ナイト云フヤウナ現狀ガ來タ
ラ大變ダト思フノデス、法文ニ依ルト「事業
者ニ於テ建設又ハ維持スルコト著シク困難
ナルモノヲ施設シ茲ニ産業設備(之ニ充ツベ
キ機械及器具ヲ含ム)ニシテ未完成又ハ遊休
ノ狀態ニ在ルモノ」トアリマス此ノ建設又ハ
維持スルコト著シク困難ナルモノノ施設、
ソレカラ片方ノ未完成又ハ遊休ノ狀態、斯
ウ云フ言葉ノ定義ヲ一ツ聽カシテ貴ヒタイ、
限界ヲ何處マデ置クカ、持ツテ居ル人間ハ
少々不満足デモ、親代々ノ仕事ダカラ遊休
デハナイト、斯ウ人間ハ水ヲ引キマス、所ガ
外ノ方カラ見ルト、特ニ商工當局ナドカラ
見ルト、アレハ遊休ダ、未動ダト言ツテシ
マツテ、ソコデ又官僚獨善トカ、役人ノ横

暴トカ、民ノ心ヲ推測シナイト云フヤウナ
非難ヲ受ケマス、私ハ今ノ法文ニ現ハレタ
此ノ營團ノスベキ仕事ノ定義、限界、基
準、特ニ之ヲ資本的ニ言フカ、技術的ニ言
フカ、或ハ經營的ニ言フカ、是ハ主觀的ノ
解釋ト客觀的ノ解釋デ、非常ニ違ツテ來
ル、此ノ點ヲ一つ明確ニ言ツテ戴キタイ、
ソレカラ同ジ遊休ト言ツテモ、原材料ヲ
ヤレバ直グニ稼ゲルモノガアルシ、モウ年
ヲ取ツテ、人間ノ老イボレガボヨ／＼シテ
居ルヤウニ、機械ガボヨ／＼シテ居ル、工
場ガボヨ／＼シテ動カナイモノガアリマス、
サウ云フ區別ヲ一體ドウスルカ、ソコデ其
ノ限界、基準ヲ示サレテ、更ニ遊休未動設
備ノ整理統合計畫ハ一體誰ガスルノカ、營
團ガスルノカ、サウ云フ査定ヲショウトス
ル企畫ハ營團ガスルノカ、ソレトモ政府自
體ガヤルノカ、統制會ニ任シテシマフカ、
是ガ聽キタイ、同時ニ本營團ガ出來タ時ニ
商工當局ト今商工當局ガ非常ニ力ヲ入レテ
居ル統制會ト云フ組織ト各企業者トノ相互
關係ハドウナルカ、是ハ商工大臣ハキツト
スウ答辯シテ來ラレルグラウ、私ガ大臣ナ
ラスウ答辯スルト思フノデスガ、未動遊休
設備ノ整理計畫ノ大綱ノ方針ハ、統制會等
ノ極力協力ヲ得テヤリマス、其ノ細目ノ實
施ハ、政府指導ノ下デ主トシテ統制會ニ立
案サセルト云フノデハナイカト思フ、サウ
スルト統制會ト云フモノト此ノ營團トノ關
係ト云フコトガ一言モ法文ノ中ニ現ハレテ
居ナイカラ、何カ施行規則ナドニ作ツタ時
ニ餘程氣ヲ付ケラレヌト、軒ヲ貸シテ母屋
ヲ取ラレルヤウナコトモ考ヘラレマス、ソ
コデ私ハ統制會ニ——岸商工大臣ハ商工省
ノ方ニ民間ノ優秀ナ人ヲ採ツタガ、寧口商

「エキスパート」ト云ふ意味デハアリマセヌヨ、良イ人ヲ民間ノ統制會ニウント入レテ行キマセヌカ、アナタノ幕僚中ノ幕僚ノ最モクモナツテ來テ、私ハ旨クナツテ行クト思フノデス、民間カラ吸收スルコトモ必要ダガ、同時ニ商工省カラ今度ノ統制會アタリヘウント優秀ナ人ヲ入レテ行クト云フコトガ、能率ヲ擧ゲルト思フノデスガ、御考ヘヲ聞キタイ、是等ニ付テ一ツ答辯ヲ求メマス

○岸國務大臣 御質問ノ第一點ノ、從來ノ整理合同ト云フ事柄ガ殆ド資本的ナ合同デアツテ、經營的ニ見テノ整理合同ノ實ヲ擧ゲテ居ラナイ云フ御見解ニ付キマシテハ、今マデノ實情ハ其ノ通リデアラウト思ヒマス、是ハ先程本營團ノ提案理由ニモ申述ベマシタ如ク、結局斯ウ云フ施設ガナイ爲ニ、事業者トシマシテハ事業者ノ全負擔ヲ以テ或ル設備ヲ整理シ、之ヲ「スクラップ」スルト云フ事柄ガ現狀ニ於テ困難ナルガ爲ニ、結局資本的合同ニ終ツテ居ルト云フノガ現狀デアラウト思ヒマス、私ハソレデハ日本ノ産業界ノ再編成ニ資スルモノデハナイガ故ニ、其ノ實體ヲ收メル爲ニ本營團ノ設備ヲ必要トシ、是ノ活動ニ將來期待シテ居ル譯デアリマス

次ニ「事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコト著シク困難ナルモノ」ト云フコト、ソレカラ未動設備、遊休設備等ニ關スル嚴格ナル定義ノ問題デアリマスガ、第一ノ「事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコト著シク困難ナモノ」ト云フ其ノ困難ノ程度等ニ付キマ

シテハ、言フマデモナク是ハハツキリスウ
云フモノダト云フコトハ申上ゲニクイト思
ヒマスガ、本營園設立ノ趣旨ガ、先程御説
明申上ゲマシタ如ク普通ノ状況ニ於テ事業
者ニ任シテ置キマシテハ、採算ノ關係、或ハ
技術ノ關係、或ハ將來ノ見透シノ關係カラ
致シマシテ、國家ガ期待シテ居ル所ノ設備
ノ建設ガ到底行ハレナイト云フ場合ニ此ノ
設備營園ガ代ツテ施設シヨウト云フノデア
リマス、本營園ガ國家緊要ノ產業ノ施設ナ
ラバ何デモ引受ケテヤルド云フノデハナク
シテ、一應ハ事業者ノ責任ト創意ニ依リマ
シテ、國家ノ方針ニ從ツテ必要施設ヲシテ
行クノデアリマスケレドモ、今申シマシタ
ヤウナ事情カラ到底事業者デハ建設ガ難カ
シテ、サイト云フ場合ニ限ツテ本營園ガヤル、斯
言ヘバ苟クモ動イテ居ラヌ設備ヲ全部言フ
云フ事柄ハ先程興業銀行ト商工省トノ扱ヒ
方ノ違ヒニ付テモ申上ゲマシタ通り、廣ク
ウ云フ譯テアリマス、ソレカラ未動設備ト
カト云フコトニ相成ルノデアリマスケレド
モ、此ノ營園設立ノ趣旨カラ見マシテ、サ
ウ云フ動イテ居ラナイモノデモ總て之ヲ未
動施設ト見ルノデハナクシテ、未完成ノ設
備ト其ノ完成ニ要スル資材ノ不足、一部設
備ノ輸入杜絶、原材料ノ供給困難等ノ事情
ニ依リマシテ、當分ノ間其ノ工事ノ繼續ノ
見込ガナイ、完成ノ見込ガ立タナイト云フ
モノヲ指シテ、是ダケヲ對象ト致シテ居ル
ノデアリマス

モ色々々違フ場合モ生ジヨウカト思ヒマスガ、本營團ノ業務トノ關聯ニ於キマシテ考ヘテ見マスト、遊休設備ト致シマシテハ、先ヅ本營團ニ於テ買取保有スベキ設備、是ハ遊休ノ程度ガ非常ニ高ク、且ツ當該事業者ニ於テ維持困難、又ハ不適當ナルモノニ限ツテ、本營團ニ於テ買取保有スル積リデアリマス、又本營團ニ於テ活用ノ爲ニスベキ設備、是ハ同業者或ハ當該設備ヲ使用シ得ベキ他ノ業種ノ事業者ニ轉賣活用スルコトヲ目的トスルモノナルヲ以テ、此ノ場合ハ遊休ノ程度ハ必ズシモ高イコトヲ要件ト致サナイ積リデアリマス、ソレカラ第三ノ本營團ニ於テ買取り「スクラップ」トシテ廢棄スベキ設備、是ハ遊休ノ程度ガ相當ニ高ク且ツ老朽シ、屑鐵等トシテ回収スルコトガ國民經濟上合理的ト認メラレルモノデアリマシテ、遊休ノ程度ノ最モ高イモノト思ヒマス、隨ヒマシテ此ノ營團ノ利用ノ目的ニナル場合ニ於キマシテ、遊休ノ程度ハサウ云フ風ナ段階ガアル、斯ウ御考へヲ願ヒマス

最後ニ統制會ト此ノ營團ト、ソレカラ政府トノ關係ニ付テノ御質問デアリマスガ、御質問ノ如ク、大體ニ於キマシテ整理統合ノ方針トカ、或ハ未動遊休施設ノ利用ニ關スル大綱ニ關シマシテハ、之ヲ政府ガ決定スペキモノデアルコトハ當然デアリマス、併シ此ノ決定ニ付キマシテハ、統制會竝ニ此ノ營團トモ十分ナル連絡ヲ取リマシテ、之ヲ實際ニ適合スルヤウニ立テテ參リタイト思ヒマス、又サウ云フ意味ニ於キマシテ、此ノ點ニ關シマシテ統制會ノ今後ノ活動ト云フコトハ、非常ニ重要ニナツテ來ル譯デアリマスカラ、其ノ人的構成ニ付キマシテ、政府トノ關係ヲ圓滑ナラシメルコトニ付キ

○喜多委員 統制會ト十分ナ連絡ト云フ
所ヲモツト伺ヒタイノデスガ、是ハ又別ノ
機會ニシマス、遊休未動ノ限界、定義、是
モ實ハモツトハツキリサシテ戴キタイガ、ソ
レヂヤ遊休未動ダト政府ノ何處デヤルカ、
結局今ノ御話ノ通リヤルカ、私ハ承知シナ
イ、遊休デヤアリマセヌ、未動デヤアリマ
セヌ、遅クハナリマスガ、少シヅツ進ンデ
居マス、ソレカラ平和状態カラ言ベ量ハ
減ツテ居マスガ、ヤツテルンデスト言ツテ、
アナタノ方デ遊休ダ、未動ダト言ツテ
モ承知シナイ場合ニ、結局ソコニ一ツノ
對立ガ出テ來ルト云フコトガ豫期サレ
ル、ソレカラモウ一ツ、此ノ遊休未動
設備ノ整理統合ト云フコトハ、結局煎ジ詰
メテ見レバ、物資ノ活用ト云フ所ニ歸著スル
ノデス、言換ヘレバ、物動計畫ノ貧弱サヲ助
ケテ行カウト云フコトニナル、是ガ大眼目
ダカラ、私ハ大藏當局モ國家ノ要請トシテ
苦シイ中カラ金ヲ出シテ行クノグラウト恩
フ、サウスルトコロデ聽キタイコトハ、第
一二、遊休未動ダト言ツテモ、遊休未動デ
ヤアリマセヌ、アナタ方ナンカサウ思ヒマ
スガ、私ハ是デ宜イノデスト言ツタ場合ニド
ウナサイマスカ、之ニ對シテ強權的ナ措置ヲ
政府ハ御執リニナルカ、オ前サウ言ツテモ
遊休未動ダト云フ風ニ行ク何カ根據ヲ御持
チニナルカ、此ノ頃新聞雜誌等デハ、多分
ソコニ行クグラウト書イテアル、私ハソレ
リ高能率優秀工場ヘノ設備ヲ良クシテ原材
料ヲヤリ、資金ヲヤツテ、勞力一切ノ重點

集中主義デ高度國防國家建設ニ邁進スルト
云フ見地カラ言ヘバ、當然コツチデ御經バ
カリデ金ヲヤラヌデハ駄目デス、「マホメッ
ト」ニナツテ「コーラン」ヲ持タケレバ駄
目デス、同時ニ劍ヲ持タケレバ駄目デス、
所ガソレガナイ、ソレデ國家總動員法第
四條ト第十六條トヲ活用スレバ、金融的ニ
モ、資本的ニモ勞務的ニモ、動クノデスガ、
サウ云フコトヲ商工當局ハ胸ノ裡ニ考ヘテ
居ラレマスカ、或ハ是ハ發表出來ナイト云
ハレテシマフト、今後此處ノ大事ナ所ガ脱
ケテシマフノデアリマス、金ダケ出シテ出
來タ營團ガ何モシナイ營團ト云フコトニナ
ル虞ガ十分アルト私ハ思フ、是ハ一ツ程度
モアルト思ヒマスガ、世ノ中デハモウ出テ
來ルナト云フコトヲ知ツテ居ル、モウ一ツ
遊休未動設備ニ對シテハ、實際國民ハモウ
遊休未動ヲ知ツテ居リマス、相當利己的ナ
モノデモ捧ゲナケレバナラナイト思ツテ居
ル、モウ昔ノヤウニ是ハ俺ノ私有財産ダ、
父祖傳來ノ財産ダ、工場ダ、技術ダト云フ
ヤウナ時代錯誤ノ者ハナイト思フガ、是ハ
一方デ金ヲ出シテ、斯ウ云フ好イ仕事ヲシ
テ行カウト云フナラバ、國民ヲシテ遊休未
動ノ設備ニ對スル時代錯誤的ナ、自己ノ所
有物ダト云フヤウナ意識ヲ持タセナイヤウ
ニ、モツト徹底シテ納得サセルヤウナ方策
ヲ講ゼラレルコトガ、私ハ今日最モ必要ダ
ト思フ、此ノ法案ダケ出シテ、ヤルンダゾ
ト、モツト言葉ヲ具體的ニ言ヘバ一方デ宣
傳ヲナサイ、又大衆ノ中ヘ入ツテ、斯ウ云
フコトガアルノダト云フ態度ヲ執ラナケレ
バ私ハ遺憾ナ點ガアルト思ヒマス
ソコデ話ノ疑點ハ最初ニ戻ツテ、遊休未
動ノ整理ト共ニ物動計畫ニ或ル種ノ力ヲ補

○岸國務大臣 御話ノ通り私共モ本營團ガ
單ニ事業ノ救濟トカ或ハ不良ナ經營ヲ是デ
救濟スルト云フコトニ墮スル事柄ハ、本營
團設立ノ大キナ目的ニ反スルノデアリマシ
テ、先程來日二日アノ久通ニ高麗國方國民

ツテ、出來ルナラバ大臣ニ斯ウ云フ質疑ガアツタト、其ノ答辯ヲ持ツテ此ノ委員會ニ來テ答辯スルト云フヤウニシテ戴キタイトと思ヒマス、委員會ノ時間ノ生贋上ソレハ已

○横川委員長 喜多君ニ一寸申上ゲマス
ガ、大藏省ノ銀行局長ガ見エテ居リマスカ
ラ局長ニ於テ許サレル範圍ノコトヲ成ベク
運ンデ戴キタイト思ヒマス

ツテ、出來ルナラバ大臣ニ斯ウ云フ質疑ガ
アツクト、其ノ答辯ヲ持ツテ此ノ委員會ニ
來テ答辯スルト云フヤウニシテ戴キタイト
思ヒマス、委員會ノ時間ノ性質上ソレハ已
ムヲ得マセヌ

本法案ニ依ル營團ハ本質的ニハ是ハ國有
金融會社デ、其ノ運營上營團ト言ツタノデ
セウ、言換レバ是ハ國有民營主義ノ營團デ
アツテ、損失ヲ覺悟デ行カケレバ商工當
局ガ今マデ答辯サレタヤウナ大キナ目的ハ
達セラレナイ、所ガ金融的ナ營團トシテノ
性格ヲ解剖シテ見ルト、杜撰ナ點ヲ私ハ指
摘セザルヲ得ナイノデアリマス、ケレドモ
是ハ何トシテモ時局的ニ非常ニ緊迫シテ來
テ居ル國家ガ要求スルノデアリマスカラ、
巧邇拙速何レヲ採ルカト言ツタラ、拙速デ
來夕方ガ宜イ、如何ニ時節柄拙速主義デ行
クトシテモ、此ノ營團ノ發動シテ來タ時ヲ
考ヘルト、第一ニハ債券發行ニ依ツテ、兎
ニ角二十億カラノ資金ガ活動ヲ許サレテ居
ル、是ハ餘程金融的ニ巧ミニ運用サレナイ
ト、又シテモ動脈硬化症的ナ今日ノ國民更
生金庫ノヤウニナツカラ、モウ國民ハ政府
ノ作ル營團トカ金庫ト云フモノヲ信用シマ
セヌヨ、間ニ合ハヌノダカラ——率直ニ言
ヒマスガ、大藏當局ノ國民更生金庫ノ運營
觀念ト云フモノハ、私ハ相當此ノ時局ト離
レテ居ルト考ヘマス、折角議會デア云フ
風ナ特權ヲ與ヘタ更生金庫ガ、世ノ中カラ
實ハ怨嗟ノ的ニナツテ居ル、ソレハ大藏當
局ガ普通銀行ノ經營ヲ指導監督スルヤウナ
デハナイ、寧ロ只ヤルト云フヤウナ氣持ヲ

本來ノ目的ヲ遂行セシムル爲ニハ、一面ニ於キマシテハ財界ノ事情ニ非常ニ精通シテ居ルト共ニ、此ノ事業ヲ行フ上ノ前途ニ横タル色々ナ困難ヲ毅然トシテ排除シテ行シテハ全然同感デアリマス、十分其ノ御趣旨ハ體シテ今後人的ノ整備ヲ致シタイ、斯考ヘテ居リマス

○喜多委員 大藏當局ニ答辯ヲ願ヒタイノデスガ、産業設備營團ハ拂込金額ノ五倍ノ債券ヲ發行スルコトガ政府カラ特權トシテ許サレマス、其ノ發行方法如何、引受ハ誰ガスルカ、ソレカラ起債計畫トシテドウ云フ風ナコトヲ大藏當局ハ御考ヘニナルカ、モウ一つ聽キタイコトハ預金部ガ引受ケマスカ、是ハ銀行局長ガ答辯御出來ニナル範圍ダト思ヒマス、ソレトモ引受「シンヂケート」ノヤウナモノヲ作ツテ行クノカ、ソレカラ其ノ利廻ハ如何、政府ノ保證ハ幾ラ、營團債券ハ起債市場ニ出マセウ、出マセウガドウ云フ「ルート」ヲ取ルカ、之ヲ一つ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○相田政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ一應私カラ御答ヘ申上ゲマス、本營團ノ債券發行額ハ相當多額ニ上ルモノト思ハレマス

○喜多委員 大藏當局ニ答辯ヲ願ヒタイノデスガ、産業設備營團ハ拂込金額ノ五倍ノ債券ヲ發行スルコトニ付キマス、尙ホ本營團ノ發行スペキ債券ノ條件等ニ付キマシテハ、マダ詳シイ打合セハ出來テ居リマセヌ、今後十分打合セテ適當ナル條件其ノ他ヲ決メナケレバナラスト思ツテ居リマス、一應御答ヘ申上ゲマス

○喜多委員 銀行局長ニ答辯シテ戴ク範圍ノコトヲ是カラ二三聽キマスガ、大藏大臣ハ何時頃御見エニナリマスカ、マダ御分りニナリマセヌカ

○横川委員長 マダ分リマセヌ

○喜多委員 此ノ營團ハ遊休未動設備ノ活用ニ直面シテ其ノ保有、賣買等ヲ行フ、ソシテ其ノ限界、基準ト云フヤウナコトハ先程仰シヤツタ、ソコデソレ等ヲ行フノニハ少クトモ統制會ト能ク連絡シテ行クト云フ

○喜多委員 大藏當局ニ答辯ヲ願ヒタイノデスガ、一寸大藏大臣ガ見エスト云フコトデアリマスカラ差控ヘテ、次ハ之ニ關聯シテ商工當局ノ考ヘヲ聽キタノハ、私ハ此ノ中小商工業者ノ轉廢業、中小企業ノ合同整理ト云フコトカラ出テ來ル

○喜多委員 中小商工業ノ再編成ノ問題ハ、御質問ノ如ク私共モ單ニ之ヲ社會政策的ナ見地カラ考ヘテハ居ラナイノデアリマツ

○喜多委員 中小商工業ノ再編成ノ問題ハ、御質問ノ如ク私共モ單ニ之ヲ社會政策的ナ見地カラ考ヘテハ居ラナイノデアリマツ

○喜多委員 中小商工業ノ再編成ノ問題ハ、御質問ノ如ク私共モ單ニ之ヲ社會政策的ナ見地カラ考ヘテハ居ラナイノデアリマツ

○喜多委員 中小商工業ノ再編成ノ問題ハ、御質問ノ如ク私共モ單ニ之ヲ社會政策的ナ見地カラ考ヘテハ居ラナイノデアリマツ

○喜多委員 中小商工業者ノ大體ニ於テ圓滑ニ行キ得ル狀態デゴザイマスノデ、此ノ營團ノ債券ニ付キマシテモ、此ノ起債計畫ヲ今後立テマス際ニ、其ノ中ニ織込

ミマシテ、只今申シマシタヤウナ一般的な方法ノ下ニ其ノ消化ノ萬全ヲ期シタイト思ツテ居リマス、尙ホ本營團ノ發行スペキ債券ノ條件等ニ付キマシテハ、マダ詳シイ打合セハ出來テ居リマセヌ、今後十分打合セテ適當ナル條件其ノ他ヲ決メナケレバナラスト思ツテ居リマス、一應御答ヘ申上ゲマス

○喜多委員 銀行局長ニ答辯シテ戴ク範圍ノコトヲ是カラ二三聽キマスガ、大藏大臣ハ何時頃御見エニナリマスカ、マダ御分りニナリマセヌカ

ニ日本經濟ガ性格ヲ持タナケレバナラナイヤウニ戰爭ヲ遂行シテ行クトスレバ、是カラ出テ行ク數ハ私ハ非常ニ多イト思フ、轉廢業對策ト云フモノハ微溫的ナ社會政策的ノ見地ヲ脱却シテ、ソレヲ揚棄シテ私ハ高度國防國家建設ノ經濟的推進力ニナラナケレバニケナイト思フノデス、此ノ點ニ付テハ厚生省ノ意見モ聽キタイノデスガ、ソコデ今度御出シニナツタ追加豫算案、アレハアノ金額デ大藏省トアナタ方ヘ圓滿ニ手ヲ握ラレタカドウカ、少イデスヨ、モツト大キナモノヲ期待シテ居ツタ、遊休未動モ少イシ、是モ少イ、唯ソコデ當面ヲ糊塗スルヤウナ金額ノ點ダト云フト、私ハ大藏省ノ方ニ却テ經濟的ノ時勢認識ガ足リナインヂヤナイカト同情シテ考ヘテ上ゲルノダガ、アナタ方ハドウシテ此ノ金額デ満足シタカ、一つは大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイノデス

○岸國務大臣 中小商工業ノ再編成ノ問題ハ、御質問ノ如ク私共モ單ニ之ヲ社會政策的ナ見地カラ考ヘテハ居ラナイノデアリマツシテ、高度國防國家建設ノ一環トシテ考ヘテ居ル譯デアル、隨テ之ニ對シマシテハ既ニ色ンナ處置ガ講ゼラレ、又更生金庫ノ設立當時ニモ十分サウ云フ方面ニ付キマシテハ考ヘラレタ問題デアリマスガ、先程御指摘ノ如ク更生金庫モ設立後尙ほ十分ナ活動ヲ致シテ居リマセヌ、是ガ活動ニ付キマシテハ別途政府トシテハ色々考ヘテ居リマス、十分是ガ機能ヲ發揮スルヤウニ活用シテ參ル考ヘデアリマス、更ニ今日ノヤウニ緊迫シタ状況ニ於キマシテ、中小商工業者ノ大多數ノ現狀ヲ見マスルト、兎ニ角再編成ノ非常ニ急務デアルト云フ事柄ハ、國際情勢其ノ點デ是ハ東京國民職業指導所シカ調べ

業相談ハ昨年ノ七・七禁令ヲ契機トシテ急激ニ増加シタノデス、所ガ中小商工業者維持育成ト云フ言葉ヲ使フ大臣ガ出テ來ルモノダカラ、今度ハ直グニ其ノ翌日カラ數人減ツテ居ルト云フ、ソレハ本年六月マデ續イテ居リマス、此ノ七月ニナツテ急激ニ増加シタ、去年ノ七月カラ十一月マデハ千五百人カラ二千人位居ツタノニ、此ノ頃ハ一箇月八百人程度シカ來ナイ、其ノ中工業者ノ方面ニナルト尙ホ少イ、是ハモウ殆ド比例ニナラナイ、是ハモウ時間ガアリマセヌカラ略シマスガ、轉廢業問題ハ私ハ進ンデ居ナイト思ツテ居ル、半轉業ト云フノハ是非常ナ數字ニ上ツテ居リマス、半轉業ト云フ數字ハ出テ居ルガ、實ハドレガ多イカト云フト莫子「パン」ノ製造業者ト云フノガ一千五百六十三人、産業組合カラ二千六百四十七人ト出テ來ルノデスカラ、斯ウ云フ點カラ見テモ此ノ點ハ非常ニ商工當局ベ特ニ私ハソレヲ直接ノ仕事ニシティラツシヤル振興部ハ斯ウ云フ點ヲ見テ成ベク元方グラ付カナイ、決メタラモウ一本槍デ行力ナケレバナラヌ、一貫性ガナイト云フコトガ今日ニナツテ、アア云フ金ヲ出しシテヤラナケレバナラナイト云フ風ナコトニモナツタ事情ダト私ハ思フノデアリマス、映畫ノ題目デヤアリマセヌケレバナラナイ點ガアル、工業者ヲシテ轉廢業サセナイカト云フコトハ、是ハ商工當局自體ノ歴代ノ對策カラ見ルト反省ナサラナケレバナラナイ點ガアル、其ノ點ヲ一つアナタ方ニ持ツテ戴イテ、私

成ノ問題ニ付キマシテ、ソレガ進行シテ居ラナイ状況ノ一ツノ大キナ原因トシテ政府ノ方針ガグラ付イテ居ルト云フコトヲ御指摘ニナリマシタガ、是ハ確カサウ云フ點モアルト思ヒマス、併シ是ハドノ政府ガ出来マシテモ先程申シマシタ通り高度國防國家建設ノ要ト云フモノハ、日本ノ大キナ國策トシテ不動ノモノデアリマス、其ノ一環トシテ是ガ行ハナケレバナラスト云フ問題アリマスガ故ニ、此ノ點ニ付キマシテハ政府トシテモ十分肚ヲ据エテヤル積リデ居リマス、ト同時ニ先程カラモ申上ゲマシタガ、中小商工業者ノ轉廻、再編成ニ關スル經費トシテ追加豫算ニ出シテ居リマスモノハ農林商工合セマシテ四百五十万圓程度デアリマスケレドモ、尙ホ是ハ今年度ノ三月マヂノコトヲ豫想シテ居リマスノデ、全體ノ形トシマシテハ約一億圓ヲ其ノ「スケルール」トシテハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○喜多委員 今度質シタイコトハ、是ハ産業設備營團ニモ大キナ關係ガアリマス、同時ニ中小商工業轉廻業者ニモ關係ガアルノデスガ、今ノ儘デ進ンデ行キマスト結局共助資金ヲ出セル組合ト云フモノハ私ハ段々減ツテ來ルト思フ、ソコデモツト政府ガ是ハモウ社會政策ナント云フヤウナコトヲ考ヘナイデ、本當ニ日本ノ統制經濟體制ト云フモノヲ進メテ行クノダ、ト云フ意味カラ行キマスト、更生金庫ト云フモノヲ商工業ノ所管ニ移スト同時ニ、出來ルナラバ此ノ遊休未動設備營團デアル產業設備營團ノ中ニ吸收スル位ノ御考ヘガアルカト云フコト、タイノデスガ、今ノ職業局ガ厚生省ニアツテ、サウンデ轉廢業スル者ノ原因ガ商工省

ニアル、出で行ク人ハーツデアツテ、其ノ
對策ヲ講ズル所ガ二ツモ三ツモアル、大藏
省關係ノ更生金庫モアルト云フコトデ非常
ナ煩雜ニ落込ンデ居ル、此ノ煩雜ト云フコ
トノ大キイコトニ付テハ時間ガアリマセヌ
カラ申シマセヌガ、是ハ説明セヌデモ御分
リノコトト思フノデアリマス、ソコデ中小
企業轉廢業參謀本部ト云フヤウナモノヲ作ツテ行
ク御考へハ御持チニナリマセヌカ
○岸國務大臣 國民更生金庫ノ活動ヲ活潑
ナラシメル爲ニ、官廳ノ所管ノ問題等ニ
付キマシテハ、十分私共モ政府部内デ、今
考究ヲ致シテ居リマス、唯國民更生金庫ト
此ノ財團ト一緒ニスルカドウカト云フ問題
ニ付キマシテハ、國民更生金庫ハ其ノ設立
趣旨ガ中小商工業者ヲ目標トシテ居リ、隨
テ是ノ活動ト云フコトニ付キマジテハ兎ニ
角今問題ニナツテ居リマス中小商工業者ノ
轉廢ニ關スルヤウナ、非常ナ緊急ナ而モ重
要ナ問題モ之ニ包含シテ居リマスノデ、ド
チラカト言ヒマスト、更生金庫ハ物的ナモ
ノヲ相手トスルト同時ニ、其ノ經營主タル
中小商工業者ノ人間ヲ對象トシテ居ルヤウ
ナ性質ヲ持ツテ居リマス、今度作りマス所
ノ營團ガ主トシテ狙ツテ居ルモノハ大企業
ノ遊休未動施設ノ國家的活用、利用ト云フ
コトデアリマシテ、稍其ノ狙ヒヲ異ニシテ
居リマスノデ、今日之ヲ一緒ニスルヤウナ
考ヘハ持ツテ居リマセヌ最後ニ中小商工業
者ノ再編成ノ問題ニ關シマシテ、商工省内
内ト協力致シマシテ、是ガ中心トナツテ此

ノ問題ヲ責任ヲ以て解決スルト云フコトニ
當ツテ參リタイト思ヒマズ

○横川委員長 喜多君、只今厚生省職業局
長ガ御見エニナリマシタカラ其ノ御含ミ
デ……

○喜多委員 今濟ンダ所ナノデスガ、厚生
省ノ職業局長ニ御尋ネシタイ、厚生省ノ職
業局ト商工省ノ振興部トハ一ツノ問題ヲ唯
楯ノ兩面デ扱ツテ居ルト云フヤウナ不便ヲ
國民トシテハ看過シ難イ、職業局ガ振興部
ノ中へ入ルカ、或ハ振興部ガソツチヘ行ツ
テモ宜イデセウ、繩張リヲ言フノデハナイ
ガ、モツト國民ニ親切ニナラレルヤウナ厚
生當局ノ御考ヘハナイカト云フコトヲ御尋
ネシタイ、是ハ今答辯ハ要リマセヌ、後デ
商工當局ト能ク御相談ナツテ、適當ナ機會
ニシテ戴イテモ宜イト思ヒマス

次ハ遊休未動設備ノ方ニ移リマスガ、本
營團ノ事業ハ色々ト掲ゲテアリマス、先程
マダ事業目論見ト云フ風ナモノハ正確ニ出
來テ居ナイカラ、此ノ數字デ了承シロト云
フコトデシタ、了承シマス、ソコデ設備營
團ノ事業ノ時間的計畫如何ト云フコトデア
リマス、是ハ大藏當局ノ答辯ガ欲シイ、
事業ノ何ヲ最初ニ着手スルカ、サウンテ其
ノ後ノ事業ノ計畫ハドンナ風ニ進メテ行ク
カ、之ニ對シテ現在ノ所第一次資本拂込ハ
五千万圓デアルカラ、隨テ營團ノ事業資本
ハ二億五千万圓乃至三億圓ニ過ギナイ、之
ヲ何時頃マデ續ケテ行クカ、即チモツト殖
ヤシテ來ルノハ何時頃ニナルカ

○岸國務大臣 營團ヲ設立シテ店鋪キヨス
ル事柄ハ、先程來申上ゲマシタヤウナ事情
デアリ、又此ノ臨時議會ニ特ニ審議ヲ願ツテ
居ル點カラ申シマシテ、急イデ之ヲ設立ス

ル積リデアリシテ、少クトモ今年一杯ニ
ハ活動ヲ開始スルヤウナ形ニ持ツテ行キタ
イ、斯ウ考ヘテ居リマス、今後ノ活動ノ手
順竝ニ其ノ資金ノ調達ノ時期等ニ付キマシ
テハ、今日正確ニ此ノ見透シヲ申上ダルコ
トハ困難デアルト思ヒマスガ、一面私共ハ
各種事業ノ整理統合ノ案ト云フモノハ、具
體的ニ各種事業ニ付キマシテ立ツテ居リマ
スノデ、其ノ中兎ニ角出來ルモノカラドンヽ
手ヲ着ケテ行ク、サウシテ資金ニ不足ヲ生
ズルナラバ、ズンヽ大藏當局ノ方ニ御願
ヒシテ、此ノ資金ヲ擴張シテ行ク、斯ウ云
フコトニ致シタイト思ヒマス

付カナノカト云フコトヲ、大藏大臣ニ通ジテ戴キタイ、サウシテ適當ノ機會ニ御答辯ヲ願ヒタイ
ソレカラ商工大臣ニモウ一ツ御尋ネ致シマス、營團ノ事業ハ——遊休未動設備ノ利用ハ、生産擴充ノ強化ト云フ點カラスレバ、是ハ一ツノ大掃除デス、「クリアラーンス」デス隨テ大掃除シタ後ノ新シイ事業ニ對シテ資金ヲ融通スルト云フコトハ、別個ニ從來ノ金融機關ノ手デ十分ダト商工大臣ハ御考ヘニナリマスカ、此ノ點一ツ答辯シテ置イテ戴キマス、但シ大藏省ニ對スル分ハ大藏大臣ノ答辯ヲ保留致シマス

○岸國務大臣 金融ノ問題ニ關シマシテハ、御承知ノ通り從來ノ金融機關ノ活動ト云フモノガ戰時經濟運用ノ上カラ十分デアルカドウカト云フ點ニ關シマシテ、主管省タル大藏省ニ於キマシテモ色々ナ御研究ガアリ、又色々之ニ含ハセルヤウニ方策ガ立テラレ、指導ガ加ヘラレテ居ルト思ヒマス、又制度モ出來テ居リマス、現在私共ハ金融方面ノ事柄ハ在來ノ金融機關竝ニ大藏當局ノ金融統制方針ニ信賴致シマシテ、此ノ機關ト十分手ヲ握ツテ兩々相俟ツテ之ヲ行ツテ行ク考ヘデアリマス、唯併シナガラ實際ヤツテ見マシテ、ソレガ旨ク行クカ行カナイカ、又ソレデハ足リナイカト云フヤウナ事態ニ付キマシテハ、實行ノ上ニ於キマシテ更ニ考慮致シタイト斯ウ考ヘテ居リマス○喜多委員 投資業務ノ中デ現物的ノモノダケヲ認メテ行ク、併シ設備建設ノ爲ノ金錢的出資ヲ認メナシ、是ハ理論上成立ツテ居マセヌ、滅茶苦茶デス、急イダカラダラウト私ハ讓歩シマスガ、本當ナラコンナ法案何デスカ、是デ仕事ガ出來マスカト言

トヒタイ、恐ラク商工大臣一言モナイグラウト思ヒマス、ソニシ私ハ妥協シタノデヤナイカト、斯ウ推測スルノデスガ、是ハアナタノ仰シヤル通り運轉資金ヲ營團ガ他ノ制度、例ヘバ命令融資ニ仰グト云フヤウナコトニナルト、營團ハモウ興業銀行ノ所ニ行ツテ頭ヲ下ダナケレバナラナイト云フヤウナ無様ナコトニナルシ、興業銀行亦大イニノサバルト云フヤウナコトガ出テ來マスヨ、是ハ俗ニ言フ勘定合ツテ錢足ラズ、「バランスシート」ダケハ出來タガ、金庫ノ中ニハ紙屑シカナイト云フノデハ、折角營團ヲ作ツテモ何ニモナリマセヌ、之ニ付テ商工大臣ノ御考ヘア聽キタイシ、此ノ點ニ付テハ大藏大臣ニ通ジテ戴イテ、大藏大臣ノ答辯ヲ戴クコトヲ保留シテ置キマス

第二ニハ、遊休未動設備ヲ本營團ニ買取ラレタ會社ガ、買上代金ヲ國債デ受取ルノデセウ、是ハ命令ニ依ツテ自由ニ處分ガ出来ナイト云フコトハ本法案ニ依ツテ豫想シ得ル、併シ其ノ會社ガ資金的ニ涸渴シテ居ル場合ハ、未動設備ノ整理ガ何等其ノ會社ノ生産增强ニ寄與シテ居マセヌ、ヤハリ懷ニ入レテヤラナケレバイケマセヌ、ソレデ政府ハ斯カル場合ニハ強制融資命令ヲ發動スルコトヲ考ヘて居リマスカ、ソレトモ他ニ融資措置ト云フコトヲ考ヘラレテ居ルノデアリマスカ、是ハ大藏大臣ト御相談ノ上デ、シツカリシタ答辯ヲ、大藏大臣出席ノ時ニヤツテ戴キタイ

次ハ、融資方面デハ既存ノ金融機關ト密接ニ關係ヲ取ルト言ハレルト思フ、サウ豫想出來ル、所ガソレハ從來ノ實情ニ鑑ミテ見ルト云フト、中々行カナイ、興業銀行ガ一部ノ事業家カラハ神様ノヤウニ言ハレテ居リ

マスガ、一部ノ事業家カラハ惡魔ノヤウニ言
ハレテ居ルコトハ、是ハ大藏當局ハ世間ノ
聲トシテ能ク聽イテ置カナケレバナリマセ
ヌ、及ビ其ノ他ノ特殊金融會社モ然リ、是
ハ非常ナ弊害ガ出マス、ナゼナラバ、主管
省ヲ異ニシテ居ル、ソレデナクトモ繩張等
ヒ、權限等ヒヲヤリタガル日本ノ御役所ナ
ンデスカラ、ソンナコトノ爲ニ營團ガ動力
ナクナレバ大變ナコトデス、ソコニ投資ト
融資トヲ離シテ別個ニヤルト云フコトカラ
來ル大キナ弊害ガアル、或ハ又融資命令ヲ
ヤルトシテモ、一ツノ遊休未動設備ヲ
整理シテ行クノニ非常ニ時間ガ掛ツテシマ
ツタラ何ニモナラナイ、是ハ急イデヤルコト
ナンデスカラ、此ノ點ニ付テ、是ハ大藏大
臣ノ答辯ヲ戴クコトヲ保留シテ置キマス
ソレカラ是ハ商工大臣ノ答辯モ要求シタ
イ、産業設備營團ハ設備ノ買取金ニ付テハ
國債證券ヲ以テ交付スル、是ハ宜シイ、ソ
レカラ二十條ニ「其ノ代價トシテ受ケタル金
錢又ハ國債證券ノ處分ニ關シ必要ナル」指示
ヲ爲スコトヲ得ト言ツテ來テ居マスカ
ラ、是ハ貴ツテモ國債デス、サウシテ命令
ガ附イテ居ツラドウニモナラナイト云
フヤウナ時ニ考へラレルコトデスガ、折角
時局ノ要請ニ對應シテ企業ノ整理、合同、
再編成ト云フ風ナ大キナ仕事ヲシテ居ルニ
モ拘ラズ、企業ノ進マナイト云フコトハ、遊
休未動ノ場合テモ同シデスガ、私ハ現行稅
法ニ大キナ缺陷ガアルト考ヘマス、企業合
同ニ伴ツテ生ズル清算所得ニ對スル課稅及
ビ登錄稅ノ課稅ニ對シテハ、何等ノ特例
ガ開カレテ居ナイ、業者ノ營業權等ノ評
價ト、不動產ノ償却ノ關係カラ言ヘバ、合
同ニ際シテハ相當清算所得ガ生ジマス、其

ノ清算所得ヲ生ジナイヤウニ評價スルトスレバ、合同價格ト實際價格——時價ト云フモノノ間ニ開キガ出テ來テ業者ガ喜バナイカラ合同シナイ、是ハ大樹合同ノ場合ニハ株券ノ交付ラスル、其ノ上ニ又營團カラモ國債ヲ以テスルト云フコトニナルト、場合ニ依ツテハ納稅スルコトノ出來ナイ懷口狀態モ考ヘラレル、斯様ナ行キ方デハ企業整理統合ニ大キナ支障ヲ來シマスカラ、是ハ重大ナ政策デスケレドモ、政府ハ企業再編成ヲ進メテ行クコトガ今日ノ日本ノ國家的要請ダト云フ意味カラ行ケバ、綜合生產力ト云フモノヲ體系付ケルト云フ點カラ言ツテモ、ドウシテモ斯ウ云フ細カイ點ニ氣ヲ遣ツテ企業合同ハ中小企業マデ及ビタイ、轉廢業スル人ニモ、遊休未動ノ設備ヲ整理統合サレル人ニモ、私ハ一體此ノ點デ大藏省ガ免稅シテヤル位ノ考ヘヲ持タナケレバイカヌト思フ、免稅ガ出來マスカドウカ、若シ免稅デイケナインラ少クモ減稅シナケレバイケマセヌヨ、減稅スルトシタラドノ程度カ、是ハツ大藏大臣ノ答辯ヲ承ルコトヲ保留シテ置キマス、早クヤラナケレバイケマセヌ、モウ病人ハ瀕死ノ狀態ナノデス、死ンデカラ頓服ヲ飲マシテモ間ニ合ヒハシナイ、熱ノ出サウナ時ニ要ルノデスカラ、此ノ企業合同ヲ促進スルト云フ小サナ眼ヨリモ、モツト大キナ日本ノ計畫統制經濟體制ヲ促進スル力トシテ企業合同ヲ遊休未動設備ニ對シ或ハ中小商工業轉廢業者ニ對シテノ課稅ヲ免除スルト云フヤウナコトヲ大藏大臣ハ考ヘラレルカドウカ、サウシテソレニ對シテ商工大臣ハドウ云フヤウナ御考ヘヲ持ツカト云フヤウナコトヲ伺ヒタイ、若シソレヲ免除スルトカ減稅スルト云フ

ナラ、何時カラスルカ、來年ノ四月ナント
言ツタラ、來年ノ四月マデ足踏ミシテ、オ
一二、オ一二ヤツテ居ツテ一步モ前ニ出マ
セヌヨ、スルノナラ何時スルカ、來議會ニ
出スカ、來議會ニ出スト此處デ明言ナサレ
タナラバ、業者ノ方ヘハ是ハ傳ツテ行キマ
スカラ、待ツテ居ヨウ、サウスレバ免稅ダ、
減稅ダト云フコトニナル、ダカラ此ノ答辯
ヲナサルニハ、大藏大臣ハ此處デ言明ナサ
ツタ時ニマデ遡及シマス位ノ用意ラシテ來
ナケレバ是ハ效果ハナイ、是ハ私ハモウ一
遍委員諸君ト諮詢ツテ、他ノ方ノ時間ニモ御
尋ネシタイ位ニ思フ、是ハ社會政策デハア
リマセヌ、戰時政策デソシナモノハ吹飛ン
デ居ル時デアルカラ、本當ノ力ニ依ツテ國
民ガ一億一心ニナツテヤツテ行クノダト云
フ、一ツノ大キナ政治的「ゼスチア」ダト考ヘ
テモ宜イノデス、此ノ點ニ付テハ一ツ太藏
大臣ノ答辯ヲ承ルコトヲ保留シマス
○横川委員長 喜多君、時間ガ非常ニ切迫
シテ居リマスシ、既ニ一時間ヲ超エテ居リ
マスカラ、下ウカ其ノ點御注意アツテ御質
問ヲ願ヒマズ
○喜多委員 非常ニ良心的ニ注意シテ、委
員長ト呼ブコトモ忘レルノデスガ、急ギマ
ス、モウ一ツ既存ノ金融會社ト本營團トノ
關係如何、國民更生金庫ニ對シテサツキモ
申上ゲテ置キマシタガ、中小商工業者ノ五
万圓以下トカ、或ハ現在ノ資金調整法ノ二
十万圓以下ノヤウナモノハドウデス、國民
更生金庫ノ方ニヤツテ、遊休ノ方ニヤラナ
イト云フヤウナ區別ヲ御立テニナツテ置ク
必要ガアリハシナイカト云フコトヲ伺ヒタ

國民、更生金庫ト云フモノヲモツト活カス爲ニ、大藏省カラ寧ロ商工、厚生兩省ガ一緒ニナツタヤウナ所、或ハ商工省ニデモ移シテ、銀行屋ガ銀行ヲヤルト云フヤウナ考ヘデナクヤルヤウナ考ヘガオアリニナルカドウカ、其ノ點ヲ一つ答辯トシテ御聽キシタイコトヲ保留シテ置キマス

最後ニ、私ハ注意モサレマシタカラ略シマスガ、此ノ營團ノ實現ヤ、中小企業ノ轉廢業共助資金制度ナドヲ考ヘテ來ルト、今マデノ商業組合法、工業組合法デハ間ニ合ハヌコトハハツキリシテ來タ、アレハ自由主義經濟時代ノ協同主義ト云フ「コープレティーヴ」ト云フヤウナ生温イ所ニ狃ヒガアツタモノデスガ、今日ハソンナ時代デハナイカラ、商業組合ト工業組合トヲ一體ニシテ、モツト此ノ日本ト云フモノノ特殊性ヲ織込ンダヤウナモノデナケレバナラヌ組合法ノ改正ヲスル意恩ガ商工當局ニアルカナイカト云フコトヲ伺ヒタイ

ソレカラ餘程氣ヲ付ケテナサラナイト、世間ハ——國民ノ方デハ商工當局ガ統制ノ爲ニ中小企業者ヲ統制、整理、廢合スルト云フ聲ガ強イノデス、又其ノ弊害モ見エテ居ルノデス、併シ小商人ノ如キハ決シテ是ハ排除スベキモノデハナイ、生キテ行カレルモノナラバ商人トシテ力ヲ持ツテ居ル者ナラ、配給機構トシテ殘シテ置カナケレバナラナイ、ソレガ今日ノ國民生活ノ一つノ亂脈サヲ來シタト云フコトモモウ御分リト思ヒマスガ、サウナツテ來ル、斯様ナ點カラ綜合シテ私ハ中小企業者ノ轉廢業問題ニ連レテ更ニ國民ノ戰時生活基準ト云フコトヲ決メラレルト云フ意味デ、商工大臣ハ綜合點數切符制ナドニ依ツテ國民生活ノ消費規

正ヲ戰時化スル、決戰化スルト云フ勇猛心ヲ
御持チニナルカドウカ、是ハ重ネテ御尋シ
テ置キタ伊委員長ニ御斷リシテ置キマス
ガ、私ハ御説ニ從ヒマシテ急ギマシタノデ、
マダ三、四大藏大臣出席ノ場合ニ質問シタ
イコトガ残ツテ居リマスガ、其ノ點ダケ許
シテ戴ケルナラ是デ質疑ハ打切ツテ置キマ
ス

○**岸國務大臣** 組合制度ノ問題ニ關シマシ
テハ、私共、鎌意考究中デアリマス、今日ド
ウ云フ方法デ之ヲ改正スルカト云フヤウ大
事柄ハ、マダ申上ゲル時機デハアリマセヌ
ケレドモ、十分考ヘテ行キタイト斯ウ考ヘ
テ居リマス

更生金庫ト此ノ營團トノ分界ニ付キマシ
テハ、今五万圓トカ二十万圓トカ云フ御話
ガアリマシタガ、大體先程申上ゲマシタヤ
ウニ、更生金庫ハ中小工業者ニ對スルノデ
アリマスカラ、人ト云フ點ニ重キヲ置イテ
居リマスノデ、個人企業ノ方面ハ專ラ此ノ
更生金庫デヤル積リデアリマス

又規模ノ點ニ付テハ、或ハ二十万圓ガ宜
イカ、五十万圓ガ宜イカ、其ノ邊ニ付キマ
シテハ、モウ少し考究ヲ致シテ行キタイト
スウ考ヘテ居リマス

○**喜多委員** モウ二ツダケ許シテ戴キタイ
ト思ヒマス、モウ理由ハ申述ベマセ又中小
工業者ニシテ應召シテ居ル者、及ビ其ノ遺
族家族ノ取扱方針ニ關シテハモット積極化
シタ對策ヲ商工當局ハ、轉廢業策ノ中ノ
一つシテ御持チニナリマスカ、是ハ民間
デハヤツテ居ルノデスヨ、モウ大概出征軍人
ニ對シテハ、銀行、會社デハ立派ニ給與シテ居
ル、殊ニ轉廢業ヲスルト云フ風ナ場合ニハ特

共ニナサルコトガ必要デアル、遅カツタ位
デアリマス

ソレカラ私ハ急イダ爲ニ大事ナコトヲ忘
レテ居ルノデスガ、中小企業合同ヲ促進シテ

行クト云フコトハ、遊休未動ヲ設備ヲ整理
統合スルト云フコト、是ハ双子ナノデ、ドツ

チガ弟デ、ドツチガ兄貴ダト言ヘナイ程大

事ナノデアル、ソコデ遊休未動設備ノ整理
統合ノ必要ハ、アナタハサツキ國家總動員

法ニ依リ強權的ナ措置ヲ講ジマスト言ハレ

タ、所ガ中小商工業ノ整理合同モ、其ノ轉
廢業ヲスル者ニ生活扶助金ト云フ立派ナ制

度ヲ作ツテ行キナガラ若シ是ガ更生金庫カ
ラ評價サレタヤウナ時ニハ大藏省ガ差引ク

ノダゾト言ツタラ、國民ハ騙サレタト言ツテ
痛憤シマスヨ、是ハ受ケテ居ヨウガ受ケテ

居ナカラウガ、更生金庫ト此ノ共助金補助
制度トハ別個ダト云フコトヲ明言ナサル必

要ガアルト思フ、ソレト中小企業合同ニ付
テハ、遊休未動設備ノ整理問題ニ總動員法
ノ發動が必要デアルト同様ニ、ヤハリコツ

チデモ中小企業免許制ト云フコトヲオヤリ
ニナル必要ガアルト思フ、之ヲヤラナケレ
バ駄目デス、片方デ出テ來ルモノダケヲ救
ツテ置イテ、出ルロヲ塞グト云フヤウナ意
味デソレハ何モ統制ノ爲ノ統制デハナ、日

本ガ本當ノ計畫經濟體制ニ行クト云フ意味
デ此ノ中小企業ノ免許制、營業許可制ト、
一部アリマスガ、ソレヲモット擴大シテ行

クト云フヤウナ意思ガアルカドウカ、此ノ
際ニ發表シテ戴キタイ

○岸國務大臣 轉廢業ニ付キマシテ、應召
者ノ家族ニ付テ特別ノ考慮ヲシロト云フ事

柄ハ私共全然同感デアリマシテ、特ニ此ノ
點ハ十分ニ留意シテ特別ノ注意ヲスル積

リデアリマス、中小商工業ニ對スル質疑ダケハ
金ト更生金庫ノ買取價格トノ關係ニ付テノ
御質問デアリマスルガ、是ハ全然趣旨ガ違
ツテ居ル問題デアリマシテ、先程來申シマシ
タヤウニ、更生金庫ノ方デハ從來ノ營業權
實績權ト云フヤウナモノヲ評價シマシテ、
營業設備ヲ併セテ買收スルト云フ形ヲ執ツ
テ居リマス、今日吾々ガ交付シヨウトスル
モノハ、從來當業者ノ共助的ナ施設トシテ
共助金ヲ出シテ居ツタノデアリマスガ、當
業者ダケニ之ヲ任シテ置キマシテハ、當業
者全體が行詰ツタ今日ニ於キマシテハ、到
底轉廢業者ノ生活ヲ保障スル譯ニハ行カヌ
ト云フ趣旨デ出シマスノデ、其ノ點ハ別ノ
取扱ヲセネバナラスト考ヘテ居リマス、最
後ノ免許制ノ問題ニ付キマシテハ、是亦御
趣旨ノ通りは必要デアルト存ジマス既ニ
總動員審議會ニ於キマシテモ其ノ大綱ハ決
ツテ居リマシテ、近ク法令ノ公布ヲ見ルコ
トト思ヒマス、急イデ此ノ點ハヤリタイト
考ヘテ居リマス

○喜多委員 近ク公布ヲ見ル國家總動員法
ニ依ル勅令ト云フノハ名前ヲ發表出來マセ
ヌカ、マダサウ云フ關係ニアリマスカ

○岸國務大臣 此ノ點ハ從來之ヲ一切新聞
ニ掲載禁止致シテ參ツテ居リマスケレドモ、
今日トナリマシテハ私ハ申上ゲテモ宜イト

思ヒマス、企業許可令ト云フモノヲ出ス積
リデ居リマス

○喜多委員 其ノ企業許可令ハ結局私ガ今
マデ申上ゲテ來タ中小商工業ノ轉廢業ニ對

立スルモノトシテ御考ヘニナツタモノデア
リマスルト、茲ニ産業ノ企畫的ノ再編成ト

リマセウネ

○岸國務大臣 サウデス

マスガ、アト大藏大臣ニ對スル質疑ダケハ
保留ヲ認メテ戴キタイ

○横川委員長 丁度定刻デゴザイマスルガ

審議ノ時間モ少イノデゴザイマスカラ更ニ
十五分程御勉強ヲ願ヒマシテ、川島君ニ質
疑ヲ許シマス川島君——

○川島委員 午前中ニ質疑ガ濟ミマセヌカ
ラ午後マデ繼續スルコトヲ御許シ願ヒタイ
ト思ヒマス、本法案ノ目的ガ一ツハ我ガ緊
要產業ノ建設維持ニアリ、一ツハ未動遊休
設備ノ活用ニアルノデアリマシテ、言フマ
デモナク是ハ社會政策的施設デハナクテ、
高度國防國家建設ノ爲ニヤルノデアリマス
ガ、先程大臣ノ御説明ニモアリマシタガ、
此ノ一ト二ノ目的ヲ考ヘタ場合ニ、緊要產
業ノ建設ノ爲ニハ金額ヲ七億八千万圓使フ
ノダ、而シテ未動遊休設備ノ爲ニハ二億六
千万圓使フノダト云フ點カラ考ヘテモ、主
タル目的ハ未動遊休設備ノ活用ニアラズシ
テ、國家ノ爲ヌ必要ナル產業ノ建設ヲスル
ノダ、民間デハ出來ナイ所ノ建設ヲスルノ
ダト云フ點ニアルト思フノデアリマスガ、
一體重點何レニアルノデアルカ、假ニ重點方
緊要ナル產業ノ建設ニアルノダト致シタ場
合ニ「著シク困難ナルモノ」ト云フ風ニ法文ニ
ハ書イテアリマス、大體今日ノ勞力ノ關係、
資材ノ關係、資金ノ關係カラ考ヘマスルト、
新タナル産業ハ此ノ營團ノ事業ニ移サレル
ノデハナイカ、新タナル民間ノ企業ト云フ
ノニハ何モ非常ニ困難ガ伴フノデアリマ
スルカラ、大體ニ於テ今後國家ニ必要ナル
新タナル産業ハ此ノ營團ノ事業ニ移サレル
ノデハナイカ、新タナル民間ノ企業ト云フ
モノハ起キヌノデハナイカト云フ風ナ感じ
ガ私ハスルノデアリマスガ、若シサウデア
リマスルト、茲ニ産業ノ企畫的ノ再編成ト

云フコトニ逢着スル譯デアリマス、是等ニ
對シマシテ先づ大臣ノ御考ヘヲ承ツテ置キ
タイト思ヒマス

○岸國務大臣 本營團ノ事業ハ提案理由デ
申上ゲマシタ通リニツヲ狙ツテ居ル譯デア
リマス、私共此ノ何レニ主眼ヲ置クカト云
フ事柄ニ關シマシテハ何レヲ主ト申上ゲル
譯ニ行カヌ、兩方トモ同ジヤウニ重點ヲ持
ツテ居ルモノト思ヒマス、唯取敢ズ吾々ガ
使フ資金ノ目標ヲ先程申上ゲマシタヤウニ
新タニ建設スルモノニ比較的多クシテ、未
動遊休ノ方ニ於テ金額的ニ取扱ガ少イノデ
ハナイカト云フ問題ニ付キマシテハ、未動
遊休施設ノ中大部分ノモノハ先程御説明致
シマシタヤウニ、業者ニ於テ未動遊休施設ヲ
一應保有セシムルノデ、此ノ營團ノ方が取
敢ズヤルト云フ事柄ハ金額的ニハ少イノデ
アリマスルケレドモ、此ノ目的カラ言フト、兩
者ニハ輕重ナク何レニ主眼ヲ置クノダト云
フコトヲ申上ゲルコトハ困難ダト思フノデアリ
マス

尙ホ將來國家緊要產業ノ建設ト云フコトガ
段々難カシクナツテ業者トシテハ非常ナ困難
ヲ増シテ居ル、隨テ此ノ營團ガ全部引受ケテ
ヤルヤウニハナラナイカト云フ御話デアリマス
ガ、國家ノ生產力擴充產業其他緊要產業ニ
付キマシテハソレノ物動計畫、生產力擴
充計畫等ニ依リマシテ一定ノ計畫ガ與ヘラ
レテ居リマシテ、此ノ目標ニ對シマシテハ出
來得ル限り業者ニ於テ其ノ創意ト責任ニ於
テ之ヲヤツテ行クト云フノガ何ト言ツテモ
根本ノ建前ダト思ヒマス、隨ツテソレニ要
建設ヲ促進シテ行ク譯デアリマスケレドモ、

<p>サウ云フ方法ニ依ツテモ中々出來得ナイヤ ウナ困難な事情、又其ノ事情ガ吾々ガ考へ テ見マシテ、經營的ニ技術的ニ尤モダト思 ハレルヤウナ事情ガアリマシテ、而モ國家 ノ必要ハ之ヲ急イデヤラケレバナラスト 云フモノニ付テ、本營團ノ活動ヲ期待シテ 居ル譯デアリマシテ、將來ノ重要產業ニ付 テノ多クノ設備ヲ專ラ是ガ引受ケテヤルト 云フヤウナコトニハ相成ラヌモノダト考ヘ テ居リ、マス</p>
<p>○川島委員 現在マデニ融資命令ニ依ツテ 強制融資ヲシタ金額ガドノ位アルノデアリ マスカ、先般國家總動員審議會ノ時ニ御發表 ニナツタ數字ハ非常ニ少イ數字デ、寧ロ私 ハ其ノ少キニ驚イタノデアリマスルガ、ド ノ位アルノデアリマスルカ、而シテ大藏省 ノ査定ガゴザイマセウガ、商工省其ノ他關係 官署カラ申込ンダモノガドノ位アツテ、其 ノ中ドノ位實際的ニ興銀ヲ通ジテ貸シテ居 ルカト云フ點ガ明瞭ニナレバ尙ホ仕合セダ ト思フノデアリマス</p>
<p>○相田政府委員 總動員法第一條ニ基ク 融資命令竝ニ債務ノ引受、債務ノ補償ト云ツ タ色々ノ命令ガアル譯デアリマスガ、現在 マデノ命令濟ミノ金額ハ、融資ト債務ノ引 受ケヲ合セマシテ十九億圓ヲ超エテ居リマ ス、個々ノ案件ニ付キマシテハ大部分ハ商 工省ナリ陸海軍當局ナリ、其ノ他關係方面 ニ拘ラズ、必要ト考ヘラレルモノニ付キマ シテハ迅速ニヤルコトヲ心掛ケテ居ルノデ アリマスガ、最近ノ實情ニ於キマシテハ、 主トシテ關係廳ノ指導ニ依ツテヤルヤウナ モノガ多イト承知致シテ居リマス</p>
<p>○川島委員 今ノ御答辯ニモアツタノデア リマスガ、既ニ陸海軍省ガ中心ニナツテ強 制融資ヲシテ居ルノハドノ位アリマセウ カ、ソレカラ將來產業設備營團ノ事業ト現 在マデヤツテ居ル陸海軍省直接ノ民間ニ對 スル出資事業トノ關係ガ、ドウナルノデア リマセウカ</p> <p>○相田政府委員 一應私カラ御答ヘ申上ガ マス、強制融資或ハ債務ノ引受ノ内容ニ付 キマシテ、陸海軍關係ガドレダケアルカト 云フヤウナコトハ、實ハ答辯申上ゲルコト ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ此ノ營 團ト所謂融資命令トノ關係ニ付テ私カラ一 言申上、ゲマスレバ、強制融資等ノ制度ノ方 ハ、此ノ營團ヨリモ實ハ非常ニ廣イ目的ヲ 持ツテ居ルノデアリマス、詰リ總動員法十 一條ニ依リマシテ、資金ノ融通、債務ノ引 受、或ハ債務ノ補償ヲ命ジ、或ハ有價證券 ノ應募、引受、買入ヲ命ズルコトガ出來ル コトニナツテ居リマス、是ハ生產力擴充產 業、其ノ他時局ニ緊要ナル資金ノ供給ヲ圓 滑ナラシムル爲メ、必要アル時ニ出來ルノ デアリマシテ、獨り設備ノ爲ノ資金ノミニ 限ラズ、又必ズシモ生産ノ爲ノ資金ニモ限 造ラナケレバナラスト云フ御計畫ガアルト 思フ、ソレヲ聽キマセスト、此ノ營團ノ資 金ガ是デ足リルカ足リナイカト云フコトノ 見當ガ付カヌ譯デス、私ノ質問シタイコト ハ、新タニ設備スルノハ七億八千万圓デア ルト云フ大臣ノ御説明デ、是ハ昭和二十年 マデデアルト云フノデアリマスガ、果シテ 是デ本當ニ國家ノ要求ニ應ジ得ルノカ應ジ 得ナイカト云フコトガ聽キタイノデ、斯 ウ云フ御質問ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス ○岡崎(久)委員 今ノ御答辯ヲ一寸聽漏ラ シタノデスガ、兵器工場云々付テ、ソコ ル次第アリマス</p> <p>○岸國務大臣 本營團ハ直接ナ兵器ノ製作 資命令ト本團トノ關係ハ考ヘレバ宜シイノ 關スル關係ニ付キマシテハ、先程商工大臣 カラモ御答辯ガアリマシタヤウナコトニ融 資命令ト本團トノ關係ハ考ヘレバ宜シイノ デハナイカト、大藏當局トシテモ考ヘテ居 リマスガ、最近ノ實情ニ於キマシテハ、 ガアリマスト、關係廳ノ御話ガアリマスト ニ付テハ、之ヲ取扱ヘナイ積リ</p> <p>○岸國務大臣 直接兵器ヲ製造スル工場ハ 製造スルモノニ付テハ、或ル程度マデ此ノ 營團デ取扱ツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リ マス</p> <p>○岡崎(久)委員 一寸意味ガ能ク分リマセ スカラモウ一遍御伺ヒシマスガ、兵器ノ工 場ノ設備が不完全デ新設モ困難カラ何ト ニベ、今後相當程度ニ緊要ナル產業ノ新タナ施 設ヲシナケレバナラスト思フノデアリマスガ、 ソレハ大體ドノ位要ルト云フコトヲ御考ヘ ニナツテ居ルノデアリマセウカ、物動計畫 其ノ他カラ是ダケノ物資ヲ造ラナケレバナ ラス、斯ウ云フコトガアル筈デス、所ガ今 ノ設備ハ足リナイ、是ダケノモノハ新タニ 造ラナケレバナラスト云フ御計畫ガアルト 思フ、ソレヲ聽キマセスト、此ノ營團ノ資 金ガ是デ足リルカ足リナイカト云フコトノ 見當ガ付カヌ譯デス、私ノ質問シタイコト ハ、新タニ設備スルノハ七億八千万圓デア ルト云フ大臣ノ御説明デ、是ハ昭和二十年 マデデアルト云フノデアリマスガ、果シテ 是デ本當ニ國家ノ要求ニ應ジ得ルノカ應ジ 得ナイカト云フコトガ聽キタイノデ、斯 ウ云フ御質問ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス ○横川委員長 ソレデハ時間モ大分經チマ シタカラ答辯ハ午後ニ讓リタイト思ヒマス、 デモ宜シウゴザイマスカラ、午後ハ本會議ニ於 キマシテ決議案終了後直チニ再開ヲ致シ</p>

マス

午後零時二十分休憩

午後二時二十六分開議

○横川委員長 休憩前ニ引續キマシテ再開

○川島委員 私ノ質問ニ對スル答辯ノ殘り

○岸國務大臣 先程ノ御質問ハ要スルニ國

家緊要產業トシテ、國家デ計畫サレ、國家

ガ考ヘテ居ルモノハドノ位ノ大キサデアル

カ、其ノ中此ノ營團ガ受持ツノハドウ云フ

割合ニナルカト云フ御詰デアツタノデアリ

マス、御承知ノ通り今日ニ於キマシテハ國

家緊要產業ノ設備擴充ト云フモノハ、總テ

生産力擴充計畫又ハ物動計畫ニ依ツテ計畫

のニ進メラレ居ルノデアリマス、此ノ營

團ハ其ノ計畫のニ進メラレ居ル設備ノ全

部ヲ引受ケテヤラウト云フ譯デハナインデ

認メラレルモノデアツテ、而モ時勢カラ見

マシテ急イデヤラナケレバナラヌト云フモ

ノヲ引受ケテ設備シテ、之ヲ貸與シ若シク

ハ出資シヨウ、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス、

今日ノ狀況ニ於キマシテ生産力擴充計畫及

ビ物動計畫ハ、御承知ノ通り既ニ生産力擴

充計畫ニ付キマシテハ第一次ノモノガ決定

サレ、更ニ之ヲ終レバ、第二次ノ計畫ガ立

テラレル譯デアリマス、物動ハ之ニ應ジテ

年々之ヲ執行スルニ必要ナル程度ニ立テラ

レテ居ル譯デアリマス、サウシテ此ノ生產

力擴充計畫及ビ物動計畫ニ關シマスル具體

的ノ數字ハ甚ダ殘念デアリマスケレドモ、

發表ガ禁止セラレテ居リマスノデ、今後ノ

數字モ、過去ニ於テドウ云フコトヲヤツタ

ト云フ事柄モ、發表スル譯ニ參ラナイノデ

アリマス、唯御手許ニ御参考マデニ御配リ

シテアリマスル資料ノ中、計畫資本事業別

表ト云フ日銀調ガアリマス、此ノ表ハ必

ズシモ今申シマシタル國家緊要產業ノミナ

ラズ、其ノ他ノモノモ含ンデ居ルノデアリ

マスルガ、其ノ產業ニ對スル新規投下ノ資

本額ヲ年々ニ分ケテ御手許ニ配ツタモノノ

中ニ出テ居リマス、ソレニ依リマスト、昭和

十二年ニハ二十一億、昭和十三年ニハ二十一

九億、十四年ニハ四十一億、十五年ガ三十

二億トナツテ居リマス、是ハ今申シマシタ

ヤウニ、必ズシモ時局カラ見マシテ國家緊

要產業ダケヲナニシテ居ル譯デハナインデ

アリマス、併シ現下ノ情勢カラ申シマスト、

外國カラ機械其ノ他ヲ輸入スル途ガ殆ド杜

絶シテ居リマス關係上、我ガ國トシテ建設

ヲ要スル設備ノ額ハ、今後情勢ノ變化如何ニ

依リマシテハ、相當今マデアリマシタ平年

度ノ分ヨリモ增加スルモノト考ヘナケレバ

ナラスト思ヒマス、私共ノ今此ノ營團ニ於

テ取敢ズ考ヘテ居ル四箇年ニ七億八千万圓

ト云フ額ハ、必ズシモ是ハ非常ニ多イモノ

デハナインデアリマシテ、之ヲ以テ全部

ノ要スル設備ノ額ハ、今後情勢ノ變化如何ニ

依リマシテハ、相當今マデアリマシタ平年

度ノ分ヨリモ增加スルモノト考ヘナケレバ

ナラスト思ヒマス、私共ノ今此ノ營團ニ於

テ取敢ズ考ヘテ居ル四箇年ニ七億八千万圓

ト云フ額ハ、必ズシモ是ハ非常ニ多イモノ

設ガ要ルコトハ極メテ明カナ點デアルト思

フノデアリマス、然ルニ本營團ニ於テ計畫

事業資金ハ一億五千万圓デアル、假ニ豫定

セル點ハ、僅カニ資金トシテ二億圓、而モ

通リノ債券ガ募集サレルトシテ、五倍デア

リマスカラ十億圓、合セテ十一億五千万圓

ニ過ギナイノデアリマス、ソコデ國家ニ必

要ナル企業ヲ設備セントスルナラバ、ドウ

シテモ是レ以外ノ方法ニ依ラケレバナラ

ヌト云フコトニナルノデアリマスガ、先程

私が申上げマシタ如ク、今日ノ情勢ノ下ニ於

テハ資金關係ニ於テモ、又技術ノ關係ニ於

テモ、労力ノ關係ニ於テモ、資材ノ關係ニ

於テモ、民間ニ於テ新タナ事業ヲ興スト云

フコトハ極ヌテ困難ナル狀況ニ置カレルト

思フノデアリマス、是等ニ對シテハ此ノ營

團ト並行シテ何等カノ御考ヘガ政府ニナケ

レバナラヌ、斯様ニ思フノデアリマスガ、

斯ウ云フ點ニ對シテハドウ云フ風ニ政府ニ

於テ御考ヘニナツテ居ラレマスカ、此ノ點

ヲ御伺ヒ致シタインデアリマス

○岸國務大臣 御話ノ通り、今後國家が必

要トスル生産力擴充計畫ヲ實行シマスニ

ハ、一面ニ於キマシテハ資材、所謂物動ノ

關係カラ制約ヲ受ケルモノト思ヒマス、又

勞働力、資金ノ上カラモノ制約ヲ受ケル狀況

ニアリマス、是ハ此ノ物動、労力等ノ問題

デアルトヲ問ハズ、中々解決ノ困難ナ問題

ガアルト思ヒマスガ、資金ノ問題ニ付キマ

シテハ、此ノ營團ガ活躍スルコトニ依ツテ、

事業者自體ガ從來ノ金融機構ナリ、或ハ國

デアリマスモノモ、本營團ガ引受ケテ其ノ

設備ヲシ、金融上ノ負擔ヲ事業者ニ負ハセ

ノ關係ニ付キマシテモ、是ハ密接ニ此ノ機

ナイト云フコトニ依ツテ解決スル部分ガ多

設ガ要ルコトハ極メテ明カナ點デアルト思

フノデアリマス、然ルニ本營團ニ於テ計畫

ノ見地モヤハリ考慮ヲ要スルノガ現狀デア

ラウト思ヒマス、隨ヒマシテ此ノ兩者ヲド
ウ調和シ、ドウ關聯ヲ付ケテ行クカト云フ
コトガ具體的ノ實際問題トシテハ考慮すべ
キ現實ノ問題デアルト思フノデアリマス、
今マデノ金融機構其ノモノガ十分ニ斯ウ云
事柄ニ付テ遺憾ナク其ノ機能ヲ發揮シテ
居ルカト云フナラバ、或ル場合ニ於キマシ
テハ十分デナイト思ハレルヤウナ點モアラ
クト思ヒマス、并シテガラ先程モ限了局長

金ガ投資ヲシテ居ル、投資ヲシテ居ル事例ハ幾ラモアル、此ノ營團モ物ノ投資ダケハスルヤウニナツテ居ルガ、金ノ投資ハ出來ナイ、一體サウ云フ跛行的ナヤリ方ハドウシテ出テ來ルノカ、大藏省ノ當局ハ一寸見エナイヤウデスケレドモ、大藏省ノ御當局ト南工省ノ御當局ト能ク御相談ノ上、是等ノ點ハ一元化スルト云フコトガ必要ダト思フノデスガ、モウ一度之ニ對スレ御免明フ

一應是ハ本營園ノ事業ノ中カラ除イタ譯デ
アリマス、ソレデハ今御懸念ニナツテ居ルナウ
ナ事柄ニ付テハ全然心配スル必要ガナイ
カ、斯ウ云フ問題ニナリマスレバ、是ハ實
際行ツテ見テ、サウ云フ事柄ニ實際非常ナ
不便ヲ生ジ、又ソレデハ國家緊要產業ノ生
産力擴充ハ達シ得ナイト云フヤウナ事態ガ
起ツテ参リマスレバ、私ハ此ノ點ニ付テハ
起ニ考案シナケン、ナラ又開墾ダト考ヘマ

マス
ニヨダト言ツテ大藏大臣ノ答辯ヲ私ハ保留シテ居ルノダガ、商工大臣ハ相當遠慮シノ居ラツシヤルヤウデスケレドモ、ソコハモウ一遍ハツキリサシテ戴キタイト思ヒ

ヨリ説明ガアリマシタ通り、近時融資命令等ニ付キマシテハ相當思ヒ切ツテ融資命令モ出サレテ居リマス、國家緊要產業ノ方面ノ金融ニ付キマシテハ、昨日大藏大臣ノ演説ニモアリマシタ通り、此ノ金融ノ問題ガ圓滑ニ行カナモノト相當關聯セシメテ、在來アル制度ヲ活用シテ行クト云フコトデヤツテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○川島委員 在來ノアル制度ト云ヒマスト總動員法ニ基ク融資命令ヲ指スノダト考ヘルノデスガ、ソレデハ今南工省ガ粗ツテ居ル目的ハ達シナイノデヤナイカト思フノデス、ヤハリ是ハ一元化シテ、此ノ營團ニ投資、融資等ノ事業モ皆集中スル、サウシテ國家的ニ一元化シテ重要產業ノ建設ニ邁進ノデスガ、一體此ノ營團ガ投資、融資ノ事業ガ出來ナイノハドウ云フ所ニ理由ガアルノカ、現ニサウ云フコトハ幾ラモアル、例ヘバ人造石油事業ニシテモ、帝國燃料會社ガ投資ヲシテ居ル、產金事業ニシテモ帝國產

○岸國務大臣 御話ノ通り從來產金又ハ人
造石油等ニ付キマシテ、此ノ事業ノ振興ニ
必要ナ金融ノ事柄モ是等ノ振興會社ニ於キ
マシテハ併セ行ツテ居ル例モアルノデアリ
マス、併シ今度設立シヨウトシテ居ル營團
自身ガ目標トシテ居ル所ノモノハ、茲ニモ書
イテアリ「マスル通り、「國家緊要產業」——相
當範圍ガ廣イノデアリマシテ、從來ノ如ク
特ニ目的事業ヲ限定シテソレヲ目標トシテ
居ルモノヨリモ是ハ相當廣イノデアリマス、
隨ヒマシテ從來國家ノ制度トシマシテハ、
サウ云フ生産力擴充計畫ニ必要ナ資金ノ融
資ニ付テハ、融資命令ノ方法ニ依ツテ此ノ
必要ナ金融ヲ付ケテ行クト云フ制度ガ一應
立テラレテ居リマス、サウシテ是ハ相當利
用サレ活用サレテ居ルノガ現狀デアルト思
ヒマス、其ノ範圍ニ向ツテ今度ノ營團方
出テ行ク譯デアリマスカラ、從來ヤツテ居
リマス投資竝ニ金融上ノ施設、今ノ融資命
令等トノ關係モ考慮致シマシテ、兎ニ角營
團トシテ最モ緊要且ツ有效ナ方法ハ物的ニ
此ノ際解決スルト云フコトガ何ヨリモ緊要
デアル、從來ノ金融上ノ問題ハ、是ト聯繫
ヲ取ツテ融資命令其ノ他ノ方法ニ依ツテ相
當ニ效果ヲ擧げ得ルモノダト云フ見地カラ、

スガ、現在ノ所デハ從來ノ實績ニ鑑ミ、今申シマシタヤウニ營團ガ目標トシテ居ル仕事ノ範圍方非常ニ廣イモノデアリマスカラ、產金トカ石油トカ云フヤウナ限定シタ振興會社ト稍取扱ヲ異ニシテ居ルノモソコニアルト御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス
○喜多委員 議事進行ニ付テ……、私ハ此ノ點ニ付テハサツキ大藏大臣ニ答辯ヲ保留シテ居マス、投資ダケ與ヘテ居ツテ融資ノ方ハナイノハドウ云フ譯カト云フコトハ、大藏大臣ノ方ノ答辯ヲ求メル積リデ居タノデスガ、サウスルト商工當局ハ此ノ際ハ物的投資デ相當效果ヲ擧ゲ得ルト思フ、融資ノ方ハ融資命令ノ範圍内デ行ケルト思フカラ強ヒテ必要トシナイト云フ風ニ御覽ニナルノデセウ、サウスルト吾々ガ進ンデ大藏當局ニ、左手ヲ與ヘル居ルノダカラ完全ニナルヤウニ右手モ與ヘロト云フコトヲ此處デ間ヒ詰メテ、大藏當局デ差當ツテ考慮シマスト言ツタラ、直グニ貰ツテ宜イデハナイデスカ、サウ遠慮ナサルコトハナササウニ思フノデス、有レバ有ル程多々益辨ズト云フコトガアルノデスガ——吳レナケレバ別デスヨ、是ハテナタ方交渉シタノグラウト思フ、又交渉シナケレバナラナイコトデス、ケレドモ取レナカツタカラ……此處ノ

通り、私ハ本營團法ヲ議會ニ提出致シマシテ御協贊ヲ得ルコトニ付キマシテ、此ノ案ガ非常ナ缺點ヲ持ツテ居ルト云フコトハ私自身ハ決シテ信ジテ居リマセヌ、隨ヒマシテ此ノ物的ノ貸付又出資等ノ方法ニ依リマシテ、私共ガ狙ツテ居ル所ノ效果ヲ擧ゲ得ルモノト期待シテ居リマス、併シ之ニ更ニ金融ノ問題ヲ付ケルト云フコトハ反對デナイコトハ勿論デアリマス、ソレハ私共ハ從來ノ機關ヲ使ツテモ相當ニ吾々ノ狙ツテ居ル所ニ協力ヲシテ貰ヒ、效果ヲ擧ゲ得ル、斯ウ信ジテ居ルノデアリマスケレドモ、更ニソレヲ徹底スルナラバ、兩方ヤル方が宣イデヤナイカト云フ御考ヘニ付キマシテハ、商工大臣トシテ反対ノ意見ヲ持ツテ居ルモノデハナイト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○川島委員 私ハ國家總動員審議會ノ委員
トシテ其ノ數字ヲ聽イテ居リマス、併シ其
ノ後ドノ位增加シテ居ルカト云コトヲ聽
キタイ爲ニ茲ニ質問シテ居ルノデアリマス
ガ、私ノ聽イタ數字ハ極メテ少額ナノデス
殆ド問題ニナラヌ程ノ少額ナノデス、頻リ
ニ商工大臣ハ是デイカ又點ハ融資命令ニ依
ツテヤルノダト云フ風ニ仰シヤツテ居リマ
スケレドモ、恐ラク商工省其ノ他事業廳カ
ラハ色々要求スルノデセウガ、大藏省ガ之
ヲ聽カナイノデアラウト思ヒマス、ソコデ
サウ云フ質問ヲ致シタノデアリマスガ、更
ニ次ノ質問ヲ申上ゲマス、事業者ニ於テ建
設又ハ維持スルコトヲ著シク困難ダト、斯
ウ御考ヘニナツテ居ル事業ハ一體ドウ云フ
事業ヲ御考ヘニナツテイラツシヤルノデス
カ、細カイコトハ宜シイノデスガ、説明ガ
出來ルナラバ之ヲ承リタイ

○横川委員長　來ルヤウニ催促シテ居
リマス

○川島委員　ソレカラ戰時中維持ヲ必要ト
スル設備ノ買取保有トシテ、先程買取總額
約三億乃至四億、斯ウ御説明ニナツタノデ
スガ、織維工業ノ如キハ斯ウ云フモノニ入
ルノデヤナイカト云フ風ニモ考ヘラレルノ
デスガ、是ハ一體ドウ云フ點デアリマスカ、
次官デモ局長デモ宜シウゴザイマス

○横川委員長　川島君ニ一寸申上ゲマスガ、
今銀行局長ガオ見エニナツテ居リマス、次
官モ廳テ見エルコトニナツテ居リマス、ア
ナタノ質問中ニ……

○神田政府委員　買取保有致シマス中ニハ
纖維工業等モ入ツテ居リマス、三億、四億
ノ中ニ入ツテ居リマス

○川島委員　石炭其ノ他資材ノ關係等ニ依
ツテ、纖維工業其ノ他ノ平和産業ガ非常ニ
操短サレルコトハ當然ナンデアリマスガ、
其ノ操短サレタルモノガ三億乃至四億デ間
ヌノデ、今朝程未動遊休設備二十五億ト大
シノ同業ノ共助トカ云フコトデ處置ガツキ
臣ハ御説明申上ゲタカト思ヒマスガ、其ノ
中ノ相當ノ部分、十四五億ト云フモノハ民
間ノ同業ノ共助トカ云フコトデ處置ガツキ
ヲ想定シマシテ、事業者ニ於テ建設又ハ維
持困難ナモノ、斯様ニ考ヘテ居リマス
○川島委員　私ノ質問中ドウカ大藏當局ガ
來ルヤウニ催促シテ下サイ

マスノデ、此ノ營團ガソマデ乗出シテ世
話ヲセヌデモ片ガ付クモノデアリマス、ソ
レ以外ノモノガ七八億ニナルカト思ヒスマ
ガ、其ノ一部分ハ此ノ營團ガ買取りマシテ
處置シ、又一部分ハ此ノ營團ガ保有スル、
斯ウ云フ數字ニナツテ居リマス、尙ホ此ノ
營團ガ買取りマス場合ニ於キマシテモ、金額
ヲ此ノ營團ガ負擔ヲスルト云フノデハアリ
マセヌデ、出來得ル限りハ同業共、助デ片ヲ付
ケテ貰フ、ソレデ力ノ足リナイ部分ヲ此ノ
營團ガ金ヲ出シマシテ處置ヲスル、斯ウ云
フコトニナツテ居ル譯デアリマス、隨ヒマ
シテ本營團トシテ必要ナ金トシマシテハ、
先程申上ゲタ説明ニアリマシタヤウニ、買
取リマシテ「スクラプト」スルモノガ二億六
千万圓、保有致シマスモノガ三四億圓、
斯ウ云フヤウナ恰好ニナツテ居ル譯デゴザ
イマス

ヲ考究スル餘地ハ將來ナイコトハナイト思
フノデアリマスガ、差當リニ付キマシテハ
投資融資ノ關係ノ任務ニ當ツテ居ルモノガ
別ニアリマスカラ、其ノ方面ニ當ラセヨウ、
斯ウ云フ考へ方ヲ致シテ居ルノデアリマス
○川島委員 建設又ハ維持スルコト著シク
困難ナモノヲ維持フルノガ本營團ノ目的
デアリマスルガ、困難ナ事情ハ色々アラウ
ト思ヒマス、資材ノ關係ガアリ、勞力ノ關係
ガアリ、技術ノ關係ガアリマスガ、最モ
重要ナモノトシテ資金ノ關係ガアル譯デア
リマス、ソレニ對シテハ強制融資ノ方法デ
ヤルノダト云フ大藏次官ノ御答辯デスガ、
此ノ營團ノ目的トスル事業ヲ一元化スルト
云フ意味ニ於テモ、營團ヲシテ或ハ營團ヲ
通シテ融資ヲセシムルコトガ一番計畫的デ
ハナイカト思フノデスガ、何故此ノ營團ヲ
通スコトガ出來ナイノカ、資金ノ方ハ切放サ
ナケレバナラスト云フ理由ハドコニアルノ
デアリマスカ、依然トシテ興銀カラ事業者
ヘト云フコトニシナケレバナラスト云フ理
由ヲ承リタイ

○谷口政府委員 先刻ノ私ノ御答へハ一寸
外レテ居ツタカト思ヒマス、今ノ御質問カ
ラ伺ヒマスト、國家緊要產業ノ設備ニシテ
事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコト著シク
困難ナルモノノ建設ダケヲ此ノ營團ニ扱ハ
シテ居ツテ、此ノ關係ノ投資ハ此ノ營團ニ
扱ハセテ居ラナイ投資モ此ノ營團ニ扱ハシ
タ方ガ便利ダト思フガドウカト云フ御話デ
アリマスガ、投資ノ方面ハ是ハ申スマデモ
ナク金融的ノ業務デアリマシテ、此ノ金融
的ノ業務ニ付テハヤハリ金融ヲ専門トスル
機關ノ方ニ任セテヤラセル方ガ宜シイ、斯
ウ云フ考へ方ナノデアリマス、此ノ營團デヤ
ラセルノハ設備ヲ自分で建設シテ、ソレヲ
貸付ケルト云フヤウナ場合、此ノ設備ヲ自
分デ建設致シマスノト、ソレカラソレヲ資
本ノ形デ下シマスノト、其ノ間ニハドウシ
テモ差異ガアルト云フ風ニ吾々ハ考ヘルノ
デアリマシテ、投資、融資ノ金融的ノ事務
ハヤハリ金融ヲ業務トスル専門ノ方ニ區分
ケヲシテヤラセルト云フコトガ適當デナイン
カ、斯ウ云フ考へ方デアリマス、此ノ事業
設備營團ノ方ハ御覽願ヒマスルト御分りニ
ナリマスルヤウニ、未動遊休設備ノ方ニ於
キマシテモ、大體物的業務ト云フダケヲ入
レテアルノデアリマシテ、未動遊休設備ノ
方モ金融ノ關係ノ方ハ今回ハ取除イテアル
ノデアリマス、未動遊休設備ヲ扱ヒマスル
營團ニ、緊要產業ノ設備、未動遊休デナイン
新シテ設備ヲ作ルト云フ方面モ受持タセル
コトニシタノデアリマスガ、是モ亦未動遊
休設備ノ場合ト同ジヤウニ、金融的ノ關係
ソナイ吾々ガ物的業務ト言ツテ居リマスル
部分ダケヲサセタイ、通シマシテノ考へ方
ハ、金融的ナモノハ金融機關ニヤラセル、
此ノ方ハ專ラ金融的、ナイモノニサセタイ、
サウ云フ氣持デアリマス

○川島委員 大藏次官ノ御答辯ハ、金融ノ
方面カラバカリ見テ居ツテ、事業ノ方面カ
ラ見ナイ、金ヨリモ物ガ大事ナンデスカラ、
如何ニシテ事業計畫ヲ完全ニ遂行スルト云
フ點カラモノヲ見テ行カナケレバ、今ノ金
融機關ヲ付テハヤハリ金融ヲ専門トスル
アリマスガ、投資ノ方面ハ是ハ申スマデモ
ナク金融的ノ業務デアリマシテ、此ノ金融
的ノ業務ニ付テハヤハリ金融ヲ専門トスル
機關ノ方ニ任セテヤラセル方ガ宜シイ、斯
ウ云フ考へ方ナノデアリマス、此ノ營團デヤ
テ來ルノダト思フノデス、思ヒ切ツテ營團
ニ任セテ營團ニヤラシメルノダ、斯ウ云フ
御考ヘニナラヌノデスカ
○谷口政府委員 今ノ御話ノ點ハ金融ニ付
キマシテモ、事業ノ金融ニ付テハ、從來ノ
金融ノヤリ方ト考ヘヲ變ヘナケレバナラヌ
ト云フヤウナ方面ヲ點ト同ジヤウナ御質問
ダト思フノデアリマスガ、吾々金融ノ方ヲ
別ニ致サウト思ヒマスト同シ、事業ノ方
ノ施設ニ不自由ヲ掛ケナイヤウナ金融ノヤ
リ方ヲスルト云フ點ニ付キマシテハ、十分
考ヘヲ致シタイト思フノデアリマス、從來
ノ色々ナ國策會社ノ系統ノコトヲ例ニ取ツ
テ見マスト、只今マデモ國策會社ノ中ニ
ハ物的ノ設備ニ當ツテ、同時ニ自ラ金融ノ
仕事ニ當ツテ居ルモノモアルノデアリマス、
是ハ御承知ノ通リダト思フノデアリマス、
特定ノ事業ニ付キマシテサウ云フ例ハアリ
マスガ、一般ノドノ事業ニ付キマシテモ此
ノ營團ハ關係スルノデアリマス、此ノ事業
設備營團ハ特別ノ燃料工業デアリマストカ、
鑛山業デアリマストカ云フダケノコトデナ
シニ、總テノ事業ニ付キマシテ未動遊休設
備、又國家緊要ノ事業設備ヲ扱フ營團デア
リマスガ、斯ウ云フ事業全般ノ設備ヲ扱フ
營團トシテハ、私共ノ考ヘト致シマシテハ、
融關係ニ當リマスル機關トハ別ニ致シマシ
テ、併シ其ノ際ニ於キマシテモ、特別ノ金
融機關ヲ作リマスカ、現在ノ金融機關ニ依
リマスカハ別ト致シマシテ、金融ノ致シ方
トシテハ、將來ニ於キマシテハ事業ヲ十分
尊重シタ金融ノ仕方ヲシナケレバナラナ
イ、サウ云フコトハ考ヘテ居ルノデアリマ
スルガ、御說ノ如ク斯ウ云フ營團ニ金融モ

同時ニヤラス、サウシテ物的設備ヲ扱フト
ニ任セテ營團ニヤラシメルノダ、斯ウ云フ
同時ニ金融ニ付テモドシ／＼積極的ニヤラ
ス方ガ宜シイ、斯ウ云フ御說モソレハアル
ト思フノデアリマスルガ、私共ノ只今ノ考
ヘ方ト致シマシテハ、物的ノモノヲ扱ハセ
ル機關ハ一ツ別ニ作リマシテ、サウシテ金
融ノ方面ハ在來ノ機關若シクハ將來必要ガ
アリマシタ場合ニ於キマシテハ特別ノ機關
モ考ヘラレナイコトハアリマセヌガ、サウ
云フ機關ニ於キマシテ當ラス、併シ將來
ノ方針トシテハ事業ヲ尊重シタ、物的ノ方
面ヲ尊重シタ金融ノ致シ方ヲスル、斯ウ云
フ方針ニ行キタイ、左様ニ考ヘテ居ルノデ
アリマス

○川島委員 今日マデノ實績ニ徵シテ見テ
モ、生産力擴充ノ爲ニ強制融資ヲ必要ト考
ヘテ、關係省カラ大藏省ヘ多數ノ要求ガ行
ツテ居ル、大藏省ハ何ダ彼ダト言ツテ之ヲ
抑ヘテ居ツテ、手後レニナツテ居ル點ガ幾
ラモアル、サウ云フコトヲ私共ハ憂ヘルノ
デス、ソコデ或ル金額ヲ限ツテ之ヲ營團ニ
任セル、其ノ範圍内デ營團ガ活潑ニ活動ガ
出來ルヤウニスルコトガ目的ニ叶フノデヤ
ナイカト思フノデスガ、一々大藏省デ總テ
ノコトヲ握ツテ、内容マデ審査シテ居ルカ
ラ、結局空ニナツテシマフノデス、是ハモ
ウ少シ大膽率直ニ、最高限度ヲ限ツテ事業
廳ニ任セル、營團ニ任セル、サウシテ大イ
ニヤル、斯ウ云フ風ニナラヌノデスカ、モ
ウ一遍此ノ點御答辯ヲ願ヒマス

○谷口政府委員 此ノ事業方面ニ對スル金
融ニ付キマシテハ、増產ヲ第一要諦トスル
トシテハ、將來ニ於キマシテハ事業ヲ十分
尊重シタ金融ノ仕方ヲシナケレバナラナ
イ、サウ云フコトハ考ヘテ居ルノデアリマ
スルガ、御說ノ如ク斯ウ云フ營團ニ金融モ

居リマスト、融資ニ付キマシテハ相當率直ニ出テ居ルモノモアルト私共考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテハサウ昔アリマシタル如ク、採算本位デ以テ餘リ細カラコトヲ言ツテ居リマシタノデハ、時機ヲ逸シテ増産ノ機會ヲ失フ、斯ウ云フコトヲ最近ノ情勢ニ付テハ餘程注意ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、又極端ニ趨リマシテ、金融ノ方法如何ニ依リマシテハ、遊休未動設備ヲ新タニ造り出スヤウナ弊ニ陥ツテモ如何カト云フヤウナ點モ懸念サレルノデアリマス、併シ是ハ相當今日ノ場合ニアリマス、決シテ慎重ノ餘リ事業ノ擴張ヲ阻碍スルト云フヤウナ弊ニハ陥ラナイコトハ十分吾々トシテハ考ヘニ入レテ居ルノデアリマス、此ノ法案ニ依ルト、資本金ノ五倍マデ債券ノ發行ガ出來ルノデスガ、十億ヤソコラヂヤ何モ出來ナイト思フノデスカ、ノデスカ、大藏省ノ御考ヘハドウデスカ、○谷口政府委員　是ハ先程初メニ申シマシタヤウニ、是デ始メテ見ル考ヘデアリマシテ、今後ノ情勢ニ依リマシテ擴ゲテ行クトニ致シタイト思フノデアリマス、或ハ其ナリマシタナラバ、其ノ措置ヲ執ル機會ハアルト思フノデアリマスガ、借入金ヲ無制限ニト云フコトモ只今申上げ兼ネルノデアリマス、產業設備營團ニ付キマシテ將來ノ

○喜多委員 私が前の大蔵大臣の答辯を保
留シテ居ツタ分ト、今ノ川島君ノ質問ト重ナ
ツテ居ル所ガアリマス、今ノ投資ト融資ノ
部門ヲ物的以外ニモ營團ニ與ヘナケレバイ
ケナイゾ、ヤハリ今マデノ外ノモノガ陥ツテ
來タヤウニナルゾト云フ川島君ノ言ツタ懸
念モ、私ノ懸念モ、其ノ關係ハ意見ノ相違
ガアルノデ、暫ク時期ヲ待チマスガ、是ハ成
ベク早ク現物のモノダケ認メテ行クト云
フコトノ外ニ、ヤハリ金融的ナ機能ノ出ル
ヤウニナスツタ方ガ宜イト云フ意見ダケヲ
私ハ申上ゲテ、他ノ保留シテアル答辯ヲ一
ツ御願ヒシタイノデスガ、既存ノ特殊金融
會社ト此ノ營團トノ間ニハドンナ關係ガ成
立チマスカ

シテモ、能ク連絡ノ執レルヤウナコトニアルダ
調ヲニシテ進行スルヤウナコトニアルダ
ラウト云フコトヲ大體考ヘルノデアリマス、
一應此ノコトヲ御答へ致シマシテ又更
二……

○喜多委員 私ハ外ノ方ノ時間マデ戴イテ
居リマスカラ纏メテ項目デ申上グマスカラ、
項目ニ付テ一ツ御答辯ヲ願ヒタイ、私ガ今
尋ネタノハ言葉ガ足リナカツタ、既存ノ特
殊金融機關ト云フノハ特ニ帝國鑛業開發ト
カ、或ハ日本產金振興トカ、或ハ國民更生
金庫ト云フ風ニ、日本ノ產業ノ振興ト新體
制ヲ作ル爲ニ必要ナ特殊機關ト此ノ營團ト
ハドシナ關係ニ立ツカ、ダカラ例ヘバ人造
石油ノ事業ニハ此ノ營團ノ遊休未動ノ方ノ
力ハ發動シテ行クノカ行カナイノカ、斯ウ
云ツタ點ガ一ツ、第二ハ國民更生金庫ノ事
業ト此ノ營團ノ仕事トハ、片方ハ消極性デ
コツチハ積極性ト云ヘバ區別ハ付キマスガ、
併シ大體ニ於テノ眼目ハ、時局緊急下ニ於
ケル經濟ノ新體制ヲ促進スルト云フ一ツノ
手段ダト云フ意味カラ一緒ニナサル意思ハ
大藏省ニナイカト云フコト、同時ニ國民更
生金庫ヲ商工省ニ移管スル意思ハ大藏省ニ
ナイカト云フコト、ソレカラは重ネテ申上
ゲナイト分ラナイカラ、委員長ト委員ニハ
濟マヌノデスガ、申上ガテ一ツハウキリト
御答辯願ヒタイコトハ、此ノ法案ノ十九條
ニ依ルト、「產業設備營團ハ第十七條第一項
第一號又ハ第三號ノ規定ニ依リ買受ケタル
設備ノ代價ニ付テハ國債證券ヲ以テ之ヲ交
付スルコトヲ得」トアル、二十條ニハ「政府
ハ產業設備營團ガ第十七條第一項第一號又
ハ第三號ノ規定ニ依リ設備ヲ買受ケタル場
合ニ於テ之ヲ賣渡シタル者ニ對シ其ノ代價

トシテ受ケタル金錢又ハ國債證券ノ處分ニ
マスガ、是ハ常ニ必要ナル指示ガ出テ來ル
ト思ヒマスガ、其ノ内容ハ大體ドウ云フコ
トヲ豫想シテ居ラレルカト云フコトガ一ツ、
第三ニハ、政府ハ此ノ時勢ノ要請ニ對シテ
生ジツツアル企業ノ整理合同トカ、或ハ中
小企業ノ再編成ト云フ風ナ場合ニ當ツテ、
現行税法デハ企業合団ニ對シテ生ズル生産
所得ニ課税スル登録税ノ課税ガアル、是ハ
業者ノ營業權ナドト云フモノヲ評價サレテ
來ルト、相當所謂喫簾代トカ色々ノモノガ付
イテ來ルト合同價額ト時價トノ間ニ開キガ
出テ來テ喜バナイ、合同スル時ニハ直ギニ株
券デ大概拂ハレマスカラ現金ヲ持ツテ居ナ
イ、納稅ニ困難ヲ感じテ居ル實情ガ大小ヲ
通ジテアルト思フノデスガ、斯ウ云フコト
ハヤハリ企業合同トカ、轉廢業シタイト思
フ者ニ一つノ障礙ニナツテ居リマスガ、之
ニ對シテ大藏省ノ方カラ一ツ企業再編成ノ
大キナ推進力ヲ與ヘテヤルト云フ意味デ、課
稅ノ上デ新例ヲ開クト云フ意思ハアリマセ
スカ

ガ、只今御話ノヤウニ消極的積極的ノ差異モアルヤウデアリマスルシ、又相手ト致シマスル産業ノ規模等ニ於テモ自ラ差異ガアルナイノデアリマシテ、少クトモ當分ト申シマスカ、是ハ兩方分レテ別々ニ存續サセテ行クノガ宜シカラウト私共ハ只今考ヘテ居リマス

ソレカラ國民更生金庫ノ所管ノ問題デアリマスルガ、一體此ノ所管ノ問題ニ付キマシテハ、現在ノ體制下ニ於キマシテハ色々所管ノ問題ト云ノガアリマシテ、官廳事務ニ紛糾ヲ來シテ居ルノデアリマスルガ、私共大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ能ク内容ヲ究メマシテ、サウシテ必ズシモ今アリマスルモノハ必ズ握ツテ放サナイデ居ルト云ヤウナ態度デナシニ、冷靜ニ其ノ事ヲ見マシテ處置ヲ付ケテ行クノガ宜シカラウト思フノデアリマス、然ラバ國民更生金庫ニ付テハドウ考ヘテ居ルカト云ノ點デアリマスルガ、其ノ點ニ付キマシテハ、私共只今申シマシタヤウナ極ク冷靜公平な態度デ此ノ問題ヲ考ヘテ見ヨウト思フノデアリマス、其ノ結果若シ之ヲ商工省ノ方ニ於テ運營シテ行クヨトガ國家ノ爲ニ宜シト云フ結論ニ達シマシタナラバ、是ハサウ云フ風ニ處置ヲ致ス考デアリマス、暫ク研究ヲ致デアリマス

ソレカラ第二十條ノ問題デアリマスルガ、第二十條ニ付キマシテ必要ナル指示ヲ

ドウ云フ指示ヲ爲スノデアルカ、例ヘバ賣却代金ヲ以テ金融機關ニ對スル債務ヲ辨済

スル方ガ宜シカラウト云フヤウナ指示モアルノデアリマス、或ハ賣却代金ヲ銀行預金トシテ保持シテ置イテ將來ノ事業設備ノ擴張ニ充當シタ方ガ宜シカラウ、斯ウ云フ指示モアリ得ルト思フノデアリマス、或ハ又コトガ宜シカラウ、サウ云フ指示ノ仕方モ債證券ヲ處分シナイデ日本銀行ニ登録シテ置クトカ、郵便局ニ預託スルト云フヤウナコトガ宜シカラウ、サウ云フ指示ヲ仕方モアルト思フノデアリマシテ、設備ヲ賣却シタ人ガ差當リ資金ノ必要ガナク、其ノ他特ニ只今申シマシタヤウナ指示ヲスルコトガ必要デアルト認メラレル場合ニ於テ指示ヲ行フノデアリマシテ、減多ヤタラニ指示ヲスルト云フコトデハナイノデアリマシテ、必ズノ指示ヲナスニ當リマシテモ慎重ナル態度ヲ以テ指示ヲスルト云フ考ヘデアリマス

ソレカラ中小企業ノ再編成ト租稅ノ問題デアリマスガ、最近ニ於キマシテ生產擴充其ノ他色々ノ整理ニ租稅ノ問題ガ屢々出シマシテ、其ノ場合ニ於テ要求サレルモノハ常ニ免稅デアルノデアリマス、是ハ又サウ云フ場合ニ處シマシテハ、租稅ノ納付ト云フコトガ障碍ヲナスト云フコトモ事實トシテアリ得ルト思フノデナリマスルガ、租稅當局ト致シマシテハ免稅ノ場合ガ非常ニ

云フコトニ付テハ少カラズ當惑スルヤウナ事情ガ多イノデアリマス、先般來此ノ企業再編成ノ問題ニ付キマシテ、其ノ問題ト租稅トノ關係ニ付キマシテハ商工當局ヨリ縦々詳細ナル御説明ヲ承ツテ居ルノデアリマス、就キマシテハ此ノ生産所得ノ如ドウ云フ指示ヲ爲スノデアルカ、例ヘバ賣却代金ヲ以テ金融機關ニ對スル債務ヲ辨済

スル方ガ宜シカラウト云フヤウナ指示モアルノデアリマス、或ハ賣却代金ヲ銀行預金トシテ保持シテ置イテ將來ノ事業設備ノ擴張ニ充當シタ方ガ宜シカラウ、斯ウ云フ指

示モアリ得ルト思フノデアリマス、或ハ又

コトガ宜シカラウ、サウ云フ指示ヲ仕方モアルノデアリマスガ、先程來私共御答へ致シ

來ハ此ノ問題ニ付テ商工業再編成上考ヘロト云フコトノ御言葉ヲ聞キマスコトハ、先程國債證券ヲ以テ交付ヲ受ケタル時ハ其ノ國債證券ヲ處分シナイデ日本銀行ニ登録シテ置クトカ、郵便局ニ預託スルト云フヤウナコトガ宜シカラウ、サウ云フ指示ノ仕方モアルト思フノデアリマシテ、設備ヲ賣却シタ人ガ差當リ資金ノ必要ガナク、其ノ他特ニ只今申シマシタヤウナ指示ヲスルコトガ必要デアルト認メラレル場合ニ於テ指示ヲ行フノデアリマシテ、減多ヤタラニ指示ヲスルト云フコトデハナイノデアリマシテ、必ズノ指示ヲナスニ當リマシテモ慎重ナル態度ヲ以テ指示ヲスルト云フ考ヘデアリマス

○喜多委員 モウ是デ終リマス、考慮ヲ拂フ、是ハ併シ繰返シマスガ、大キナ響キヲ業者ニ與ヘマスヨ、サウシマスト何時頃マジマシテ、其ノ場合ニ於テ要求サレルモノタガ時局的ニ目覺メタカラ考慮スルシダト云フヤウニ私ノ方デハ考ヘルノデアリマスガ、考慮ナサルカ、ソレヲ從來ハ迷惑ダツタ左様ニ考ヘテ居リマス

○谷口政府委員 來議會ニハ考ヘヨウト思

ツテ居リマス

○喜多委員 ソレデハ私ハ是デ打切りマス

○川島委員 私ハ時間ガアリマセヌカラモ

ウ一二點ダケデ止メマスガ、私モ大藏次官

ノ説明ヲ聽イテ分ラヌコトハ、投資融資ノ

ノ關係ニ於キマシテ、投資、融資ノ問題デ

重ネテ御意見ガアツタノデアリマスガ、產業設備ノ處理、ソレハ未動遊休ノモノト、

ウスルノダ、是ハ營團御批ヒニナルノカ

ナラナインカ、此ノ三點ダケ伺ヒマシテ、

私ハ一應質問ヲ止シテ置キマス

○谷口政府委員 此ノ產業設備營團ノ仕事

ノ關係ニ於キマシテ、投資、融資ノ問題デ

重ネテ御意見ガアツタノデアリマスガ、產

業設備ノ處理、ソレハ未動遊休ノモノト、

然ラザル新シイモノト、サウ云フ總テノ產

業設備ニ關スル處理ヲ系統的ニ統一シテヤ

ラセナケレバナラヌト云フ御立場ト拜承ス

ルノデアリマスガ、先程來私共御答へ致シ

トニナラナイヤウニハ十分氣ヲ付ケテ行キ
タイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス
○椎名政府委員 川島委員ノ御質問ニ御答
へ致シマス、營團ノ權限ノ問題ニ付テドウ
云フコトヲ考ヘテ居ルカト云フ御話デアリ
マスガ、權力のナ權限トシテハ御承知ノ通
リ何モアリマセヌ、此ノ營團ハ結局資本力
ヲ背景トシテ、今日ノ未動遊休施設ヲ「コ
ントロール」スル、或ハ國家緊要ノ施設デ
アツテ、業界ガ獨力ヲ以テ到底ナシ得ナイ
モノ、サウ云フモノヲ促進スル其ノ資本力
ヲ背景トスル——何ト申シマスカ、今日ノ
再編成ニ對スル支配力、ソレガ根本ノ力デ
アルト思ヒマス、ソレデ尙ホ營團ガ、ソレデハ
政府或ハ重要產業ニ次々ニ結成サレル統制
會ノ方針ナリ、具體的ナル計畫ヲ唯其ノ儘遵
奉シテ、ソレヲ遂行スルノデアルカト云フヤ
ウナコトモ、或ハ關聯シテ御考ヘカト思フノ
デアリマスガ、大體ノ順序ト致シマシテハ、
國ノ方針、更ニソレヲ受ケテ當該ノ產業ニ
設置サレル統制會等ガ具體的ナ計畫ヲ立て
ル、ソレヲ實行スルト云フヤウナ順序ニナ
ルノデアリマスケレドモ、大體此ノ營團ノ
力ニ初メカラ頼ツテ計畫シナケレバナラヌ
ト云フ部分モ相當ニアルト思フノデアリマ
ス、デアリマスカラ結局政府、ソレカラ同
業團體、即チ統制會、營團、此ノ三者ガ如
何ニ產業界ヲ再建設スルカト云フヤウナコ
トニ付キマシテ詳細ナ協議ヲ調へ、其ノ結論
ニ基イテ實行スルト云フコトニナラウカト
存ズルノデアリマス
ソレカラ資材ハ此ノ營團ノ對象ニナラヌ
カト云フ御話デアリマシタガ、大體營團ノ
對象トル所ハ設備デアリマスガ、尙ホ設

モ、此ノ營團ハ對象ト致シマス、サウシテ
マダ機械ガ半分シカ出來ナイ、アトハドウ
シテモ必要ナモノデアルケレドモ各種ノ理
由ニ依ツテ完成シナイト云フヤウナ場合ニ
ハ、ソレヲ完成サセルトカ、或ハ又當分完
成サセル見込ハナイト云フヤウナモノニ付
キマシテハ、之ヲ保有スルナリ、或ハ之ヲ
他ニ轉用スル、サウ云フヤウナ差配ヲシヨ
ウカト思ツテ居リマス

ソレカラ尙ホ此ノ際御話申上ゲテ置キタ
イノハ、先程大藏次官カラ大體御説明ガア
ツタヤウニ思ハレマスガ、此ノ營團ト帝國
燃料デアルトカ、或ハ產金會社デアルトカ、
帝國鑄發デアルトカ云フヤウナモノトノ關係
係ニ付テ御質問ガアリマシテ、大體ニ付テ
ハ大藏次官カラ御答ヘ申上ゲテアルト思ヒ
マスガ、多少誤解ヲ生ズルトイケマセヌカ
ラ、私力ラ補足シテ申上ゲテ置キマス、帝國
燃料デアルトカ、或ハ日本產金振興デア
ルトカ、或ハ帝國鑄發、斯ウ云ツタヤウナ
モノハ當該產業ヲ積極的ニ推進スルト云フ
コトノ爲ニ、或ハ投資ヲスル或ハ自ラ設備
ヲ經營スルト云フコトニナツテ居リマシテ、
其ノ積極面ノ點ニ付キマシテハ、營團ハ是
ハ關知シナイ、其ノ分野ニハ入ラナイト云
フコトニナルノデアリマス、但シ將來斯様
ナ分野ニ於キマシテモ、或ハ著シク未動設
備ガ殖エルトカ、或ハ遊休設備ガ殖エルト
カ云フヤウナ場合ニハ、ソレヲ消極的ニ取
除イテ、ソレヲ有效ニ活用スル、斯ウ云フ
場合ガ出テ來ルカト思フノデアリマスガ、
左様ナ點ニ付キマシテハ此ノ營團ガ一括シ
テソレヲ差配スルト云フコトニナルノデア
リマス、此ノ點ヲ誤解ノナイヤウニ申添ヘ

○川島委員 一寸御伺ヒシタイノデアリマスガ、今ノ權限ノ問題デアリマス、未動遊休設備ヲ決定シタリ、之ヲ活用スルコトハ政府、統制會、營團、三者協議ノ上ダ、斯ウ云フ御説明ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、サウ云フ御説明ダト、從來カラアル營團若シクハ國策會社ノヤウニ、結局ハ細大漏ラサズ政府ガ權限ヲ握ツテシマツテ、一切ノコトヲ政府ガヤツテ、其ノ指揮命令ノ下ニ運用シテ行クト云フコトニナルノデハナイカト思ヒマス、ソコニ從來ノ營團、國策會社ノ振ハナイ原因ガアルノデアリマスカラ、之ヲ或ル程度營團ニ任せル、斯ウ云フ風ニスルコトガ宜イノダト思フノデアリマスガ、此ノ點重ネテ御説明願ヒタイ

○椎名政府委員 私ノ申上げ方ガ足ラナカツタヤウデ誤解ガアルカト思ヒマス、政府ト致シマシテハ、物動計畫或ハ生產力擴充計畫ノ大綱ヲ決定致シマシテ、更ニ產業再編成ノ方面ニ付キマシテモ、大體ハ大綱ヲ決定スル、其ノ方針ニ基イテ具體的ニハ統制會等ガ計畫ヲ立テルコトニナル譯デアリマスガ、併シナガラ計畫ヲ立てテモ之ヲ實行スル、促進スルト云フ力ハ十分デアリマセヌノデ、斯様ナ營團ノ必要ヲ見ルニ至ツタ譯デアリマスガ、順序トシテハ政府ガ大體大綱ヲ決定スル、ソレヲ統制會ニ任せル統制會ハ具體計畫ヲ立テルケレドモ、實行ノ出來ナイモノデハイカヌカラ、ソコデ自テ云フコトヲ申上ゲタノデアツテ、決シテ瑣末ナ問題ニ付テ政府ガ營團ナリ、或ハ案ヲ決メル、斯ウ云フコトニナラウカト思フト云フコトヲ申上ゲタノデアツテ、決シテ瑣末ナ問題ニ付テ政府ガ營團ナリ、或ハ統制會ニ色々差配スルト云フコトハ考ヘテ

○横川委員長 次ノ質問者ハ小平君デスガ、
是ハ陸軍ノ出席ヲ待ツテナサルコトニナツ
テ居リマスカラ、其ノ間堀内サン、ソレカ
ラ小林サン、大藏省ニ對シテドウゾ……
○堀内委員 大藏次官ニ一寸一言伺ツテ置
キタイノデスガ、第二十四條ニ「政府ハ産業
設備債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ヲ保證
スルコトヲ得」ト書イテアリマスガ、「保證
スルコトヲ得」ト云フノデハ保證スルト云フ
コトデナイヤウデアリマスガ、結局保證スル
ト云フコトニハツキリシテ置カナイト、產
業設備債券ト云フモノガ豫定ノ通リニ募集
ガ出来ナイノデハナイカト云フ心配モアル
ノデアリマス、是ハハツキリ「保證ス」トシタ
方ガ宜イト思ヒマスガ、是ハドウ云フ譯デ
「保證スルコトヲ得」ト云フヤウナ、保證スル
コトモアレバ保證スルコトモナイヤウナ曖
昧ナ意味ニナツテ居ルノデスカ

○谷口政府委員 ソレハ堀内サンノ仰シヤ
ル通り、保證スルト云フ意味ニ取ツテ下サ
ツテ宜シウゴザイマス、是ハ斯ウ云フ書キ
方ヲ致シマスノデ、政府ハ保證スルノダト
云フ意味ニ實際ハ御取リ下サツテ差支ナイ
ト思フノデアリマス

○小林(房)委員 先程喜多君ノ質問ニ對シ
テ大藏次官カラ御答辯ニナリマシタ轉失業
者ニ對スル減免稅ノ問題デアリマス、是ハ減
稅デアリマスカ、免稅デアリマスカ、ドウ
云フコトヲ御考慮ナサルノデスカ、ソレヲ
伺ツテ見タイノデアリマス、ドウモ今日ノ
中小工業者ノ轉廩スルモノノ窮乏ト云フモ
リマス、之ヲ單ナル減稅ト云フコトニシテ
置イタノデハ、彼等ヲ救濟シテヤルト云フ

眞意ヲ徹底シ得ナイ、寧口是ハ免稅ヲシテヤ
ナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、減
稅デアルカ、免稅デアルカト云フコトヲハツ
キリト一ツ御答ヘヲ願ヒタイ、ソレカラ來
議會ニソレヲ御提案ナサルヤウナ先程ノ御
話デアリマシタガ、來議會ニ提案ヲサレマ
スト、ソレノ實現ガ四月以降ニナル譯デア
リマスガ、ソレヲ四月以降ノ實施ニシテ置
クト云フコトハ、彼等ノ窮乏ヲ救フ所以デ
ナノイノデアツテ、假令來議會ニ提案サレ
テ、ソレガ四月以降實行サレルモノデアツ
テモ、ソレハ現在ニマデ遡及シテ行カナケ
レバナラヌモノデアラウト思フノデアリマ
スガ、此ノ點ニ對スル御考ヘヲ承ツテ置キ
タイト思ヒマス

時ハ、過去ニ遡ル必要ガアルノデハナイカ、ト云フ御話デスガ、其ノ過去ニ遡ル點ニ付キマシテハ、考ヘテ見ヨウト思ツテ居リマス、四月一日カラ法令ガ施行サレルコトニナリマシテモ、法人ニ付テハ、過去ノ何月以後事業年度ノ終了シタモノニ付テハ、此ノ規定ヲ適用スル、サウ云フ建前、ヤリ方ニ付キマシテハ考ヘテ見ヨウト思ツテ居ルノデアリマス

○横川委員長 今陸軍次官ヲ迎ヘニ参リマシタ、直ぐ參ルト云フコトデスカラ、一寸待チタイト思ヒマス

○星委員 私ノハ質疑デハアリマセヌ、單ナル質問ヲ一分間ダケシタインデスガ、關聯シテ御願ヒシマス、事變以來ノ企業中ニ、未動遊休ノモノガアルカドウカ、此ノ未動遊休ハ事變前ニ出來タ會社デアルカ、事變後ノモノデアルノカト云フコト、アレバドノ位アルカ、恐ラクハ國策會社中ニモ未動遊休ガアルグラウト思フデスガ、此ノコトヲ聽キタイ、モウ一つハ、此ノ法案ニハ存立期間ト云フモノガアリマセヌ、是ハ何處カニアルカ知リマセヌガ、之ヲ一つ聽キタ伊ト思ヒマス

○神田政府委員 未動遊休ヲ持ツテ居リマス事業ハ、事變前カラヤツテ居リマス事業ニモ、事變後始メマシタ事業ニモ兩方アリマス、其ノ割合乃至金額ハドウナツテ居ルカト云フコトハ、實ハソコマデノ調べヲ持ツテ居リマセヌガ、兩方アルコトハ確實デゴザイマス、次ニ存續期間ノ問題デゴザイマスガ、是ハ法案ノ第一條ニ、戰時又ハ之ニ準ズル事變ニ際シ、斯ウ云フヤウニナツテ居リマシテ、只今ヤツテ居リマス支那事變或ハ之ニ引續キマシテ戰爭ト云フコトガ

起ルカモ知レマセヌガ、兎ニ角本事變竝ニ
其ノ次ノ戰爭ト云フモノガ繼續シテ居ル間
ダケノ期間ニアリマシテ、其ノ間ニ斯ウ云
フ仕事ガ出來ル、但シ戰爭が濟ミマシタ後
末、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、引續イテ
ノ整理事業ト云フモノガアル譯デアリマス
ガ、積極的ニ本來ノ仕事ヲヤリマス期間ハ、
今事變竝ニ之ニ繼續スルコトアルベキ戰爭
ノ期間中、斯様ニナツテ居リマス、次ニ國策
會社中ニモアルカト云フ御尋ねデアリマシ
タガ、ドウ云フ會社ニドウ云フ未動遊休ガ
アルカト云フコトニ付キマシテハ、各方面
ニ色々々ノ支障ヲ生ジマスノデ、一般的ニ御
答スルコトヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス
○横川委員長 陸軍次官ハ直ぐ出席スル御
約束ニナツテ居リマスガ、マダ見エマセヌ
ノデ、如何デスカ、堀内サン、商工大臣
ニ……

〔岡崎（久）委員〕根本ノ問題ニ付テ三分
力五分位聽キタノイデスガ……」

○堀内委員 私モ簡單デスガ、岡崎君ハ身
體ガ惡イヤウデスカラ、此ノ際簡單ニヤツ
テ、續イテ私ガ……：

○横川委員長 サウスルトズツト後ニナリ
マスヨ

○瀧澤委員 議事進行デ申上ゲマス、岡崎
君ノ聽キタイト云フコトハ、根本方針デ極
メテ簡單ナコトデアリマスカラ、順番デナ
ク御許シ下サルコトガ皆ノ質問ニ役立ツト
思ヒマスノデ、サウ云フ場合ニハ時間ヲ制
限シテモ聽カシテ下サルコトガ必要ダト思
ヒマス

此ノ場合陸軍次官ノ來ラレルマデ特ニ岡崎君ニ發言ヲ許シタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○横川委員長 ソレデハ岡崎君

○岡崎(久)委員 極メテ簡單ニ御聽キ致シ

マスガ、商工省ノ此ノ營團ニ對スル本當ノ

狙ヒ所ヲ露骨ニ仰シヤラナイノデ、融資ノ

問題デ色々往キツ戻リツシテ同ジヤウナ質

問ガ繰返サレルノデハナイカト思ヒマス、

此ノ營團ノ趣旨カラ考ヘルト、一ツニハ、

遊休設備ヲ軍需產業ニ絕對活用シタイト云

フコトデアリマス、サウスルト、今遊休設

備ト云フモノハ全國ニ澤山アリ、現ニ中小

工業者ノ遊休設備ナド色々ナコトガ考ヘラ

レルガ、事實狙ツテ居ルノハ、紡績工場ノ

ヤウナ大キナ設備デハナイカ、無論外ニ小

サイモノモアリマセウガ、之ヲ活用シヨウ

ト云フノガ主タル狙ヒデハナイカ、ソレヲ

上手ニ使ヘバ、軍需產業ノ新シイ設備ヲシ

ナクテモ濟ムノデ、家屋地所ヲ活用サセヨ

シテ「ボーキサイト」ノ仕事ヲショウト云フ

ヤウナ大キナ狙ヒモアリマセウガ、一方セ

メント」ハ足リナイカラ、セメント」會社ハ

「セメント」ヲ持ヘタイ、ソレヲ止メテ「ボーキサイト」ヲ持ヘロト言ウテモ言フコトヲ

聞カナイカラ、サウ云フ時ニハ積極的ニ

行カウガ、他ハ消極的ニ旨イ所ニ當嵌メテ

活用シヨウト云フノデアツテ、必ズシモ中

小工業ノ多クノ遊休設備ヲ活用シヨウト云

フノデハナイヤウニ此ノ法案デハ見受ケラ

レルガ、サウ云フ風ニ根本解釋トシテ解釋シテ宜イノデセウカ、ドウデセウカ、其ゾ點ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○岸國務大臣

其ノ御質問ノ點ニ關シマシテ

テハ、私モ或ル機會ニ申上ゲタカト思ヒマスガ、中小商工業等ノ設備ヲ之ニ依ツテド

ウスルト云フコトヲ主タル目的トシテ是ハ

考ヘタ譯デハナイノデアリマシテ、大キナ

工業ニ付テ主トシテ狙ヒヲ定メテ居ル譯デ

アリマス、御説ノ通リダト思ヒマス、中小

商工業ノ問題ニ付キマシテハ、ドチラカト

言ヘバ、更生金庫ガ相手トナツテ之ヲ買收

致シマシテ、「スクラツプ」スルモノハ「スク

ラツプ」シテ行クト云フヤリ方ヲ取ツテ行

キタイト思ヒマス、本營團ノ狙ヒハ主トシ

テ大工業ノ部門ニアリマシテ、サウ云フ遊

休未動ノ施設ヲ此ノ國家緊急ノ際ニ百「パー

セント」ニ活用シテ行クト云フ所ニ重點

ガアル譯デアリマス、ソレト同時ニ先程申

上ゲマシタヤウニ、國家緊要產業デ、業者

ニ任シテ置イテハ設備ガ到底速カニ出來ナ

イト云フモノヲ此ノ會社ガ代ツテヤル、大

體ノ狙ヒハ常ニ軍需產業、若シクハ生產力

擴充產業、其ノ他國家緊要產業デアリマシ

テ、對象トスルモノハ大企業アアルト云フ

コトハ御説ノ通リアリマス

○岡崎(久)委員 ソレデ目的ガハツキリ分

リマシタ、サウスルト此ノ營團ハ遊休設備

ヲ買取ツテ軍需工場ニ賣ルナリ貸スナリス

ルト云フコトデ、自己デハ何モシナイ、之

ニ經營ハ附イテ居リマセヌカラ、無論經營

ハヤラスト云フコトハ明カリナツテ居リマス、事業其ノモノハ御指摘ノ如ク此ノ營

團ガヤル譯デアリマセヌデ、專ラサウ云

レルガ、サウ云フ風ニ根本解釋トシテ解釋シテ宜イノデセウカ、其ゾ點ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○横川委員長 ソレデハ堀内君

既設ノ大工場デアルベキ筈デアル、其ノ大工場ハ設備擴張ニハ資金調整局ノ許可ヲ得テヤツテ居ルガ、増資ヲスルトカ或ハ融資ト

云フコトノ代リニ、此ノ營團ガ其ノ大キナ

工場ナリ會社ナリニ使ハセル、斯ウ云フ意味ニ取ル外ナイ譯デアリマスガ、ソコデ大

キナ工場ナリ會社ナリニ使ハセル其ノ活用、即チ貸スノカ賣ルノカドウスルノカ、ソ

レカラ其ノ活用ヲドウ云フ風ニヤツテ行

クノカ、其ノ仕事ハ軍部トノ連絡ガ非常

デアルカ或ハ軍需工場デアルカ、ソレハ私

知リマセヌガ、軍部ノ軍需產業ガ主タルモ

ノデアルカラ、其ノ點軍部トノ連絡ガ非常

ニ重要デアル、同時ニ此ノ主管ガ、成程設備ヲ

買フノハ商工省カモ知レナイガ、活用スル

ノハ軍需工場デアツテ、軍部デナイカト思

フノデアリマスガ、ソレ等ノ「デリケート」

ナ關係ト、之ヲドウ活用スルカト云フコト

ニ付テ、若シ御考ヘガアルナラバ承リタイ

ト思ツテ居リマス

モ國家ガ必要トシ且ツ其ノ未動遊休施設ニ最モ適シタ效率ヲ擧ゲル方向ニ之ヲ活用シテ行ク、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○横川委員長 ソレデハ堀内君

産業營團ノ法案ヲ御提出ニナリマシタ理由

トシテ伺ヒマスレバ、種々ノ未動遊休設備ニ

ナドガ出來テ、之ヲ國家ガ買收ヲシテ他ニ

活用スルト云フノデアリマスガ、結局ソレ

ハ申シマスガ、此ノ國家危急ノ場合ニマダ

ハアリマセウガ、ソレダケ剩餘ヲ生ジタヤ

ウナ次第デアリマス、併シ剩餘ヲ生ジタト

ダケノ未動遊休施設ガ、色々ノ原因カラズ

ナドガ出來テ、之ヲ國家ガ買收ヲシテ他ニ

活用スルト云フノデアリマス、今回ノ此ノ時局ニ際シマシテ、

ハ申シマスガ、此ノ國家危急ノ場合ニマダ

中々是ダケノ施設デハ足リナイト考ヘルノ

デアリマス、今回ノ此ノ時局ニ際シマシテ、

唯此ノ未動遊休設備ヲ買收整理スルト云フ

コトダケデ果シテ産業ノ擴充ガ出來ルカド

ウカ、寧ロ私ハモウ少し根本ニ遡ツテ、未

動遊休設備カ斯ノ如ク起ツテ、之ヲ國家ガ

救濟シナケレバナラスト云フコトノ原因ヲ

調査スル必要ガアルノデハナイカト思フノ

デアリマス、私ハ其ノ原因ノ一つシテ、

ドウモ民間事業界ニ企業心ガ萎縮シテ居ル、

ナイ場合モアリマシテ、一概ニ之ヲドウス

ルト云フコトヲ具體的ニ申上ゲルコトハ困

難ダト思ヒマス、其ノ遊休未動施設ヲ國家

ガ最セ必要トシ、且ツソレヲ活用スルニ最

モ效率的デアルト云フ方向ニ向ツテ、活用

シテ行クト云フコトガ必要デアルト思ヒマ

ス、サウ云フ點ニ關シマシテハ此ノ營團ノ

企業心ノ萎縮ト云フコトヲ第一ニ申上ゲタ

イト思フノデアリマス、資材モ不足シテ參

デアリマス、私ハ其ノ原因ノ一つシテ、

ドウモ民間事業界ニ企業心ガ萎縮シテ居ル、

ナイ場合モアリマシテ、一概ニ之ヲドウス

ルト云フコトヲ具體的ニ申上ゲルコトハ困

難ダト思ヒマス、其ノ遊休未動施設ヲ國家

ガ最セ必要トシ、且ツソレヲ活用スルニ最

モ效率的デアルト云フ方向ニ向ツテ、活用

シテ行クト云フコトガ必要デアルト思ヒマ

ス、サウ云フ點ニ關シマシテハ此ノ營團ノ

企業心ノ萎縮ト云フコトヲ第一ニ申上ゲタ

イト思フノデアリマス、資材モ不足シテ參

デアリマス、私ハ其ノ原因ノ一つシテ、

ドウモ民間事業界ニ企業心ガ萎縮シテ居ル、

ナイ場合モアリマシテ、一概ニ之ヲドウス

ルト云フコトヲ具體的ニ申上ゲルコトハ困

難ダト思ヒマス、其ノ遊休未動施設ヲ國家

ガ最セ必要トシ、且ツソレヲ活用スルニ最

モ效率的デアルト云フ方向ニ向ツテ、活用

シテ行クト云フコトガ必要デアルト思ヒマ

ス、サウ云フ點ニ關シマシテハ此ノ營團ノ

企業心ノ萎縮ト云フコトヲ第一ニ申上ゲタ

デアリマシタガ、昭和十五年度ニハ八億六
千万圓ニ激減シテ居ル、十四年度ニ比較シマ
スト僅ニ三割、左様ナ調査ニナツテ居ル、何
故サウ云フコトニナツタカ、是ハ私共ノ考
ヘニテハ、近來色々ノ國策會社ガ生ジマス
シ、又其ノ出來タ國策會社ハ獨占會社デア
ル、競争スル必要モナイ、手數料ト公定價
格ガ決マツテ居ツテ仕事ヲスルヤウナコト
デアリマスカラ、甚ダ經營ハ樂デアル、勿
論實業ニ經驗ノナイ人ガ重役ニナツテモ經
營ガ出來ルヤウナ方法ニハナツテ居リマ
ス、ケレドモ競争モナケレバ奮發モナイト云
フヤウニ私ハ斷定スル、又總テノ民營會社
ハ色々規則ニ拘束サレマシテ、例ヘバ經
濟統制令デアルトカ、其ノ他種々ノ規則ニ
拘束サレマシテ、民營會社ハ其ノ經營ガ手
モ足モ出ナイ、僅カナ金ヲ借リルニモ許可
ヲ受ケナケレバナラヌ、僅カナ仕事ヲスルニ
モ許可ヲ受ケナクテハナラヌ、自分ノ獨自
ノ考ヘカラ仕事ヲ進メテ行カウト云
フヤウナコトハ到底出來ナイノデアリ
マス、斯ウ云フヤウナ狀態デアリマスカ
リ、モウ早ク仕事ナドハ切上げタ方ガ宜イ、
逆モ仕事ヲシテモ利益ドコロデハナイ、自
分ノ考ヘラ實行スルコトモ出來ナイト云フ
ヤウナ意味カラ、段々企業心ノ萎縮ヲ來シツ
ツアルノデアリマス、サウ云フヤウナ狀態
デアリマスカラ、此ノ根本方針ヲ變ヘナケ
レバナラヌト云フ必要ガ迫ツテ來テ居ルノ
デハナイカト思フ、ソコデ色々自由經濟ヲ
破壊シ、統制經濟デナクテハイカヌトカ、
計畫經濟デナクテハイカヌトカ云フヤウナ
議論ガ行ハレテ今日ニ至ツタノデアリマス
ガ、一應私ノ考ヘラ申上ゲマスレバ、私ハ此
ノ戰時經濟ニ際シマシテ、戰時經濟ト云フ

モノハ總テノ經濟活動ヲ國家目的、國家ノ要望ニ向ケテ行クト云フコトデアリマシテ、一ツハ戰爭ガ多數ノ物資ヲ必要トスル故ニ、之ニ對應スル爲ニ、平時ヨリ餘計ニ生產ヲ制経済トカ、或ハ自由經濟トカ云フヤウナモノハ、根本的ニ何モ白ト黒ト云フ風ニ、ツタモノデハナイト思フノデアリマス……○横川委員長 堀内君、一寸御發言中デス方今陸軍次官ガ御見エニナリマシタカラ、アナタノ御質問ヲ一應簡單ニ括リ付ケテ、小平君ノ方ニ御讓リ願ヒタイト思ヒマス○堀内委員 承知致シマシタ、ソレデハ茲デ打切ツテ置キマス、私ハモウ少シ大臣ノ意見ヲ伺フ爲ニ、少シク意見ヲ申上ゲテ見タイト思ツテ居リマス

○横川委員長 ソレデハソコデ打切ツテ戴キマス——小平君

○小平委員 陸軍次官ガ參リマシタカラ、大分時間モ經ツテ居リマスシ、マダ澤山質問者モアリマスノデ、私ハ極メテ簡單率直ニ御伺ヒ致シマス、現在ノ軍管理工場ノ下請工場ノ待遇ノ改善竝ニ之ニ對シ何カ法的性格ヲ與ヘル必要ガアルデハナイカト云フコトニ付テ御伺ヒシタインデアリマス、御承知ノ通り現在ノ軍管理工場ト云フモノハ澤山ゴザイマスガ、此ノ管理工場ノ、詰リ下働キヲシテ居ル部品工場ト云フモノヲ全國ニハ數百ノ工場ガアルト思フ、隨テ此ノ下請工場ノ責務ト云フモノモ此ノ事變下ニフモノガ如何ナル待遇ヲ受ケテ居ルカト申於キマシテ如何ニ重大デアルカト云フコトシマスト、殆ドは平和產業ノ工場ト何等ハ、軍當局モ御分リニナツテ居ルコトト思ヒマスガ、然ラバ現在ノ此ノ下請工場ト云フモノガ如何ナル待遇ヲ受ケテ居ルカト申

變りハナイト思フ、資材ノ點へ勿論は、工場カラ參リマスカラ、此ノ點ハ他ノ工場トハ違ヒマスガ、併シ工員ヲ集メル問題、或ハ資金ノ問題ニ致シマシテモ、其ノ他工場等ニ於テ要スル機械或ハ其ノ他ノ雑品ガアリマスガ、殊ニ此ノ機械ノ先ニ使フ所ノ總テノ工具ガアリマスガ、是等ノ材料ノ蒐集ト云フコトニ付キマシテモ恐ラク何等特別ナル扱ヒヲ受ケテ居ナイノデアリマス、隨テ現在ノ此ノ非常時ニ對處致シマシテ、能率ノ増進ト云フコトヲ軍理工場カラ非常ニ請求ヲ受ケテ居リマスガ、殆ドソレ等ノ資材ノ不足、或ハ工員ノ不足ト云フヤウナ問題カラ致シマシテ、全能力ヲ發揮スルコトガ出來ナイト云フヤウナ現況デアリマス、此ノ事變下ニ於キマシテ斯ウ云フコトデハ高度國防國家ノ建設ト云フ方面カラ考ヘマシテモ、非常ニ私ハ遺憾デアルト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ軍當局ハドウ云フ御考ヘヲ御持チニナツテ居リマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

テモ、此ノ下請工場ノ集マル度ニ軍當局ノ方
ガオイデニナリ、何等カ此ノ下請工場ニ對
スル公的性格ヲ與ヘテ貰ヒタイト云フヤウ
ナ要求ガアルヤウニ私ハ聞イテ居リマス、
而モソレガモウ既ニ半年ヤ一年デハナイノ
デアリマシテ、此ノ事變ガ起ルヤ直チニ下
請工場ノ重要性ト云フコトニ付キマシテハ
軍當局ノ方面ニ於テモ認メラレテ、再三能
率ノ増進、或ハ精神指導官ノ派遣ト云フヤ
ウナコトヲオヤリニナツテ居ルノデアリマ
スガ、唯鞭撻ハ致シマスケレドモ、工場ノ能
率實際化ト云フコトニ付テノ總テノ便益ト
云フモノヲ御圖リニナツテ居ナイ、此ノ點
ハ甚ダ私ハ遺憾デアルト考ヘテ居リマス、
ソコデ何等力軍管理工場ト同様ナル、詰リ
有機的ノ結合ヲサセテ働くセルト云フ御答
辯デアリマスガ、何等カ之ニ對シテ軍管理
工場ト同様ノ特點ト云フヤウナモノヲ御與
ヘニナル御考ヘガアルカナイカ、之ヲ一ツ
御伺ヒ致シマス

ト云フ問題ニ付キマシテモ、目下ノ非常時ニ對シテ非常ナ増産ヲシナケレバナラヌ状態ニ際會シテ居ルノデアリマスカラ、是ハノ點モ深ク御考慮ニ入レラレマシテ、是ハ非常ニ長イ間ノ下請工場ノ興望デモアリマスカラ、何等カノ形ニ於テ待遇モ好クシ、又將來其ノ經營ノ安全化ト云フコトニ付テモ御考ヘラ願ヒタイト思ヒマス、唯現在デハ此ノ事變ニ際シマシテカラ工場ノ増産或ハ能率ノ増進ト云フコトニ付テ非常ニ鞭撻シテ居ラレルヤウデアリマスガ、此ノ事變ガ片付キマシタ後ニ果シテドウ云フ結果ニナルカト云フコトニ付キマシテモ、下請工場ニ對シテハ何等ノ保障モアリマセヌ、又軍當局ニ於テモ責任ヲ負ツテ居ラレナイノデアリマス、是等ノ點ハ下請工場ノ企業者ト致シマシテハ非常ニ不安デアルト私ハ思フ、是等ノ點ニ付キマシテモ軍當局ノ御考慮ヲ願ツテ置キタイト思ヒマスガ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハドウ御考ヘニナツテ居ラレマスカ

○木村政府委員 徵用令ニ依リマス工員ハ重要ナル親工場ニ配置スル際ニ下請工場ノ分ヲモ「プラス」シテヤルコトヲ考ヘテ居リマス、但シ法的ノ根據ガアリマセヌノデ、將來ニ於テ御趣旨ニ副ヒマシテ篤ト研究善處スル考ヘデゴザイマス

○小平委員 尚ホ特ニ此ノ機會ニ御願ヒシテ置キマスガ、此ノ工場ノ擴張ニ對スル平和ニナツタ場合ノ安全策デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ一ツ御考ヘラ願ヒタイト思ヒマス、是ハ斯ウ云フ非常時デアリマスカラ各工場トモ全能力ヲ擧ゲテ軍ノ要求ニ應ズルヤウニ擴張致シテ居リマス、併シ萬一平和ニナツタ場合ニ、先程モ申上ゲマ

ト云フ問題ニ付キマシテ、喜多君、川島君カラ大分細カイ突込ンダ質問ガアリマシタノデ大體ハ分リマシタガ、私ハ一點ダケ伺ツテ置キタ伊ト思ヒマス、此ノ第一條ニ國家緊要產業ト云フコトガアリマスガ、詰リ軍需產業、生産擴充計畫產業、其ノ他國家緊要產業ト云フコトニナツテ居リマスガ、國家緊要產業ノ定義ニ付テ伺ツテ置キタイト思ヒマス、是ハ解釋ノ仕様ニ依リマシテ、此ノ點マデガ國家緊要產業デアル、此ノ點カラハ國家緊要產業デナイト云フ其ノ解釋ニ依リマシテ非常ナ差異ヲ生ズルト思ヒマス、此ノ問題ニ付キマシテ商工大臣カラガツチリシタ定義ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○岸國務大臣 國家緊要產業ノ定義デアリマスガ、是ハコヨニ掲ゲテアリマスヤウニ、軍需產業、生産擴充計畫產業ト云フモノガ國家緊要產業ノ一つノ例示デアリマス、其ノ他ニ然ラバドウ云フ緊要產業ガアルカ

ト云フ問題ニ付キマシテモ、目下ノ非常時ニ對シテ非常ナ増産ヲシナケレバナラヌ状態ニ際會シテ居ルノデアリマスカラ、是ハノ點モ深ク御考慮ニ入レラレマシテ、是ハ非常ニ長イ間ノ下請工場ノ興望デモアリマスカラ、何等カノ形ニ於テ待遇モ好クシ、又將來其ノ經營ノ安全化ト云フコトニ付テモ御考ヘラ願ヒタイト思ヒマス、唯現在デハ此ノ事變ニ際シマシテカラ工場ノ増産或ハ能率ノ増進ト云フコトニ付テ非常ニ鞭撻シテ居ラレルヤウデアリマスガ、此ノ事變ガ片付キマシタ後ニ果シテドウ云フ結果ニナルカト云フコトニ付キマシテモ、下請工場ニ對シテハ何等ノ保障モアリマセヌ、又軍當局ニ於テモ責任ヲ負ツテ居ラレナイノデアリマス、是等ノ點ハ下請工場ノ企業者ト致シマシテハ非常ニ不安デアルト私ハ思フ、是等ノ點ニ付キマシテモ軍當局ノ御考慮ヲ願ツテ置キタイト思ヒマスガ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハドウ御考ヘニナツテ居ラレマスカ

○小平委員 大體此ノ產業設備營團ノ法案ニ付キマシテハ、喜多君、川島君カラ大分細カイ突込ンダ質問ガアリマシタノデ大體ハ分リマシタガ、私ハ一點ダケ伺ツテ置キタ伊ト思ヒマス、此ノ第一條ニ國家緊要產業ト云フコトガアリマスガ、詰リ軍需產業、生産擴充計畫產業、其ノ他國家緊要產業ト云フコトニナツテ居リマスガ、國家緊要產業ノ定義ニ付テ伺ツテ置キタイト思ヒマス、是ハ解釋ノ仕様ニ依リマシテ、此ノ點マデガ國家緊要產業デアル、此ノ點カラハ國家緊要產業デナイト云フ其ノ解釋ニ依リマシテ非常ナ差異ヲ生ズルト思ヒマス、此ノ問題ニ付キマシテ商工大臣カラガツチリシタ定義ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○岸國務大臣 我ガ國ニ於ケル未動遊休施設ガ此ノヤウニ多數ニ生ジマシタ一ツノ原因トシテ、旺盛ナル企業心ガ衰ヘテ居ルト云フコトヲ指摘サレマシテ、此ノ旺盛ナル企業心ヲ刺戟シテ激烈競争心デ以テ産業界ノ發展ニ資スルヤウニシタラドウカト云フ考ヘ方ハ一應御尤モデアリマスガ、實ハ今日日本ニ斯ノ如ク多クノ未動遊休施設ガ生ジ、又之ヲ斯ウ云フ營團ヲ作ツテ活用セネバナラヌ必要ノ生ジマシタ事態ハ、言フ迄モナク、日本ノ從來ノ經濟ガ外國依存ノ形デ發達シテ參ツテ居ツテ、所謂國防國家體制タル自給經濟ノ態様ヲ成シテ居ラナ

激刺タル企業經營心ヲ刺戟シテ之ニ依ツテ國家ノ目的ヲ達スルト云フ堀内委員ノ御考へハ全ク私モ同感デアリマス、是ガ爲ニ從來ヤツテ參ツテ居リマスル統制方式等ニ付キマシテモ、其ノ手續ヤ其ノ他ノ法令ノ條項等ニ付キマシテハ相當考ヘテ見ルベキ所ガアルデアラウト思ヒマス、出來ルダケ官廳其ノ他ノ事務ヲ簡素ニシテ民間ニ迷惑ヲ及ボザザルヤウニスルト云フヤウナコトモ其ノ一ツデアリマス、又統制團體、統制會ヲ健全ニ發達セシメテ、之ニ依ツテ民間ニ於ケル長イ經驗ト知識ヲ活用シテ官民一致シテ統制ヲ實體ニ即應セシムルト云フコトモ其ノ一ツノ狙ヒデアリマス、又更ニ考ヘラレテ居ル産業ノ報獎制度等ニ依リマシテ、技術ノ改善ヤ經營ノ優良ナ事柄ヲ表彰シテ行クト云フヤウナ制度ニシテモ又其ノ一つデアリマス、唯從來ノ自由經濟ノ場合ノ如ク、サウ云フ技術ノ改善ヤ或ハノ利潤ガ多クナルト云フコトニ依ツテ競争心ヲ刺戟シ、又之ニ依ツテ企業心ヲ燃エ立タセテ行クト云フ事柄ヲ、今日ノ戰爭經濟遂行上無制限ニ其ノ儘ニ許シテ置ク譯ニハ行カナイト云フ事態ニ付キマシテハ、堀内委員ニ於キマシテモ十分御諒承ノコトト思

方針トシテ御決定ニナリマシテ、ソレヲ順次實行ニ移シテ、其ノ爲ニ統制會ヲ中心トシテ大體其ノ方針デ進ムト云フコトノヤウニ前議會ニ於テモ御言明ガアツタノデアリマスガ、一向其ノ後遲々トシテ進マナイ、統制會モモウ一年ニモナリマスケレドモマダツモ出來ナイ、色々ヤツテハ居ラレルヤウデアリマスケレドモ、サウ云フヤウナコトデハ到底此ノ戰時經濟ニ即應シテ進ムコトハ出來ナイト思フ、殊ニ國策會社ハ餘り作ラナイ方針ノヤウニ伺ツテ居ツタノデアリマスガ、此處ニ興業銀行ノ調查ヲ見マスト、昨年ノ七月ヨリ十箇月間、本年ノ四月マデニ設立サレマシタ全國ノ會社ノ數ガ七百三十八、此ノ資本金ガ九億二千八百万圓デアリマス、是ハ全國的ノモノデアリマスカラ七百三十八ハ寧ロ少イデアリマセウ、所ガ其ノ中ニ國策會社ト稱スルモノガ二百七十一アリマシテ、其ノ資本金三億六千六百万圓、丁度四割ニナル、斯様ニ國策會社ハ恰モ雨後ノ筈ノ如ク續々出テ參リマス

(委員長退席、木村(淺)委員長代理着席)
段々國策會社ノ狀況ヲ見マスト先刻モ申上ゲマシタ通リ洵ニ經營ハ樂ノヤウデアリマス、手數料ハ大體決マツテ居ルシ公定價格デ物ガ賣レル、ケレドモ一面ニハソレガヒマスルガ、之ニ代ル色々ノ制度ヲ考ヘテ、御話ノ通リニ飽クマデ民間ノ創意トノ責任トヲ尊重シマシテ、生産力擴充ノ實效ヲ舉ゲタイ、斯ウ考ヘテ居リマス
○堀内委員 更ニ御伺ヒ致シマスガ、昨年ノ暮デアリマシタカ經濟新體制ト云フモノガ御決定ニナリマシテ、企業ハ民營ヲ主トスル、已ムヲ得ザル場合ノ外ハ官營、國營等ハヤラヌ、斯ウ云フヤウナコトガ政府ノ

方針トシテ御決定ニナリマシテ、ソレヲ順次實行ニ移シテ、其ノ爲ニ統制會ヲ中心トシテ大體其ノ方針デ進ムト云フコトノヤウニ前議會ニ於テモ御言明ガアツタノデアリマスガ、一向其ノ後遲々トシテ進マナイ、統制會モモウ一年ニモナリマスケレドモマダツモ出來ナイ、色々ヤツテハ居ラレルヤウデアリマスケレドモ、サウ云フヤウナコトデハ到底此ノ戰時經濟ニ即應シテ進ムコトハ出來ナイト思フ、又一方經濟新體制ノ趣旨ニモ適ツテ行クコトガ出來ルノデアリマス、別個ニ此ノ營團ガ出來テ、是ガ其ノ仕事ヲスルト云フコトハ前途ドンナモノノ産業擴充ノ見地カラ、國家ノ金ヲ以テ整理シナケレバナラヌト云フコトノ起ツタ以上ハ、是ハ無論必要ノコトトシテ認メナケレバナラナイガ、其ノ實行方法ニ至ツテハ餘程難カシイ問題デハナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマス
ソコデモウ一ツ大臣ニ伺ツテ置キタインデスガ、經濟新體制ノ目的ニ反シテ國策會社ガ餘り多過ギルヤウデアリマス、近時國策會社ト云フモノヲ再檢討シナケレバナラヌト云フ議論ガ朝野ニ漲ツテ居ル狀況デアリマス、是ハ商工省バカリデハアリマセヌガ、他ノ役所カラモ盛んニ國策會社ハ出来ル、ソレガ集マルト結局斯ウ云フ多數ノモノニナルノデアリマス、商工省ハ總チノ幾ツト云フモノノ大多數ハ、配給等ニ關スル統制會社ヲ網羅シテ居ルモノダラウト思ヒマス、此ノ統制會社ニ付キマシテハ從來是ガ十分ナ監督若クハ指導ノ爲メノ法令ヲ缺イテ居リマシク爲ニ、隨分亂雜ナ若クハ其ノ經營ノ適當デナイト云フモノモ相當ケル積リデ居リマス、又是方設立ニ付キマシテハ從來ノ工業組合、商業組合其他ノ組

合等ノ方法ニ依ル統制ト、會社ノ形ニ於テ統制スルコトト、ドチラガ適當デアルカト云フ點ニ付キマシテモ、十分考慮シテ參ラナケレバナラスト思ヒマス、何レニシロサデ、指定サレマシタ重要部門ニ於キマシテハ近ク統制會が全部出來ルト存ジマス、更ニ必要ナ部門ニハ之ヲ設立致シマシテ、其ノ協力ニ依ツテ、私ハ最モ實際ニ適シ、而モ實效ヲ擧ゲルト云フ統制方式ヲ實行政シテ参リタイ、斯ウ者ヘマス

○堀内委員 大臣ノ御決意ノ程ヲ了承致シテ置キマス、モウ一ツ役所ノ御方針ガ色々ト不統一ノ點ガアリマシテ、洵ニ經濟政策ヲ實行スル上ニ於テモ、殊ニ會社救濟等ノ上ニ於キマシテ不便ガ多イト思ヒマス、其ノ一例ヲ申上げテ見マスト、保險團ガ澤山ノ金ヲ持ツテ居リマス、是ガ色々ノ場合ニ出動シテ財界ノ救濟ニ活動スルコトガアル、又總デ此ノ保險團ノ金融ヲ使ツテ居ル會社多イノデアリマス、此ノ保險團ノ金融ノコトハ諸會社ノ興廢ニ關スルヤウナ點ガ多イナリマス、所ガ金融ノ方ノ關係カラ行キマスト、大藏省ノ關係ト見テ指揮ヲ受ケル場合ガ多ク、現ニ銀行其ノ他皆サウデアリマセウケレドモ、此ノ保險團ノ金融ヲ決定スルノ商工省ノ關係アリマス、會社自體ヲ監督ナサル上ニ於テサウシナケレバナラヌコトカモ知レマセヌケレドモ、ドウモ一つノ會社ノ仕事ヲ兩方デ監督シテ居ルト云フコトカラ大變ニ經濟界ガ不便ヲ感じテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ種ノ類ノモハ他ニモマダ澤山アラウト思フ、詰リ斯

ウ云フ經濟新體制ヲ實行スルトカ、或ハ一ノ設立スルコトト、ドチラガ適當デアルカト云フヤウナ際ニ於キマシテ、何トカ之ニ付キマシテモ、十分考慮シテ參ラナケレバナラスト思ヒマス、何レニシロサデ、指定サレマシタ重要部門ニ於キマシテハ近ク統制會が全部出來ルト存ジマス、更ニ必要ナ部門ニハ之ヲ設立致シマシテ、其ノ協力ニ依ツテ、私ハ最モ實際ニ適シ、而モ實效ヲ擧ゲルト云フ統制方式ヲ實行政シテ参リタイ、斯ウ者ヘマス

○堀内委員 大臣ノ御考へハナイモノデアリマセウカ、一寸御伺ヒ致シマス

○岸國務大臣 官廳事務ノ分屬ニ依リマシテ、色々方針ガ區々トナリ、若シクハ事務ノ敏活ヲ缺クト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、此ノ内閣ト致シマシテハ極力具體的ニ之ヲ解決シテ行ク考ヘデ居リマシテ、既ニ一、二サウ云フモノモ解決ヲ見ツツアルヤウデアリマスガ、唯保險團ノ金融ト一般銀行其ノ他ノ金融機關トノ關係ヲドウ調整スルカト云フヤウナ問題ニ關シマシテハ、大藏省デ立テラレタ其ノ「ライン」ニ向ツテ凡ユル金融機關ガ活動シテ居ル譯デアリマスガ、大藏省ニ於キマシテモ近時戰時金融ノ一つノ統制方針ト云フモノヲ更ニ強化シ、又金融機關ノ一種ノ新體制ト云フヤウナモノモ業者ノ間ニ色々考究サレテ居ルヤウニ聞クノデアリマス、兩者ガ區々ノ方針ニ依ツテ業界ヲ混亂セシムルコトガナイヤウニ、今後十分努メテ参リタイト考ヘテ居リマス

○堀内委員 モウ一點、本法案ノ中ニ勅令ニ依リ定ムルト云フコトガ第六條ト第十八条ト四十條ト三箇所載ツテ居リマス、何時モ法案ヲ議シマス時ニハ、此ノ法案ニ書往々ニシテトンデモナイ趣旨ヲ達ヘテシマツタヤウナコトが出来ルノデアリマス、

ウ云フ經濟新體制ヲ實行スルトカ、或ハ一ノ設立スルコトデアリマセウカ、何カ權限ヲ定ト云フヤウナ際ニ於キマシテ、何トカ之ヲ統一スルヤウナ、則チ一元化スルヤウナ——先刻來モ色々他ノ方カラモ質問ガアツタヤウデアリマスガ、サウ云フヤウナ御整理ニ付テノ御考へハナイモノデアリマセウカ、一寸御伺ヒ致シマス

○岸國務大臣 官廳事務ノ分屬ニ依リマシテ、色々方針ガ區々トナリ、若シクハ事務ノ敏活ヲ缺クト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、此ノ内閣ト致シマシテハ極力具體的ニ之ヲ解決シテ行ク考ヘデ居リマシテ、既ニ一、二サウ云フモノモ解決ヲ見ツツアルヤウデアリマスガ、唯保險團ノ金融ト一般銀行其ノ他ノ金融機關トノ關係ヲドウ調整スルカト云フヤウナ問題ニ關シマシテハ、大藏省デ立テラレタ其ノ「ライン」ニ向ツテ凡ユル金融機關ガ活動シテ居ル譯デアリマスガ、大藏省ニ於キマシテモ近時戰時金融ノ一つノ統制方針ト云フモノヲ更ニ強化シ、又金融機關ノ一種ノ新體制ト云フヤウナモノモ業者ノ間ニ色々考究サレテ居ルヤウニ聞クノデアリマス、兩者ガ區々ノ方針ニ依ツテ業界ヲ混亂セシムルコトガナイヤウニ、今後十分努メテ参リタイト考ヘテ居リマス

○小林(房)委員 先程喜多君ノ質問ニ對シテ商工次官カラ御答辯ガアツタノデアリマスガ、產業設備營團ト他ノ國策會社トノ關係ニ付テ、先程ノ御答辯ハ在來ノ國策會社ハ事業遂行ノ爲ニ積極的ニ推進ヲスル役割ヲ持ツモノデアル、此ノ營團ハ消極的ナ効果キシカシナインデアルト云フヤウナ御答辯ノヤウニ承ツタノデアリマス、此ノ十七條ニ依リマスト、事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコト著シク困難ナルモノト云フコトガアル、次ニハ其ノ設備ヲ貸付ケル、或ハ出資ヲスル、斯ウ云フヤウニ規定サレテ居ルノアリマスガ、是ハ消極的ナモノデナクシテ事業經營ノ上ニ於ケル積極的ナ効キデアラウト私ハ考ヘテ居リマス、果シテ積極的ニ此ノ營團ガヤルト云フコトデアリマシタナラベ、

○椎名政府委員 左様ナ分野ニ於キマシテハ、既ニ其ノ使命ヲ持ツテ生レタ國策會社ガ存在シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ方面ハ既存ノ國策會社ニ御任セシテ生産擴充ヲ推進スルト云フコトニスル方針デアリマス

○小林(房)委員 ソレデハ此ノ營團ハ既存ノ國策會社ノ分野ニハ鐵ヲ入レナインデ、ソラ推進スルト云フコトニスル方針デアリマス

○小林(房)委員 ソレデハ此ノ營團ハ既存ノ國策會社ノ分野ニハ鐵ヲ入レナインデ、ソラ推進スルト云フコトニスル方針デアリマス

果シテ然ラバ今日ノ急迫セル時局ニ於テ、最モ必要ナモノハ云フマデモナク鑛物資源デアリマス、戦争ノ爲ニ必要ナル資材ノ大部分ト云フモノハ皆鑛物デアリマス、此ノ鑛物ノ資源ノ開發及ビ生産増加ノ必要ノ爲ニハ、國家ハ非常ナル犠牲ヲ拂ツテデモ、此ノ急ニ應ゼナケレバ、現下ノ情勢ニ對スル國家ノ要請ニ應ズルコトハ出來マセヌ、然ルニ此ノ營團ガ、ソレ等ノ分野ニ全然關係ナク、在來ノヤウナ帝國興發トカ、日本產金トカ云フヤウナ會社ノミノ活動ニ俟ツテ果シテ其ノ目的ヲ達スル程ソレ等ノ國策會社ガ其ノ機能ヲ働カシテ居ルカドウカト云フコトニ付テ、當局ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ、御伺ヒ致シテ置キマス

○小林(房)委員 先程國策會社ノ遊休未動ハアルカドウカト云フ質問ガアリマシタガ、私共ハ現在ノ國策會社ノ或ルモノハ明カニ遊休未動ノモノガ多イト考ヘテ居リマス、例へバ今大臣ガ御指摘ニナリマシタ日本產金會社ノ如キモは前ノ議會ニ於テ同僚ノ議員カラ深刻ナル質問ガアリマシテ、ドウモ其ノ内部事情ト云フモノガ滅茶々々デアルト云フヤウナコトヲ委員會ニ於テ申サレマシタ、是ハ明カニ委員會ニ於テ言ウタコトデアルシ、商工當局ニ於テモ之ヲ聽イテ善處ヲサレルヤウニ答辯サレタノデアリマス、其ノ後ドウ云フヤウニナツテ居ルカ知レマセヌガ、少クトモ日本產金會社ト云フヤウナ、國策會社ガ惡意又ハ非常ナ經營上ノ不始末ノ爲ニ、莫大ナル損害ヲ被ツタ、其ノ損害ハ正當ニ鑛山ヲ開發スルト云フコトノ値打モナイ山ヲ情實ニ依ツテ高ク買ウテ、ソレガ爲ニ裁判上ノ問題マデ起ツテ居ルト云フコトヲ聽イテ居リマス、是等ハ情實ニ依ツテ不良ナモノヲ高ク買ツタ、サウシテ其ノ損失ノ背負込ミハ會社ガ負フ、會社ハ二進モ三進モ行カナide、四苦八苦シテ居鑛山ニ對シテハ適當ナ援助ヲシナイ、或ハ融資ヲシナイ、ソレハナゼデアルカト云フル、斯ウ云フヤウナ經營ノ仕方ヲ現在ヤツテ居ル、サウ云フ事柄ノ爲ニ他ノ優良ナルガ、相當援助シテモ宜シイモノガ先ニ奇怪ニ、非常ナ信念ノナイ考ヘ方カラ、援助ズベキモノモ援助シナイ、開發サルベキ所ノ

資源ガ開發サレナイト云フコトノ現状デア
ルノデアリマス、吾々ハソコニ此ノ會社ノ
半身不隨ノ狀態ガアルノダト思ヒマスガ、
是ハ豈ニ獨リ日本產金會社ノミナランヤト
私ハ考ヘテ居リマス、少クトモ今日是等鑛
物資源開發ノ爲ニ乗出シテ來タ國策會社ハ
或ル程度ノ犠牲ヲ拂ツテモ礦物增産ノ爲
増産ノ爲メニ努力セナケレバナラヌ、苟クモ
眞剣ニ鑛山ヲ開發シ資源ノ開發ヲナシツツ
アル正當ナル鑛業ニ對シテハ、出來ルダケ
積極的ノ援助ヲシナケレバナラヌト思フノ
デアリマス、併シナガラ現在ノ產金會社帝
國鑛發會社サウ云フ國策會社ガ果シテ左様
ナ活動ガ十分ニ出來テ居ルカドウカ、是ハ
私が今申上げナクテモ商工當局ニ於テ或ル
程度御承知ノコトデアラウト考ヘテ居リマ
ス、ソコデ其ノ原因ハ何處ニアルカ、吾々
申上ゲルマデモナイ、少クトモ鑛業資源開
發ノ爲ニハ、ソレ等ノ會社ガ國策會社デア
ルト云フ立場ニ顧ミテ、自ラ相當ノ犠牲ヲ
拂ツテデモ適當ナ援助ヲシテ行カナケレバ
ナラヌモノダト考ヘマス、是ニ對シテハ
國家ハ相當ノ損失補償ヲ與ヘテモヤツテ
命ニ鑑ミテ、國策的ニ活動ヲシヨウトハ考ヘ
行カナケレバイカヌ、ソコデ今日は等ノ會社
ノ狀態ガ、首腦部ノ方ニ於テ國策會社ノ使
事ヲシテ居ル者ノ狀態ハ、依然タル舊體制デ
金貸屋ノ根性デ仕事ヲシテ居ル、鑛山資源
ノ開發ト云フ時局ノ要請ヨリハ金利ノ上前
ヲ刎ネル。金融業者ノ利益立場ノミヲ考ヘル
ト云フ經營ニ墮シテ居ルノデハナイカト云フ
コトヲ私共ハ惧レルノデアリマス、其ノ鑛業
資源開發ノ爲ニ貸シテ居ル金ノ財源ハ社債

ヲ發行シテ興業銀行カラ融資ヲ受ケル、併シ
其ノ利子ガ相當高イ從ツテ金利的ニモ重イ
負擔ヲ被セテ居ル中、小鑛山ノ發展ト云フコ
トハ到底望ムコトハ出來ナイ、是ハ大藏當
局ニ於テモ相當ニ考ヘテ、高イ金利ノ社債
デ其ノ財源トスルト云フコトデナクシテ、
モット國家のニ金融ヲ圖ツテ、其ノ金ヲ低
利デ融通ラシテ、而シテソレニ依ツテ開發
セシメテヤルト云フコトデナケレバ、本當
ノ開發ハ出來ナイノデアリマス、然ルニ現
在ノ國策會社ト云フモノハ、サウ云フヤウ
ナコトヲシヨウト思ツテモ、現實ニ高イ社
債ニ依ツテ居ルノデアルカラ、安イ金利デ
貸スト云フコトハ出來ナイ、而モ會社ハ國
策會社デアルケレドモ、金利ノ上前ヲ剋ネ
テ計算ヲ立テ行カナケレバ又ナラスト云
フヤウナ國策會社デハ國策上本當ニ鑛山資
源ノ開發方出來ル譯ハナイノデアリマス、
之ニ對シテ政府ハ如何ナル御考ヲ持ツテ居
ラレマスカ、之ヲ先づ承リタイト思ヒマス
○岸國務大臣 鑛山資源開發ニ關スル國策
會社ノ業態ニ對シマシテ、色々ナ御話ガア
リマシタガ、若シモ是等ノ國策會社ニシテ、
惡意若クハ重大ナル過失ニ依リマシテ、其
ノ會社ニ不當ナ損害ヲ及ボシテ居ルト云フ
事實ガアリト致シマスレバ、監督上吾々ハ
適當ニ處置スルコトハ勿論當然デアリマス、
併シナガラ御承知ノ通り鑛山ト云フモノハ、
惡意デナク重大ナ過失ガナイ場合ニ於キマ
シテモ、實際ヤツテ見ルト結果ハ、惡イ山
ト思ツタノガ善カツタリ、相當善イト思ツ
タノガ惡カツタリスル事柄ハ、鑛山ノ事業
カラ云フト、或爾程度マデ已ムヲ得ナイ事情
デアルト思ヒマス、隨テ國策會社ガ買取ツ
タ山等ニ付キマシテモ、一々其ノ實績ヲ調

ノダケヲ買ツタモノデアルカ、或ハサウデ
ナイモノガアルカト云フヤウナ問題ニ付キ
マシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ之ニ惡
意ガアリ、若シクハ重大ナル過失デ、サウ
云フ事柄ヲ引受ケテ居ルトスレバ、其ノ重
役ヤ其ノ他ノ者ガ當然責任ヲ執ラケレバ
ナラヌコト思ヒマス、尙ホ是等ノ國策會
社ガ實際ノ活動ニ際シマシテ、國家的國策
的ノ見地ヲ十分ニ認識シテ、必要ナ山ノ開
發ニハ若シモ金融ノ必要ガアリトスルナラ
バ、山來ルダケ金融ノ便宜ヲ與ヘルト云フ
コトモ當然デアリマシテ、必ズシモ國策會
社ガ儲ケルト云フ事柄ガ必要ナイコトハ
言フヲ俟タナイノデアリマス、目下モ實際
是等ノ會社ガ現在色々國策遂行上損失ヲ蒙
リマシタヤウナ場合ニ於テハ、適當ナ方法
デ損失補償ノ途モ實際執ツテ居リマス、又
社債等ノ發行ニ關シマシテモ、政府ガ保證
ヲ致シ居リマシテ、實際中小礦山等ニ對シ
テ金融ガ、現在行ハレテ居ル一般銀行等ノ
金融ヨリモ、不當ニ高イモノデアルトハ實
ハ私共考ヘテ居リマセヌ、勿論國策會社デ
アルカラ、初メカラ損益積リデ、利子ノ
アル社債ヲ借入レテ、只デ貸スト云フヤウ
ナ事柄モ勿論適當デナイト思ヒマスガ、不當
ニ一般市場ナリ、或ハ銀行ノ金融ヨリモ、
國策會社ノ金融ガ高イト云フヤウナ事實ハ
ナイト思ヒマス、是等國策會社ノ實際ノ業
ノ開發ニ帝國鑛發ノ貢獻シテ居リマス事柄、
又液體燃料ニ付テモ帝國燃料ガ相當ナ貢獻
ヲシテ居リマス事柄ハ、私ハ事實トシテ之

ヲ認メルモノデアリマス、唯現在ノモノガ
ニ關シマシテハ、御指摘ノ點モアリマスノ
デ、十分意ヲ用ヒマシテ、是等ノ國策會社
ガ、其ノ本來ノ目的ニ向ツテ完全ニ其ノ機
能ヲ發揮スルヤウニ、指導監督シテ行キタ
イト考ヘテ居リマス

○小林(房)委員 金利ナンカノ問題ハ、大
シタ問題デハアリマセヌガ、併シナガラ銀
行ヨリハ高イ利子デアルト云フコトダケハ
御承知ニナツテ宜ニコトデアリマスカラ、
是ダケハ申上ゲテ置キマス、其ノ外國策會社
社ガ只今大臣ガ申サレタヤウニ、國策會社
ノ本然ノ立場ニ還ツテ、多少ノ犠牲ヲ拂ハ
ウトモ、鑛物資源開發ノ爲ニ努力スルト云
フ方針ダケハ、ドウシテモ徹底的ニヤラサ
ナケレバ、鑛物資源ノ開發増產ト云フコト
ハ決シテ出來マセヌ、此ノ點ニ於テハソレハ
經營上ニ於テ私ハ必ずシモ完全無缺ヲ求メル
モノデハアリマセス、併シナガラ今日ノ急
迫セル時局ニ於テノ必要ナ資源デアリマス
カラ、犠牲ヲ拂ツテデモヤルト云フ心構ヘ
デ、一切掛ツテ行カナケレバイケナイ、斯
ウ云フコトヲ申上ゲルノデアリマスカラ、
此ノ點ニ對シテ更ニ御考慮ヲ煩シテ置キタ
イト思ヒマス

ソコデ今日ノ鑛物資源、非鐵金屬ノ增產
確保ヲ致シテ行キマスル上ニ於テ、何ガ一
番必要デアルカト申シマスト、中小鑛山ヲ
援助シテ之ヲ開發セシメテ行クト云フコト
ガ、増產ノ大ナル目的ヲ達スル方法デアラ
ウト私ハ考ヘテ居リマス、然ルニ此ノ中小
鑛山ガ十分ニ働イテ居ナイ、或ハ損ヲシテ
居ル、赤字デアル、斯ウ云フヤウナ現狀ガ
非鐵金屬ノ增產ノ上ニ非常ナ惡影響ヲ及ボ

シテ居ルモノダト思ヒマス、勞力ノ不足モアリマセウ、資材ノ不足モアリマセウ、併シナガラ資金ノ不足ト云フモノガ殆ド大ナル支障デナイカ知ラント思フ、ソコデ是等ノモノニ對シテハ出來ルダケノ資金的援助ヲ與ヘテ、増産ヲ確保シテ行カナケレバナラヌ、勿論澤山ノ中小鑛山ノ中デアリマスカラ、品位ノ低イモノ、鑛量ノ極メテ少イモノ、サウ云フヤウナモノヲ一々援助シテ行ツタノデハ切リガナイカラ、ソレハ重點主義デ行カナケレバナラヌト思ヒマス、併シナガラ中小鑛山デモ重點主義ニ十分適ツタ優良ナル鑛山ガアルノデアル、ソレ等ニ對シテハ出來ルダケ援助ヲ與ヘテ、ソレ等ノ開發增强ヲ圖ツテ行クト云フ考へ方デ進マナケレバイカスト思フノデアル、然ルニモ拘ラズ色々ノ故障ガアリマス、今申シタ資材、労力、資金ノ關係モアリマスガ、資金ニ付テ特ニ援助ヲ與ヘテヤツテ、此ノ優良ナル中小鑛山ノ開發、生産ノ増強ト云フコトニ努メテ行カナケレバナラヌ、ソコデソレ等ノ鑛山ヲサウ云フヤウナ方法ニ依ツテ援助ヲシテ增産ヲセシメルト共ニ、茲ニ必要ナノハ精鍊所ノ國家管理ダト思フ、是等ノ中小鑛山ハ其ノ出シタ所ノ鑛石ヲ悉ク全部精鍊所ヘ持ツテ行ツテ賣ル、賣鑛スル、買フ方ノ精鍊所ハ悉ク大鑛山ヲ經營シテ居ル所ノ財閥デアリマス、是等ノ大財閥ガ精鍊所ヲ經營シテ、大鑛山ニシテ居ル計算ヲ「カバー」シテ居ル、精鍊所ガ儲ケテ居ルノデアル、斯ウ云フ事ノ爲ニ中小鑛山ハ精鍊所ノ爲ニ食ハレテ居ル、中ト云フコトモ一ノ重大ナル原因デアリ

マス、是ハ取りモ直サズ賣鑛契約ガ悪イト鑛石供給統制ノタメニ賣鑛契約ガ正當適切係ニ於テ、交通關係ニ於テモツトソレヨリハガ、其ノ多クハ精鍊所ニ食ハレテ居ル、財閥ノ經營セル大鑛山ニ附屬シテ居ル精鍊所ニ食ハレテ居ル、ソレハ賣鑛契約ガ不當デアルカラデアル、ダカラ精鍊所ヲ國家管理ニシテ、公平ナル賣鑛契約ニ依ツテ全國ノ中小鑛山及ビ大鑛山カラ出ル鑛石ヲ、國家管理ノ下ニ於ケル精鍊所ニ於テ精鍊ヲシテ行クコトニ依ツテ、是等ノ銅ニシテモ、鉛ニシテモ、亞鉛ニシテモ増産サレ、サウシテソレニ從事シテ居ル者ガ、ヨリ多クノ努力ヲ拂ツテ、増産ノ爲ニ貢獻スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、此ノ精鍊所ノ國家管理ト云フコトニ對シテ、政府ハドウ云フヤウナ御考ヘガアリマスカ、御計畫ガアリマスカ

○岸國務大臣 今日精鍊所ヲ直チニ國家管理ニスルト云フ考へハ、實ハ持ツテ居リマセヌ、寧ロ私ノ方デハ、今金屬部門ニ付テノ統制會ヲ出來ルダケ急イデ設立セシム、是ノ内容ヲ充實シテ行ク積リデアリマスガ、是ハ言フマデモナク金屬ノ方ニ付キマシテハ、鑛山ト精鍊所ガ一緒ニナツテ此ノ統制會ヲ作ル譯デアリマシテ、今御話ノヤウナ賣鑛規程ノ非常ナ不公正デアルトカ、或ハソレガ現實ニ中小鑛山ノ增産ヲ妨ゲテ居ル、若シクハ增産ノ刺戟ニ十分デナイト云フヤウナ内容ノモノニ付キマシテハ、統制會ト協力致シマシテ、今御質問ノ趣旨ハ相

考ヘテ居リマスノデ、今直チニ之ヲ國家管
理ニシヨウト云フ風ナ考ヘハ持ツテ居リマ

セ
又

○小林(房)委員 精鑠所ヲ國家管理ニナサルト云フ考ヘガナイナラバ、賣鑠契約ニ對シテハ政府ハ相當ニ公平ナル干渉ヲシテ行カナケンレバナラスト思フ、ト云フコトハ中小鑠山ガ出ス所ノ鑠石ヲ何處へ持ツテ行クカト言ヘバ、アル特定ノ精鑠所ニ持ツテ行ク

ヨリ他仕方ガナイ、然ルニ其ノ精錬所が勝手ナ賣鑛契約デ抑ヘ付ケテ行クト云フコトニアツタナバ、中小鑛山ハ泣イテシマフデ云フコトハ當リ前デアリマス、デアリマスルカラ、國家管理ニセナイ以上ハ、賣鑛契約ニ對シテ國家ガ相當ノ干渉ヲシテ適切公平ナル契約ヲ結バシメルト云フコトデナケレバ、中小鑛山ノ開發、生産ノ増強ト云フコトハ出來ナイノデアリマス、之ニ對シテ御干涉ヲナサツテ、適當ナ方法ヲ御講ジニナル御考ヘガアルカドウカト云フコト、モウ一つハ、統制會ガ出來レバ相談ヲスルト云フコトデアリマスルガ、其ノ統制會ノ指導者ハドウ云フ所カラ出ルノカ、是ハ色議論モアルシ、御考ヘモアルグラウト思フガ、是ガ今マデ中小鑛山ヲ食ツテ來テ居ツタ財閥ノ關係者デアルナラバ、是ハ御相談ヲナサルニシテモ不公平ナ結果ニ陥リハセヌカト云フコトヲ私ハ惧レル、指導者トシテノ統制會ノ會長ト云ヒマスカ、理事長ト云ヒマスカ、是ノ入選ニハ餘程慎重ナ態度ヲ御執リニナラスト、相談スル相手ガ之ヲ食フ所ノ系統ノ人デアルト云フコト

ノ人選ニ付テハ、私共國家的見地カラ特ニ
慎重フ期シテ、今御話ノヤウナコトノナイ
ヤウニ、十分考ヘテ行ク積リデアリマス、尙
ホ賣鑄條件、又現實ノ買上ノ値段ノ算出ノ
基礎トナル資料ノ採取等ニ付キマシテハ、
實ハ帝國鑄發ヲシテ之ヲ行ハシメルコトニ
シテ居リマシテ、茲ニ正確ナル分析トカ、
或ハ「サンプリング」ノ方法トカ云フモノヲ
決メテ居リマシテ、之ヲ御利用下サレバ決
シテ自分ノ持ツテ來ル精鍊所ニ付テ、勝手ニ
色々ナコトヲ決メルト云フコトニナラナイ
ヤウナ方法ヲ立テテ居リマスカラ、之ヲ御
利用願ヒタイト思ヒマス

○小林(房)委員 只今帝國鑄發ニ御任せニ
ナツテ居ルト云フコトデアリマスガ、現實
ニ於テハ中々サウハ行ツテ居ラナイ、帝國
鑄發ガ精鍊所ヲ持ツテ居ルナラバ、ソレハ
國策會社ガ持ツテ居ルノダカラ宜イデセ
ウ、併シナガラ帝國鑄發ハ精鍊所ヲ持ツテ
居リマセス、或ハ持ツテ居ルカモ知レマセ
ヌガ、マダ働イテハ居ナイノデアリマス、
精鍊所ハ皆財閥ガ持ツテ締メ括ラレテ居マ
スカラ、中々サウハ行カヌノデアリマス、
ソコデ此ノ點ハ政府トシテモ、或ル程度干
渉ヲ加へテ行カヌト云フト、是ハ増産ニナ
ラナイト思ヒマスカラ、此ノ點特ニ御注意
ヲ御願ヒ致シマス

○横川委員長 次ハ松尾四郎君

○松尾(四)委員 私ハ成ベク簡單ニ此ノ法
案ニ付テ御尋ヲ申上ゲタイノデアリマス、
此ノ法案ノ狙ヒ所ハ、先程來委員諸君カラ
ノ御質問ニ依リマシテ大體分ツタノデアリ
マスガ、マダドウモ「ペール」ニ包マレタ申
ノモノヲ見ルト云ツタヤウナ感ガ致シマス、
ソレデ事柄ヲハツキリ申サレナインデア

リマシテ、ドウ云フコトヲヤルカト云フ、
ヤリ方ハ言ツテ居ラレマスガ、今對象ニナ
ツテ居ルモノヲ御説明ニナラナイノデ、ド
ウモ私ニハハツキリシナイ、併シナガラ是
ハ軍機ニ關係スルヤウナコトカトアツテ、祕
密ニスルト云フ必要ガアラウト思ヒマスガ、
差支ヘナイ限り斯ウ云フコトヲスルノダト
云フコトニ付テ、考ヘテ居ラレル點ヲ言ツ
テ戴ケレバ大變結構ナコトカト存ジマス、
ドウ云フコトヲスルノデアルカ、ソレヲ言
ツテ貴ヘナイカト云フコトヲ御願ヒシタイ
ノデアリマス、ソコデ私ハ茲ニ一ツ事實ヲ
擱ヘテ、ソレヲ申上ゲテ見タイト考ヘマス
ガ、第一先程ノ岡崎君ノ質問ニ對シマシテ
ノ御答ニ依リマスト、纖維工業等ノ大工場
ヲ改造成サレテ、之ヲ軍需工場ニ充テルト云
フ考ヘ方ガ大部分ニアリマシテ、即チ大キ
ナ方面ニ之ヲ運用サレルト云フ考ヘナノデ
アリマスガ、私ハ未動遊休設備ノ中ニハ、
眞ニ國家ノ爲ニ間ニ合フモノデアツテモ、
資材ガナイノデ、現ニ完成シテ居リマスガ、
運用ガ付カナイデ、全ク遊休狀態ニアルト
云フヤウナモノガ、餘り大キノモノデハナ
イ、所謂中小ドコロノ相當ナモノガアルト
思フノデアリマスガ、斯ウ云フモノモヤハ
リ集メテ、今度ハ或ル一箇所ニ集メルトカ、
或ハソレフ國家ノ運營ニ依ツテ運行セシメ
ルト云フヤウナコトニオヤリニナル御考ヘガ
アリマスカ、ドウデアリマスカ伺ヒタイ、モ
ウ一つハ或ル工業會社ガ精鍊所ヲ建設シテ、
大體出來上ツテ居ルノデアリマスガ、資材
ガ南洋或ハ外國等カラ來ルヤウナモノガア
ルノデ休息ニデ居ルト云フカ、少クトモ半分
ハ遊休シテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、
サウ云フノモヤハリ統合サレテ、ソレヲ今

小林君ノ言ハレタ他ノ新シイ設備ノ方ニ運用サレルト云フヤウナコトモオヤリニナルカ、サウ云フ方面ニマデ入ルカ入ラナイカト云フコトヲ伺ヒタイ。

○岸國務大臣 此ノ營團ハ大工業ノ方面ニ於ケル未動遊休施設ヲ對象トシテ考ヘテ居ルノデアリマシテ、中小企業、工業方面ニ於ケル未動遊休ノ施設等ニ付キマシテハ、更生金庫ガ之ヲ對象トシテ、略、同ジヤウナ活用ノ途ヲ圖ルコトニ相成ルト思ヒマス、又精鍊所ノ問題ハ、勿論此ノ未動遊休施設ノ部分ニ對シテノ是ガ活用ノ對象トシテハ、此ノ營團ガ考ヘテ居ル譯デアリマス。

○松尾(四)委員 ソレデハ私ガ先ニ申シマシタヤウナ中小工業のナモノハ全然御取扱ニナラナイト云フコトニ承知シテ宜シイノデアリマスカ

○岸國務大臣 此ノ營團デハ取扱ハナイ、斯ウ御承知ヲ願ヒマス

○松尾(四)委員 次ニ私ハ本案ノ條文ニ付テ一二伺ヒタインデアリマス、營團ト云フモノハドウモ少シ私ハ理解ガシニクイノデアリマシテ、株式會社デモナク、又役所デモナイヤウデアリマスガ、是等ニ從事サレル役員或ハ從業員、詰リ社員デスカ營團員デスカ、是等ノ人ハ經理統制令ニ依リマスト、役員ノ報酬ガ皆規定サレテ居リマスガ、會社ノ從業員ニ對シテモサウ云フヤウナモノガ基準ニナツテ、報酬、賞與等ヲ定メラレテ居リマスガ、斯ウ云フモノハ經理統制令ニ嵌メラレテ行クモノデスカ、ドウ云フ風ニ是ハ取扱ツテ行クノデアリマスカ

○神田政府委員 營團ト云フ言葉ハ最近ニ三使ハレテ居ルノデアリマスガ、結局之ヲ法律的ニ考ヘテ見マスト、所謂經營財團

ト云フ字義ノ略稱ト考ヘテ居ルノデアリマシテ、私法人ノ財團ニ近イ性格ヲ持ツテ居ルモノト考ヘテ居リマス、併シナガラ私法人デアリマシテ、公益性ノ相當強イ法人大アリマス、併シナガラ私法人トノ中間ニ立ツヤウナ性格ヲ持ツテ居ルモノ、斯様ニ考ヘル譯デアリマス尙ホ御尋ネノ役職員ガ經理統制令ノ適用ヲ受ケルカドウカト云フ御質問ニ對シマシテハ、同法令ハ會社ニ適用スル建前ニナツテ居リマスノデ、本營團ニハ適用ノナイト云フ風ニ御考ヘ願ヒタイト思ヒマス。

○松尾(四)委員 今ノ説明ハ少シ聽キニクカツタノデアリマスガ、經理統制令ハ會社ニ適用スルノデアツテ、是ハ會社デナイカラ經理統制令ハ適用シナイト云フ意味デゴザイマスカ。

○神田政府委員 法律上經理統制令ノ適用ハゴザイマセヌ、併シ斯ウ云フ官廳ノ監督ヲシテ居リマス法人ニ付キマシテハ、他ノ組合等デモ左様デゴザイマスケレドモ、大體經理統制令ノ趣旨ニ副フヤウニ指導ヲ致シテ居ルノデゴザイマス。

○松尾(四)委員 ソコデモウ一つ此ノ條文ハゴザイマセヌ、併シ斯ウ云フ官廳ノ監督者ヲシテ居リマスガ、經理統制令ハ會社ニ適用スルト云フ場合ヲ考慮シテ、政府ト云フ言葉ヲ使ツタ譯デアリマスカ、政府ト云フ言葉ヲ使ツテ居ル譯デアリマス。

○松尾(四)委員 サウ致シマスト、監督者ハ外地ニ於テハ外地ノ政府トナル譯デアリマスカ、外地ニ適用スルカラ特ニ分ケタノデスカ、政府ト云フ字ヲ使ツタ譯ハ、外地ハ監督者ガ變ル爲ニ政府ト云フ字ヲ使フノデアリマスカ。

○松尾(四)委員 變ル場合ガアリマスノデ、ヲ参考資料トシテ御出シニナツタモノト比較シテ見マスト、此ノ營團法ノ第三十四條ニ「產業設備營團ハ政府之ヲ監督ス」トアリテモ、第三十三條ニ「住宅營團ハ主務大臣之ヲ監督ス」トアリマス、又庶民金庫法案ニ於知シテ宜シウゴザイマスカ、若シサウデア

キマシテモ、「庶民金庫ハ大藏大臣之ヲ監督ス」トアツテ、是ハ特ニ大藏大臣ト指定シテアリマス、ソレカラ帝都交通營團ノ方ニモ、「主務大臣之ヲ監督ス」トナツテ居リマス、然ルニ特ニ此ノ法案ニ限リ政府ト書カレテ居ルノハドウ云フ譯デアリマスカ。

○神田政府委員 本案デ特ニ政府ト書キマシタ所以ハ、本法ヲ場合ニ依リマシタラ外地ニモ適用致シマシテ、朝鮮、臺灣等ニアリマス遊休未動設備ヲ買フ、又積極的ニ向フデ建設ヲスルト云フヤウナ事業ヲナラ場合ヲ考慮致シマシテ、ソレデ政府ト云フ言葉ヲ使ツタ譯デアリマス、要スルニ本法令ヲ將來外地ニ適用スルト云フ場合ヲ考慮シテ、政府ト云フ言葉ヲ使ツタ譯デアリマス、他ノ法令デハ適用地圖ガ内地ダケデアリマスカラ、主務大臣ト云フ言葉ヲ使ツテ居ル譯デアリマス。

○松尾(四)委員 サウ致シマスト、監督者ハシテモ宜イト思フヤウナ者ガ澤山出ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、サウスルト殊ニ最近國策會社ガ澤山出來テ來テ、ナ者ガ多イデハナイカト思フノデアリマス、特ニ此ノ事ヲ申上ゲマスノハ、最近ノ國策會社ニハ、ドウモ監督ノ責任ガ取レテ居ラスノデアリマス、他ノ省ニ關係シテ居リマスカラ、餘リ此處デハ申上ゲマセヌガ、甚ダシキニ至ツテハ、監督ヲスル者ト國策會社ノ役員トガ結托シテ居ルノデハナイカトマデ思ハレルモノガアリマスガ、役員ガ而モ公益ヲ害スルヤウナ行爲ヲナシタ者ニ對シテモ「解任スルコトヲ得」ト云フ是ダケノウ云フ未動遊休設備ヲヤハリ此ノ法案ニ依テ運營セラレルト云フ御考ヘガアルト承テ居ル譯デアリマス。

○松尾(四)委員 ソレデハ外地ニ於テモ斯ノデ、法律上デハ政府ト云フ言葉ヲ使ツテ居ル譯デアリマス。

○松尾(四)委員 サウ致シマスト、監督者ハ外地ニ於テハ外地ノ政府トナル譯デアリマスカ、外地ニ適用スルカラ特ニ分ケタノデスカ、政府ト云フ字ヲ使ツタ譯ハ、外地ハ監督者ガ變ル爲ニ政府ト云フ字ヲ使フノデアリマスカ。

○松尾(四)委員 變ル場合ガアリマスノデ、ヲ参考資料トシテ御出シニナツタモノト比較シテ見マスト、此ノ營團法ノ第三十四條ニ「產業設備營團ハ政府之ヲ監督ス」トアリテモ、第三十三條ニ「住宅營團ハ主務大臣之ヲ監督ス」トアルノニ、特ニ此ノ法案ニ限リ政府ト書カレタノハドウ云フ譯デスカ、今日マデノ法案ヲ調べテ見マスト、全部殆ド主務大臣トアリマス、住宅營團法ニ於キマシテモ、第三十三條ニ「住宅營團ハ主務大臣之ヲ監督ス」トアルノニ、特ニ此ノ法案ニ

ルナラバ、今回ノ計畫ニソレガ入ツテ居ル、入ツテ居リマセヌカ、先程約十幾億圓ト云フヤウナ計畫ヲ話サレマシタガ、其ノシテアリマス、農地開發營團ノ方ハ非常ニ嚴重ニ取扱ツテマス、然ルニ特ニ此ノ法案ニ限リ政府ト書カレテ居ルノハドウ云フ譯デアリマスカ。

○神田政府委員 先程御説明致シマシタ計畫ノ中ニハ、外地ノモノハ入ツテ居リマセス、法令上外地ノモノモヤリ得ル餘地ヲ残シテ置イタノデアリマス。

○松尾(四)委員 モウ一點伺ヒマス、本法案ノ第三十八條ニハ「役員ガ法令、定款若ハ政府ノ命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行為ヲ爲シタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ五千

円以下ノ罰金ニ處ス」ト云フ非常ニ嚴重ナル懲罰ノ規定ヲ決メテ居ル、此ノ大キナ金額ヲ取扱ハレルノニ、今ノ商工省ノ御關係ノ中ニハ左様ナコトハ絶対ニアリ得ナイト得」トアリマス、役員ガ法令、定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルヤウナ拘ニ許スペカラザルコトヲヤツテモ、政府ハ之ヲ解任スルコトヲ得デ、解任ダケスレバモウソレデ宜ヤウニナツテ居リマスガ、解任サレル位ノ懲罰ヲ受ケルノナラバ、少々惡イコトヲシテモ宜イト思フヤウナ者ガ澤山出ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、サウスルト殊ニ最近國策會社ガ澤山出來テ來テ、ナ者ガ多イデハナイカト思フノデアリマス、特ニ此ノ事ヲ申上ゲマスノハ、最近ノ國策會社ニハ、ドウモ監督ノ責任ガ取レテ居ラス時ニ、此ノ規定ハ餘リニモ緩漫ナヤウニ思フノデアリマスガ、ソノ點ニ付テドウ云フヤウニ御考ヘニナリマスカ。

○神田政府委員 此ノ營團ノ役員ガ刑事上ノ問題ニ觸レルヤウナ事項ヲヤリマシタ場合ニハ、ソレハ當然罰ヲ受ケル譯デゴザイマスガ、サウ云フ刑法上ノ問題ニ觸レナイ

範圍デ仕事ヲ行ツタト云フ場合ニ於キマシテハ、之ヲ刑事的ニ扱フト云フノハ少シ罪が重過ギルノデアリマシテ、他ノ法令トノ

關聯等モ考慮シマシテ斯ウ云フコトニ致シタノデゴザイマスガ、他ノ法令ノ中デ今ノ御引用ニナリマシタ他ノ營團ノ御話デゴザ

イマスガ、自ラ營團ノ性質ガ異リマシテ、此ノ設備營團ニ於キマシテハ所謂第三者トノ間ニ何等ノ強權關係ハ持タナイノデアリマシテ、唯單ナル私法上ノ契約ニ從ヒマシテ動クグケノ仕事デゴザイマスノデ、サウ云フ意味ニ於キマシテ此ノ役員ニ付テハ先程御讀上ゲニナリマシタヤウナ收賄其ノ他ノ事項等モ規定ヲ致サナカツタ譯デゴザイマス、同ジ營團デモ統制的ノ仕事ヲヤリマスヤウナ營團デゴザイマストサウ云フヤウナ強イ罰則ガ出テ參ル場合モアリマスケレドモ、此ノ設備營團ニ於キマシテハ只今申上デマシタヤウナ性質ノモノデゴザイマスノデ、此ノ程度ノコトニ致シタノデアリマス○松尾(四)委員 私ハ農地開發營團ニアリマスルヤウナ職務ニ閣シ賄賂ヲ收受シタ者ニ對スル懲罰規定ト云フヤウナコトマデ決メヨウト云フノデハアリマセヌケレドモ、公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタル時——苟クモ官吏ニ相當スル職務ニ關シテ居ル者ガ公益ヲ害スル行爲ヲシテ、其ノ職務ノ解任ダケデ事ガ足ルト云フヤウナコトヲシテ置イテハ、私ハ今ノ商工當局ノ方ニ於テ左様ナコトヲナサルトハ絶對ニ考ヘマセヌケレドモ、併シ是ハ法案トシテハ他ノ營團法案トノ比較上ニ於キマシテモ、如何ニモ此ノ文字ハ此ノ儘看過ジ得ナイヤウニ思フノデアリマスガ、今政府委員ノ御述ベニナリマシタ收賄ヲシタヤウナ場合ハ無論刑法上ノ規定デ處分サレルノデアリマスカラソレヲ書ケトハ申シマセヌケレドモ、苟クモ定款ニ違反則トシテハ餘リニモ緩漫ナヤウニ感ジマスガダウデセウカ

大體役職員ト云フモノガ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタル時ニハ之ヲ解任スルト云フ程度ニナツテ居リマスノデ、前例ヲ重ンジマシテ斯様ニ規定シタノデアリマス、尙ホ公益ヲ害シマシタ場合ニハ他ノ刑法上ノ問題ニナルト云フ場合ガ多イデアラウカト考ヘルテモ必ズシモ役員ガ職ヲ辭メケレバナラスト云フ結論ニハ規定ガアリマセストナリマセヌノデ、サウ云フ場合ニハ刑法上ノ問題ノ外ニ役員モ辭メナケレバナラヌ、辭メサスト云フコトヲ規定シタノガ本條ノ趣旨ダト考ヘマス

○松尾(四)委員 私ハ今ノ説明デハドウモ納得出来マセヌガ、次ノ方ノ質問時間ノ關係モアリマスカラ、是デ第三十八條ニ對スル質疑ハ止メテ置キマス、ソコデ尙ホ此ノ運營ニ付テ毛ウ一點伺ヒタイデスガ、ソレハ此ノ未動設備或ハ遊休設備ヲ統合シテ、之ヲ運營ナサル場合ニ於テハ、其ノ設備ニ對シテ評價ヲシナケレバナラヌト思フ、其ノ場合ニ於テハ先刻大臣カラ、設備ノ統合ノ場合ニ於テハ總動員法ヲ發動シテ強制的ニ收用スルト云フ御辯擧ガアリマシタガ、サウスレバ總動員法ニ依ツテ定メラレテ居ルノデスカラ強制シテ收用ハ出來ルデアリマセウガ、其ノ場合ニ評價ナサル場合ニハ評價委員會デモ設ケテヤラレルノデアリマスカ

○岸國務大臣 御承知ノ通り評價委員ヲ設ケテ一定ノ評價ヲサセル積リデアリマス

○松尾(四)委員 サウ云フ規定ハ總動員法ノ時ニ才定メニナリマスカ、是ニハ附イテ居リマセヌガ……

リノ場合ニ於テモ御承知ノ通り評價委員會ヲ設ケテ評價ノ基準ヲ定メテ居リマス、是モ別ニアノ法律ニ根據ヲ持ツテ居リマセヌノデ、此ノ法令ニ直接根據ガアリマセヌデモサウ云フ實際ノ扱ヒトシテ、サウ云フ運用ヲシタイト思ツテ居リマス

○小林(房)委員 關聯シテ伺ヒマスガ、先程ノ役員ハ公務員デスカ

○神田政府委員 公務員デハアリマセヌ

○小林(房)委員 ソレデハ官吏ニ對スル規定ヲ準用デモサレルヤウナコトハアリマセヌカ

○神田政府委員 アリマセヌ

○横川委員長 大分時間モ過ギマシタガ、一ツ御勉強ヲ願ヒマシテ更ニ質疑ヲ續ケタ

イト思ヒマス——福田闢次郎君

○福田(闢)委員 私ノ質問セント致シマスルコトハ同僚諸君ニ依ツテ大體質問ヲナサレタ點ガ多イヤウニ思ヒマスカラ、私ハ本營團ノ設ケラレマスルニ當リマシテ、其ノ一步トシテ先づ商工省ノ此ノ戰時體制下ニ於ケル產業新體制ニ於ケル根本ノ御方針ヲ一ツ承ツテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ今日此ノ事變下ニ於キマシテ、資材ノ減少ト共ニ、御承知ノ通り商工業共ニ非常ナル苦境ニ沈淪シテ居ルノデアリマスガ、ハ一何デアルカト申シマスト、斯ウ云フ國策的ノ、例へバ此ノ產業營團ナリ色々ナモノモ出來テ、其ノ御心構ヘハ多ト致シマスガ、事實ニ於テドウモ今日ノ此ノ非常時國家ヲ背負フニ於テ、國民ノ負擔所謂義務

シナイカ、此ノ點デアリマス、ソレハナゼ
カト云フト、今日ノ事變ノ結果ト致シマシ
テ工業者、商業者共ニ其ノ職域ト云フモノ
ヲ奪ハレルノデアリマス、然ルニ農村方面
デハ、肥料其ノ他ノ人的資源ハ多少ノ減少
ヲ來シタト雖モ、眞ニ職域ニ奉公セント致
シマスニハ、何等其ノ職域ヲ奪ハレテ居ラ
ナイ、然ルニ都市ノ工業、商業方面デハ
其ノ職域ヲ悉ク奪ハレルト云フコトニ
ル、然ルニ之ニ對シマスル政策ト云フモノ
ガ、商工省ヲ中心ニ全ク閑却サレテ居
ルノデハナイカ、是デハ、例ヘバ本營團
カラ見マシテ、一部ノ軍需資材ノ生産
擴充ノ目的ハ達セラレマセウガ、一面國內
ニ於ケル國民ノ舉國一致的ノ體制強化ハ缺
ケテ來ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ商工
省ノ御政策ト云フモノガモウ一步進ンデ貰
ハナケレバナラヌノデハナイカ、今臨時議
會ニハ共助金トシテ大藏省、商工省、農林省
ガ御協議ニナツテ、年額三百圓ヲ限ツテ、サ
ウシテ其ノ方ノ組合ト共同シテ三百圓、合
計六百圓ヲ給與スルト云フコトノ案ガ出タ
ヤウデゴザイマス、是モ其ノ一つノ現ハ
レシシテ多ト致シマスガ、是等ニ要シマス
費用ト云フモノハマルデ寥々タルモノニア
ル、然ルニ農村ノ方ハ、固ヨリ米穀增産、
食糧増產ノ必要ハアリマスケレドモ、今期
議會ニ提出サレテ居ル所ノ豫算八十數億ニ
及ンデ居ルノデアリマス、然ルニ此ノ千數
百万ニ上ル中小商工業者ヲ此ノ戰時下ニ於
テ救濟致シマスル費用ト云フモノハ幾許ヲ
御計上ニ相成ツテ居リマスカ、同ジ 陛下

上ニ於テ非常ニ憂慮スベキモノガ出來ルト
私ハ思フノデアリマス、現ニ東京ニ於ケル
魚問屋其ノ他ノ廢止等ニ依リマス所ノ驚イ
タ空氣ヲ私ハ感知シテ居ルノデアリマス、
商工當局モ定メテ之ヲ御感知ニナツテ居ル
デアリマセウ、是等ノ如キハ、ヤハリ今日ノ
事情カラ申シマシテ、此ノ職業ヲ失ヒマス工
業者ニシテモ商業者ニシテモ、其ノ職業ヲ
失フ所以ト云フモノハ、自己ノ怠慢デハナ
イ、自己ノ不注意ノ結果ヨリ生ジタモノデ
ハアリマセヌ、國家目的完遂ノ爲ノ犠牲者
デアリマス、然ラバ國家トシテ相當ナル責
任ヲ以テ是等ノ者ニ向ツテ對處シナケレバ
ナラヌノデハナイカ、斯ウ私ハ思フノデア
リマス、ソコデ私共ノ考へカラ致シマスレ
バ、是等ノ目的完遂ノ爲ニ一體政府ハドウ
云フ御考ヘヲ御持チニナツテ居ルノデアリ
マセウカ、過般來商工當局ノ御話ヲ聞キマ
スト、國家ノ現勢ニ於テ一部ノ犠牲ハ已ム
ヲ得ヌト云フコトヲ言ツテオイデニナリマ
ス、唯其ノ位ノ簡單ナコトデ凡テヲ解決サレ
ヨウト思フノデアリマセウカ、此ノ點一ツ
政府ノ根本方針ニ付テ御伺ヒシタインデア
リマス、商工業者ノ再編成ノ結果ト云フモ
ノニ依リマシテハ、今言フヤウニ國民ノ職
域ガ奪ハレルノデアリマスカラ、之ニ對シ
マシテハドウシテモ方策ヲ確立スル必要ガ
アルト思フノデアリマス、而モ是等數百万
ノ人々ガ路頭ニ迷ヒマス、ソレハ何故カト
結果、殘存スルモノト職域ヲ失フ者トガア
リマス、ソレニ對シテ今數百万圓ノ金ヲ御
要求ニナツタヤウナコトデハ、到底是ハ如
百圓ヅツ御與ヘニナルト云フノハ、農林省ノ
方ニ關係ノ多イヤウナモノガヤハリアルノ
デハナイカ、私ハサウ云フコトヲ聞イテ居
ト云フコトニナル、此ノ間カラ商工省ノ御
意向ヲ承リマスルト、再編成ノ一つノ理由
轄ニアリマスルモノハ殆ド是ハ顧ミラレヌ
ラシテ、其ノ勞務動員ノ人ガ要ルカラ中小
工業ノ方ヲ整理シテ、是等ノ者ヲ以テ勞務
ノ途ニ就カシムル爲デアルト云フヤウナ御
意向ヲ承ツテ居ルノデアリマス、是等ハ固
ヨリ資材ガ少ウアリマスカラ、整備シナケレ
バナラヌコトハ言ヲ俟チマセヌ、併シナガ
ラ、ドウモ商工省ノ方針ガ、勞務動員計畫
ノ上ニ於テ人ガ足りスカラ、此ノ方面ヲ整
理シテ、之ニ依ツテ勞務者ヲ得ヨウト云フ
コトデアルト云フコトヲ私共ハ承ツテ居ル
ノデアリマスガ、斯クノ如キ單純ナルコト
ニ依ツテ今日ノ中小工業及び一般工業方面
ノ統制強化ガ行ハレルト云フコトニナリマ
スルト、是ハ大變ナコトデアリマシテ、眞
ノ產業新體制構成ノ上ニ於キマシテモ私共
ハ斷ジテ默認スルコトノ出來ヌモノデアル
ガ、是等ニ對シテハ岸商工大臣ハ定メテ何
カノ御考ヘガアラウト思ヒマスガ、此ノ新
體制ノ構想ト云フモノガ、唯サウ云フ勞務
計畫ノ爲ニト云フヤウナ單純ナコトダケデ
ハ濟マナイノデハナイカ、ソレニ集中サレ
テハ相成ラヌデハナイカ、其ノ殘存職域離
脱者ニ對スル安定ノ道ガ確立サレナケレバ
ナラヌ、是ハ今申シマスルヤウニ、國策完
遂ノ爲ノ犠牲者デアリマス、世界各國ノ戰

時經濟體制ヲ見マシテモ、斯ウ云フモノヲ
抛棄シテ顧ミナイト云フヤウナ國ハ私ハ文
明國家ニハナイト思フ、ソコテ此ノ商工業
者ノ多數ノ生活ト云フモノノ安定、前途ノ暗
澹タルモノヲ除去スルト云フコトガ本當ノ
國家體制強化ノ中心ヲナスマノデアルト言
ハナケレバナリマセヌ、今日決議ニナリマ
シタ所ノ政府激勵ノ決議案ニ致シマシテモ、
ヤハリ一絲亂レズ舉國一體トナリマシテ此
ノ非常時國家ニ當ルノデアリマスガ、此ノ
當ルニ當リマスルヤ悉ク平等デナケレバナ
ラヌ、而モ農村ノ子弟ダケガ第一線ニ立ツ
テ奉公ノ武勇ヲ果サレルノデアリマセヌ、
中小商工業者ノ子弟モ悉ク第一線ニ立ツテ
國家ノ爲ニ犠牲ニナツテ居ルノデアリマス、
是等ノ者ガ歸ツテ來タ時ニ、數年間ノ中ニ
自己ノ業ガ既ニ止ンデ戸ガ閉ツテ居ル、實
ニ彼等ノ起ス思想ト云フモノハ、私共ニハ
幾ラ訴ヘテ來ルカ知レマセヌガ、恐ルベキ
モノガ存在シテ居ルト云フコトヲ御痛感相
成ツテ居ルト思フノデアリマス、是等ニ對
シマシテ、今マデノヤウナ僅カナ唯申譯的
ナ御政策デハ、私ハ此ノ非常時國家、國民
生活ノ安定確保ト云フコトハ斷ジテ出來得
ナイト思フ、ソレ等カラ國家内部のニ恐ル
ベキ結果ガ來ルト云フコトハ眞ニ今日ノ體
制強化ヲ圖ル所以デハナイ、ダカラ一ヲ見
ルト共ニ其ノ反面ヲ見テ戴カナケレバナラ
スト思フノデアリマス、今日整理統合ト云
フヤウナコトニ邁進シテ利ヲ見テ信ヲ忘レ
ルヤウナコトガアツテハ大變ナコトデアリ
マスカラ、ヤハリ目的ヲ完遂スルト共ニ反
面ヲ見テ是モ亦同一ニ完璧ヲ期シテ戴クト
云フコトガ商工行政ノ中心トセラレナケレ
バナラスト私ハ思フノデアリマス、而モ非

常時ト申シマスガ、此ノ非常時ハ平常化シ
タ非常時デアリマス、今マデ日清、日露ノ
戦争ノ如キハ一年有半ヲ以テ事終レリデア
リマスカラ、眞ノ非常時ハ僅カデアリマス、
今日ハ既ニ四年有半ヲ費シテ前途マダ暗澹
トシテ見込ハ付キマセヌ、然ラバ此ノ非常
時非常時ト云フコトハ平常的非常時デアリ
マスカラ、一時ニ生ジタ非常時トハ異ツタ者
ヘヲ以テ是ガ對策ヲ御確立ナサルト云フコ
トガ必要デアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ
根本ノ方針ニ付テ商工大臣ハ如何様ナ御信
念ト御理想ヲ御持チニナツテ居リマスカラ
先ヅ第一ニ承ハリタイ。

○岸國務大臣 中小商工業ノ再編成ノ問
題、隨テ是カラ生ズル轉廢業ノ問題ハ、現
下商工行政中ニ於キマシテ最モ深刻ナ重要
ナ問題デアルト私ハ痛感致シテ居リマス、
此ノ點ニ於テ福田委員ノ御質問ト全然同感
デアリマス、而シテ斯ノ如キ事態ニナリマ
シタ事柄ガ、決シテ統制ノ爲ノ統制、又ハ
再編成ノ爲ノ再編成ト云フコトカラ來テ居
ル譯デハアリマセヌ、御承知ノ通り戦時經
濟遂行上國防國家體制ヲ急速ニ整備セネバ
ナラヌ必要カラ起ツテ來テ居ル事態デアリ
マス、御指摘ノ通り、業者ノ怠慢ヤ是ノ失敗
カラ生ジテ來タモノデナイコトハ言フ所俟タ
ナイノデアリマス、國家ノ直面シテ居ル事態カ
ラ來ル已ムヲ得ザル事柄デアリマス、私共ハ
此ノ問題ガ如何ナル原因カラ來テ居ルカト
云フコトヲ考ヘル毎ニ、是等ノ轉廢業ヲ餘儀
ナクセラレル人々ニ對シテ國家ガ如何ナル
方策ヲ執ルベキカト云フ事柄ヲ眞剣ニ考ヘ
サセラレルノデアリマス、從來サウ云フ點
ニ付テ十分ナ施設ガ行ハレテ居ナカツタト

付キマシテハ今後特ニ考ヘテ參リタイ、斯爲ニ斯ウ云フ再編成ヲシ、若シクハ轉廢業ヲ餘儀ナクセシメル如ク言フ人モアルノデアリマシテ、今御指摘ニナツテ居リマスガ、私共ハ決シテサウ考ヘテ居リマセヌ、今申シマシタヤウナ國家ノ現實ノ必要カラ起ツテ來テ居ル譯デアリマシテ、決シテソレ等ノ人々ノ勞務ヲ動員スル爲ニ先祖代々ノ職域ヲ離レシムルト云フ考ヘ方デハナイノデアリマス、唯斯クノ如クシテ從來ノ職域ヲ離レタ人々ニ對シテ單ニ社會政策的ニ之ヲ扱フバカリデハナクシテ、是等ニ對シテ國家有用ノ生業ヲ與ヘルト云フ意味ニ於キマシテ色々勞務動員ノ問題モ具體的ニ考ヘテ居リマスガ、此ノ目的ノ爲ニ職域ヲ失ハシムルモノデナイト云フコトヲハツキリ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、尙ホ中小商工業者ヲシテ今マデ申シマシタヤウナ事態ニ於テ職域ヲ離レザルヲ得ナイト云フ者ニ付テノ生活ノ少クトモ最小限度ヲ確保スルト云フ事柄ハ、是ハ絶對ニ必要デアラウト思ヒマス、更生金庫ガ完全ニ活動致シテ居リマスト、從來ニ依リマシテ轉廢業スル人々ノ營業權實績權ト云フヤウナモノヲ或ル程度評價致シマシテ、之ヲ具體的設備ト共ニ買收致スコトニナツテ居リマス、併シ今日ノ所マダ是ガ實際ニ廣ク働くテ居ルト云是等轉廢業ヲ餘儀ナクサレル人々ノ少クトモ生活ノ最少限度ハ之ヲ確保スル、サウシテ居ル所ノ事態ハ急速ニ再編成ヲセネバナラスト云フ状況ニアリマスノデ、此ノ際ナ生計ノ途ヲ立テラレルマデ吾々ハ其

ノ生活ヲ保障シテ行キタイト云フ趣旨ヲ以チマシテ、從來同業者ノ共助ニ任シテ居ツタ部分ニ對シテ政府ノ分擔スル金額ヲ定メタ譯ニアリマス、是ハ本年度要求ヲスル積リデアシテ居リマスルモノハ約四百五十万圓デアリマシテ、極メテ少額デアリマスガ、今年ノ通常議會ニ來年度分ノ要求ヲスル積リデアル考ヘデアリマス、今日中小商工業ノ中配給業者等ニ付キマシテハ、食料品其ノ他農產物ノ供給業者等ハ農林省所管ニナツテ居リマスノデ、此ノ全額ガ農林、商工ノ間ニ分屬スルノハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、尙ホレドモ、將來又一タビ事態ガ變リマシテ、其ノ營業ヲ始メルト云フヤウナ場合ヲ考慮シマシテ、吾々ガ近ク公布致シ施行シヨウトスル免許制ノ實行ニ付キマシテハ、現在ノ人々ヲ登録致シテ置キマシテ、サウシテ是等ノ人々ヲサウ云フ場合ニ於キマシテハ優遇シテ、又元ノ職域ニ就カシムルト云フヤウナ考慮モ加へテ參りタイ、又御指摘ニナリマシタ應召者ノ家族等ノ問題ニ付キマシテハ、私共轉廢業ニ對シマシテハ、特別ノ考慮ヲ用ヒマシテ、成ルベクサウ云フモノニ付キマシテハ其ノ留守ニ職域ヲ失フト云フヤウナコトガナイヤウニ出來ルダケノ考慮ヲ致シテ參リタイト思ヒマス、何レニ致シマシテモ御指摘ニナリマシタ通り、此ノ問題ハ現下ノ我ガ國ニ於ケル非常ナ重要な講ジテ、苟クモ職ヲ離レテ生活ノ確保が出来ナイ、或ハ其ノ爲ニ絶望的ナ考へ方ニ陥

ル、若シクハ非常ナ不平ヲ是ガ爲ニ國內ノ戰時非常事態ニ於テ國民ノ總力ヲ發揮スル上ニ於テ、甚ダ遺憾ナ事柄デアリマスカラ、サウ云フコトノナイヤウニ考ヘテ參ルタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○福田(關)委員 只今御答辯ノ中デ商業盈許制ヲ施行シテ、サウシテ現在ハ是ガ物資シクハ資材ノ缺乏ニ依ツテ工業者モ商業者モ其ノ職域ヲ去ラナケレバナラヌ、仰セナツタノハ商業者ダケト云フ風ニ聞エマシタガ、工業者——工業者ト言ヒマシテモ、大キナノモ小サイノモアリマスガ、大體工業者ハ現存スルモノヲ全部御登録ニナツテ、サウシテ來ルベキ平和回復ノ曉ニハ、再ビ是等ニ優先權ヲ與ヘルト云フコトノ御方針デ、ソレハ商工兩方面ニ對シテノ御意圖デアリマセウカ、其ノ點ヲ承ツテ置キタリ、ソレカラ只今申上げマシタヤウニ、ドウモ商工省ト云フモノハ本當ヲ言ヘバ中小商工業ノ代表的商工省デナクテハナラヌガ、農林省ニ比較致シマスト餘リ御遠慮勝チデアル、豫算ノ御請求ニ對シマシテモ餘程消極的デアル、此ノ點ヲ私ハ長キニ亘ツテ痛感シテ居ルノデアル、農村方面ニ於キマシテハ其ノ時々ニ生ジタ所ノ冷害デアルトカ風害デアルト云フヤウナモノニモ莫大ナ金ヲ御出シニナツテ居ル、今臨時議會ニ於テ農村救濟ノ途ヲ立て、收入ガ少イカラ之ヲ補助スル、或ハ色々ナ方策ニ付テ政府ガラズノ金デアル、是ハ全ク羊頭ヲ懸ゲテ猶肉ヲ賣ルヤウニ國民ハ考ヘマスカラ、大體工想ハ承リマシタガ、實際ノ此ノ非常局ニ直面シテ居ルモノニ對シテハ、僅カ五百万圓足

大臣ノ御歎意ノアルコトモ分リマシタカラ、來ルベキ議會ニハ思ヒ切ツタル——一億數千万圓ト仰セニナリマシタガ、ソンナコトデハ到底解決ハ付カナイノデヤナイカト私ハ思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ之ヲ私ハ思切ツテヤル、一體商工省ハ豫算ノ請求ニ對シテハ非常ニ消極的デアル、農林省ト相對シテ——中小商工業ヲ加ヘマスト一千數百万人アリマスガ、是ガ我ガ日本經濟ノ中心デアリマス、之ヲ閑却サレテハ私ハ商工行政ト云フモノハ殆ドナイト云フ風ニ思フノデアリマス、而モ只今申上ゲマシタモノハ、國家全體ノ非常時ノ犠牲トナツタノデアルカラ、之ニ萬全ナル策ヲ施サレテ、サウシテ彼等國民ガ圓満ニ之ヲ諒承シテ、固ヨリ此ノ非常時局デアルカラ自分ノ命マデモ提供スル際デアリマスカラ犠牲ハ覺悟シテ居リマスガ、今日ノ都會附近ノ農村ナント云フモノハ、夫婦二人デ子供ガ一人働ケバ二三千圓残ルト云フコトデアル、ソレハサウデセウ、今日ハアレダケ食糧ガ足ラヌ爲ニ加工ラスレバ大變高ク賣レマス、サウシテ賣ラナクテモ買ヒニ來テ吳レル、今マデハ市場ナンカニ運搬シタモノデアリマスガ、野菜類デモ莫大ナ經濟價值トシテ現ハレテ居リマス、ソレ等ト比較致シマシテ、此ノ中小商工業者ガ其ノ日／＼ノ職ヲ失ヒ、サウシテ門戸ヲ鎖シテ家デ蟄居シテ、其ノ考ヘル所ノ精神狀態ハ如何ナル考ヘデアリマセウカト云フコトヲ、國家ノ政治ヲ行ヒマス者ハ常ニ御考ヘニナツテ圓滿ナル解決ヲ願ツテ、是ガ對策ヲ講ジテ戴クト云フコトニ御努力ヲ願ヒタイ、尙ホ其ノ御覺悟ヲ促シタイト思フノデアリマス尙ホ中小商業ノ問題デアリマスガ、近

時通俗ニ言ヒマス所ノ對策ト致シマシテハ、其ノ實際ト致シマシテ全體ノ犠牲ニ於テ今仰セニナツタヤウニ共助的解決ヲ圖ルコト、ソシテハ、當面ノ救濟策トシテ残存業者全體ヲ以テ救濟金ヲ支出スルト云フ方法、ソレカラ工場店舗ノ買收等ヲ以テ犠牲者ヘノ負擔ヲ引受ケルコト、以上ノ理想ヲ持ツタ者ガ商工省ニモ私ハ相當居ラレルノデハナイカ、是ガ今日普通言ハレル所ノ中小商工業者共、助救濟ノ途デアリマス、併シナガラ是ハ理想デハアリマスガ、殘存サレタ者ガ閉店シタ者、或ハ閉鎖シタ工場ニ對スル救助ノ途ヲ立テルコトハ非常ニ困難デアリマスカラ、先程商工大臣ハ是バカリデハイカヌカラ救助金ヲ出スノダト仰シヤツタ、ソレハ結構デアリマス、併シは擴大サレナケレバナラズ、一部ニ止メテハイケナイ、今申シマシタ三點デ以テ非常時對策トシテハ宜シイノデアリマスガ、是ハオ互ニ同業者ヲシテ共助スルコトガ出來ナイコトヲ餘程痛感シナケレバナラヌ、ナゼカト云フト、殘存シタ者モ平素ノ利益デハナイ、其ノ利益ノ無イ者ガ他ヲ救濟スルコトノ出來ナイコトハ言ヲ俟タナイノデアリマスカラ、此ノ點ニ對シマスル商工當局ノ偉大ナル御決心ヲ持ツタ御救助ヲ願ハナケレバナラヌ、ソレカラ重點工業ノ勞力不足ニ商業人ヲ轉換セシムルト云フコトデアリマスガ、是ハ一つノ途トシテ宜イト思フ、所ガ當時使用サレテ居ル小僧、番頭ト云フモノハ能力ヲ持ツテ居リマスガ、一家ノ主人ニナルト最早相當ナ年輩デアツテ、今日ノ勞働條件デハ肉體的精神的ニ之ヲ許サヌ者ガ澤山アル、ソレデスカラ唯机上ノ一つノ

理想デハ到底解決ハ出來マセカラ、其ノ邊ヲ十分御考慮ニ入レラマシテ、此ノ非現時對策ヲ樹立サレタイコトヲ私ハ望ミタルカラ配給機構ノ統合ヲ脫離シタ業者ニ對シテハ、當面ノ救濟策トシテ残存業者全體ヲ以テ救濟金ヲ支出スルト云フ方法、ソレカラ配給機構ノ統合ヲ脱離シタ業者ニ對シテ唯勞働方面ヲ以テ救濟金ヲ支出スルト云フ方法、ソレカラ工場店舗ノ買收等ヲ以テ犠牲者ヘノ負擔ヲ引受ケルコト、以上ノ理想ヲ持ツタ者ガ商工省ニモ私ハ相當居ラレルノデハナイカ、是ガ今日普通言ハレル所ノ中小商工业者共、助救濟ノ途デアリマス、併シナガラ是ハ理想デハアリマスガ、殘存サレタ者ガ閉店シタ者、或ハ閉鎖シタ工場ニ對スル救助ノ途ヲ立テルコトハ非常ニ困難デアリマスカラ、先程商工大臣ハ是バカリデハイカヌカラ救助金ヲ出スノダト仰シヤツタ、ソレハ結構デアリマス、併シは擴大サレナケレバナラズ、一部ニ止メテハイケナイ、今申シマシタ三點デ以テ非常時對策トシテハ宜シイノデアリマスガ、是ハオ互ニ同業者ヲシテ共助スルコトガ出來ナイコトヲ餘程痛感シナケレバナラヌ、ナゼカト云フト、殘存シタ者モ平素ノ利益デハナイ、其ノ利益ノ無イ者ガ他ヲ救濟スルコトノ出來ナイコトハ言ヲ俟タナイノデアリマスカラ、此ノ點ニ對シマスル商工當局ノ偉大ナル御決心ヲ持ツタ御救助ヲ願ハナケレバナラヌ、ソレカラ重點工業ノ勞力不足ニ商業人ヲ轉換セシムルト云フコトデアリマスガ、是ハ一つノ途トシテ宜イト思フ、所ガ當時使用サレテ居ル小僧、番頭ト云フモノハ能力ヲ持ツテ居リマスガ、一家ノ主人ニナルト最早相當ナ年輩デアツテ、今日ノ勞働條件デハ肉體的精神的ニ之ヲ許サヌ者ガ澤山アル、ソレデスカラ唯机上ノ一つノ

理想デハ到底解決ハ出來マセカラ、其ノ邊ヲ十分御考慮ニ入レラマシテ、此ノ非現時對策ヲ樹立サレタイコトヲ私ハ望ミタルカラ配給機構ノ統合ヲ脱離シタ業者ニ對シテハ、當面ノ救濟策トシテ唯勞働方面ヲ以テ救濟金ヲ支出スルト云フ方法、ソレカラ配給機構ノ統合ヲ脱離シタ業者ニ對シテ唯勞働方面ニ行キサヘスレバ最低生活ハ保證サレルノヲ以テ救濟金ヲ支出スルト云フ方法、ソレカラ工場店舗ノ買收等ヲ以テ犠牲者ヘノ負擔ヲ引受ケルコト、以上ノ理想ヲ持ツタ者ガ商工省ニモ私ハ相當居ラレルノデハナイカ、是ガ今日普通言ハレル所ノ中小商工业者共、助救濟ノ途デアリマス、併シナガラ是ハ理想デハアリマスガ、殘存サレタ者ガ閉店シタ者、或ハ閉鎖シタ工場ニ對スル救助ノ途ヲ立テルコトハ非常ニ困難デアリマスカラ、先程商工大臣ハ是バカリデハイカヌカラ救助金ヲ出スノダト仰シヤツタ、ソレハ結構デアリマス、併シは擴大サレナケレバナラズ、一部ニ止メテハイケナイ、今申シマシタ三點デ以テ非常時對策トシテハ宜シイノデアリマスガ、是ハオ互ニ同業者ヲシテ共助スルコトガ出來ナイコトヲ餘程痛感シナケレバナラヌ、ナゼカト云フト、殘存シタ者モ平素ノ利益デハナイ、其ノ利益ノ無イ者ガ他ヲ救濟スルコトノ出來ナイコトハ言ヲ俟タナイノデアリマスカラ、此ノ點ニ對シマスル商工當局ノ偉大ナル御決心ヲ持ツタ御救助ヲ願ハナケレバナラヌ、ソレカラ重點工業ノ勞力不足ニ商業人ヲ轉換セシムルト云フコトデアリマスガ、是ハ一つノ途トシテ宜イト思フ、所ガ當時使用サレテ居ル小僧、番頭ト云フモノハ能力ヲ持ツテ居リマスガ、一家ノ主人ニナルト最早相當ナ年輩デアツテ、今日ノ勞働條件デハ肉體的精神的ニ之ヲ許サヌ者ガ澤山アル、ソレデスカラ唯机上ノ一つノ

理想デハ到底解決ハ出來マセカラ、其ノ邊ヲ十分御考慮ニ入レラマシテ、此ノ非現時對策ヲ樹立サレタイコトヲ私ハ望ミタルカラ配給機構ノ統合ヲ脱離シタ業者ニ對シテハ、當面ノ救濟策トシテ唯勞働方面ヲ以テ救濟金ヲ支出スルト云フ方法、ソレカラ配給機構ノ統合ヲ脱離シタ業者ニ對シテ唯勞働方面ニ行キサヘスレバ最低生活ハ保證サレルノヲ以テ救濟金ヲ支出スルト云フ方法、ソレカラ工場店舗ノ買收等ヲ以テ犠牲者ヘノ負擔ヲ引受ケルコト、以上ノ理想ヲ持ツタ者ガ商工省ニモ私ハ相當居ラレルノデハナイカ、是ガ今日普通言ハレル所ノ中小商工业者共、助救濟ノ途デアリマス、併シナガラ是ハ理想デハアリマスガ、殘存サレタ者ガ閉店シタ者、或ハ閉鎖シタ工場ニ對スル救助ノ途ヲ立テルコトハ非常ニ困難デアリマスカラ、先程商工大臣ハ是バカリデハイカヌカラ救助金ヲ出スノダト仰シヤツタ、ソレハ結構デアリマス、併シは擴大サレナケレバナラズ、一部ニ止メテハイケナイ、今申シマシタ三點デ以テ非常時對策トシテハ宜シイノデアリマスガ、是ハオ互ニ同業者ヲシテ共助スルコトガ出來ナイコトヲ餘程痛感シナケレバナラヌ、ナゼカト云フト、殘存シタ者モ平素ノ利益デハナイ、其ノ利益ノ無イ者ガ他ヲ救濟スルコトノ出來ナイコトハ言ヲ俟タナイノデアリマスカラ、此ノ點ニ對シマスル商工當局ノ偉大ナル御決心ヲ持ツタ御救助ヲ願ハナケレバナラヌ、ソレカラ重點工業ノ勞力不足ニ商業人ヲ轉換セシムルト云フコトデアリマスガ、是ハ一つノ途トシテ宜イト思フ、所ガ當時使用サレテ居ル小僧、番頭ト云フモノハ能力ヲ持ツテ居リマスガ、一家ノ主人ニナルト最早相當ナ年輩デアツテ、今日ノ勞働條件デハ肉體的精神的ニ之ヲ許サヌ者ガ澤山アル、ソレデスカラ唯机上ノ一つノ

手ヲ差延ベルト云フコトデナケレバナラヌ
ト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシ
テ、同業者ガ第一段ニ共助ノ施設ヲスルト
云フコトガ最モ望マシイノデアリマシテ、
是ノ負擔力ガアルカラ之ニシロト云フ意味
ヨリモ、寧ロ同業共助ノ此ノ犠牲者ニ對シテ
暖カイ手ヲ差延ベルト云フコトガ、非常時
ニ於テ最モ望マシイコトデアルト私ハ考ヘ
タノデアリマス、更ニ勞務ノ勤員ノ問題ニ
關シマシテハ軍需產業其ノ他時局產業方面
ニ於テ、是等轉廢業サレル所ノ人々ニ對シ
テ、又相當ノ自ラ犠牲ヲモ忍ンデ是ノ人
ヲ受入レテ、サウシテ是等ノ人ニ希望ノア
ル生業ヲ與ヘルト云フコトニ協力シテ貰ハ
ナケレバナラスト思ヒマス、唯從來ノ政府
ノヤリ方デ申シマスト、產業國民ノ方面ニ
此ノ犠牲者ノ共助ノ問題ヲ全然任シテ居リ
マシテ、國家自體ガ直接ニ之金ヲ出ストカ云
フヤウナコトヲシテ居ラナカツタノニ對シ
テ、吾々トシマシテハ今度ノ議會ニ之ニ必要
ナル共助金ヲ豫算トシテ計上シタ譯デアリ
マス、又勞務ノ轉換ノ問題ニ付キマシテモ、
御指摘ニナリマシタ如ク、番頭丁稚其ノ他使
用人等ハ比較的若クシテ、色々ナ他ノ業務ニ
モ比較的轉換ガ容易デアリマスガ、主人ノ轉
換ト云フコトニ付テハ非常ニ困難デアルト
シイ問題デアリマス、先づ第一ハ是等ノ老
若者ノ轉廢業ト云フモノハ、業界ニ於テ成
ハ非常ニ困難ナ問題デアリマシテ、ドウ之
ヲ解決シテ行クカト云フコトハ非常ニ難カ
ト云フ風ナ業界ノ取扱モ望マシイコト
デアリマス、又新シク勞務ヲ提供セシメ
ベク一つサウ云フモノハ高順位ニスル
ル方面ニ於キマシテ、是等ノ人々ニ對シマ

シテ相當犠牲ヲ拂ツテデモ、サウ云フ人々ニ優先的ニ手ヲ差延ベルト云フヤウニ持ツテ行クコトモ必要デアラウト思ヒマス、要ハ先程來申シマシタ通り、斯ウ云フ戰時非常時ノ事態ノ下ニ生ジタ所ノ犠牲、國民ノ中ニ生ジタ犠牲ト云フモノヲ、廣ク國民全體ノ戰時ノ一つノ犠牲トシテ之ヲ受入レテ、之ニ協力スルト云フコトガ、業界ハ勿論ノコト、總テノ方面ニ其ノ思想ガ徹底スルコトガ必要デアラウト思ヒマス、隨テ此ノ問題ヲ取扱フ所ノ役人、其ノ他ノ團體ノ職員等ノ心構ニ付キマシテモ、此ノ考へ方ガ十分ニ徹底ヲシテ、親切ニ而モ行届イタ方法ニ於テ總テヲ熱ヲ以テ處理シテ行クト云フコトデナケレバナラスト思ツテ居リマス

次ニ有限會社ヲ強制シテ設立セシメルカドウカト云フ問題ニ付キマシテハ實ハ吾々ハ強制力ヲ用ヒテ之ヲスルト云フヤウナ考へハ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ各種組合法規ニ付キマシテハ、現在アリマス所ノ組合ガ其ノ儘デ宜イカ、或ハ之ヲ新シキ事態ニ適應スルヤウニ改組スルカト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、目下折角研究中デアリマシテ、出來ルダケ早ク適當ナ成案ヲ得テ議會ニ提案ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマスソレカラ統制會ノ部門ノ問題ニ付キマシテ、機械工業ノ部門ニ於テ五ツノ部門ニ之ヲ分ツト云フ事柄ガ閣令デ指定サレテ居リマシテ、私モ其ノ方針ニ從ツテ統制會ノ設立ヲ取急イデ居ル次第アリマス、化學工業ノ問題ニ付テハ今日尙ホ閣令ノ指定ヲ見テ居リマセヌガ、大體政府ノ内意トシテハ全化學工業ヲ一ツノ統制會ノ下ニ統制セシムルコトニ意見ガ一致致シテ居リマス、近ク閣令ノ指定ヲ見ルモノト思ヒマス

ソレカラ金屬鑛山ニ付キマシテハ、ヤハ
リ全金属鑛山ヲ一ツノ統制會ノ下ニ結成セ
シメルト云フ考ヘデアリマス、是等ヲ通ジ
マシテ小サイ業者ガドウ云フ形デ入ツテ行
クカト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、各種
ノ事業デ必ズシモ同様ニハ行カヌト思ヒマ
ス、例ヘバ石炭ニ於キマシテハ地域別ニ組
合ヲ結成セシメマシテ、其ノ組合ガ統制會ニ
参加スルト云フヤウナ形ヲ執ツテ居リマス
シ、各種ノ産業ノ實情ニ從ツテ適當ナ方法
ヲ講ジナケレバナラナイト思ヒマス、必ズ
シモ畫一的ナ方針デ行クベキモノデハナカ
ラウト思ヒマス、ソレカラ纖維工業ノ統合
ノ問題ニ關シマシテ、更ニ詳シク内地物等
ノ整理ノ方針ニ付テ御質問ガアリマシタガ、
此ノ點ハ今日此處デ具體的ニ申上ゲルコト
ハマダ其ノ時期デナイト思ヒマスノデ、御
諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

ノ時代バカリト云フ譯デハゴザイマセヌガ、
餘程ノ御考慮ヲ願ヒタイ、例ヘバ七・七禁
令ヲ御出シニナツタ、國民ハ政府ノ總テノ
法律命令ノ範圍デ善良ナ仕事ヲシテ居ツ
タ之ヲ國策ナリトシテ即時販賣ヲ禁止シ、
製造ヲ禁止サレル、禁止スルガ、一ツノ物
ヲ製造スルニハ、又成上グルニハ其ノ日其
ノ場デ塗物ミタイニ出來ルモノデハナイ、
外國デハ斯ウ云フコトヲシヨウト思フト、
國民ニ迷惑ヲ掛ケナイ爲ニ一定ノ期限ヲ置
イテヤル、然ルニ七・七禁令ノ如キハ闇討
デアリマス、日本ノ資材ヲ以テ、日本ノ勞
力ヲ以テ製造シタル物ヲ無價價値タラシメ
ル、是ハ所有權ノ問題ニマデ及ブ大變ナ問
題ダト思フ、ソコデ是ハ岸商工大臣ノ時代
ニナサツタト云フ譯デハアリマセヌガ、是
等ノ實例ヲ見マシテモ、ヤリツ放シデス、
命令ヲ出シテサウ云フコトヲ行ハシメルケ
レドモ、後ノ責任者ガナイ、ソコデ自分ハ
餘リノ不條理デアルカラ、當時商工當局ト
モ御懇談申上ガ、陳情申上ガタ、ソレデハ
ドウシタラ宜イデセウト云フコトモゴザイ
マシテ、ソレハ製造販賣禁止ニ期日ノ豫告
ヲスベキモノヲサレナカツタノデアルカ
ラ、半年、一年ノ猶豫ヲ置イテ、ソレダケ
延期シナケレバナラスト云フコトヲ懇々申
上ゲタ、ソレガ爲デハアリマセヌガ、能ク
御認識ガ全體ニ才有リニナリマシテ、相當
ノ日ニチヲ御延バシニナリマシテ、其ノ結
果トシテ全國ニ非常ナル經濟上ノ恐ルベキ
結果ヲ招來シタコトモ御承知ノ通リデア
ル、然ルニ惡カツタカラ改メタト云フガ、
其ノ惡イコトヲ命令シ、ソレヲ指導シタ
所ノ責任者ト云フ者ハ一人モナイ、ヤリツ

リ放シダ、ソレデ私共ハ此ノ點ハ司法當局ニ向ヒマシテモ、前議會ニモ餘程喧シク言ツタ、ヤツテ見テイケナケレバ改メル、國民ヲ試験臺ニサレタノデハヤリ切レタモノデハナイ、サウ云フコトデハ產業經濟ノ健全ナル發達ハ阻礙サレルノデアルト云フコトヲ痛感シテ、其ノコトヲ強ク申上ゲタ、役人ノ方ハ勿論善良ナリトシテ御考ヘニナツテナツタノデアリマスカラ、必ズシモ私共責ナルノデハアリマセヌケレドモ、日本ノ統制經濟ガ外國ノ指導者原理ノ眞似ヲシテ、而モ外國ノヤウニ其ノ責任ヲ負フ者ガナイト云フニ至ツテハ、健全ナル戰時體制強化及ビ戰時經濟財政、商業政策ノ完璧ヲ期スルコトガ出米ルカドウカ、吾々ハ疑ハザルヲ得ナイ、今日ノ國民ハ非常ニ痛感シ、之ニ對シマシテハロデハ言ハナクトモ、心中ニ恐ルベキモノヲ持ツテ居ルノデハナイカト思フ、配給ノ問題ニ致シマシテモ、有ルモノヲ食ハセナイ、九州ニ於キマスル薩摩芋ハ數百万貫腐ツテシマツテ、經濟的價値ニモナラナケレバ飢エラ凌グ所ノ食糧ニモナラナイ、斯ウ云フヤウナコトヲシタモノニ一人トシテ責任ヲ負フモノガナイ、斯様ナ指導者原理、協同體原理ト云フモノハ有リ得ベカラザルモノデアルト思フ、之ヲ立案シ施行シタモノハ、本當ヲ言ヘバ外國ナラ官位マデ褫奪スル、ソレデアリマスカラドウシテモ官吏ナリ指導者ナリト云フモノハ、本當ニ責任ヲ持ツテ此ノ統制經濟ナリ、協同體組織ト云フモノヲ運營シテ戴カナケレバナラヌ、ヤリツ放シデ、イケナケレバ總テガ迭ツテ、先程言フヤウニ何等咎メルコトナクシテ直ゲ他ノ會社ニ榮轉シテ行クト云フニ至ツテ

ハ、私ハ國民ニ恐ルベキ思想ガ潛在スルヤウニナルノデハナイカ、此ノ點ガ一つ、岸商大臣ハ商工行政ニ付テハ日本ノ「オーバーリティ」デアル、凡ユル部門ヲ御潛リ下サイマシテ、國民ノ陳情モ能ク御聽キニナツテ能ク御承知ノ通リデアリマス、私規待致シマスノニハ、國民ニ不自由ト不利ヲ命ズルト共ニ、之ヲ指導シタ者ハ是レ以上ノ責任ヲ以テ、本當ヲ言ヘバ、昔デアレバ剝腹シテ天下ニ申譯スル底ノ覺悟ヲ持ツテ戴キタイ、机上ノ空論ヲ實行スルコトハ易イデス、併シソレニ依ツテ生ジタル惡結果ニ對スル責任ノ所在ヲ明カニスルコトハ困難デス、困難ダガ之ヲスルニアラザレバ、將來統制經濟ノ上ニ恐ルベキモノガ生ジテ來ル、元來統制經濟ト云フモノガ何故誤ルカト言ヘバ、先程來色々議論ガアリマスケレドモ、本當ヲ言フト、例ヘバ鐵ナラ鐵ヲ統制シテ、其ノ物ノ長トナル者ハ、ソレニ付テ二十年以上ノ經驗ヲ持ツタ者デナケレバナラヌ、「ドイツ」ナンカハ皆サウシテ居リマスカラ過チガナイ、何モ分ラヌ所ノオ役人ガ商賣行爲ヲナサルコトガ抑、間違ツテ居ル、官吏ハ商行爲ヲナシタ時ニハ、官吏服務紀律ノ上ニ於テ職ヲ免ゼラレル、其ノ人ガ商工行政ニ總テ携ハツテ、商行爲ノ中心ニナラレルト云フコトガ、私ハ今日ノ失敗ノ原因ノ皆トハ申シマセヌガ、相當之ニ原因シテ居ルコトヲ御痛感願ヒタイト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、私共ハ今度出來マスル產業設備營團ノ如キニ致シマシテモ、ヤハリサウ云フ點ヲ採リ入レラレテ、是等ノ總裁ナドト云フモノニ對シテハ餘程御考ヘヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、例ヘバ「ドイツ」ノ如キハ、

ノ業者デアリマスト、二十年以上ノ經験ノアル者ガ此ノ方面ノ統制ヲ繼テ牛耳ツテ居ル、サウシテ是ガ官僚化ニ對シテ「ドイルト是ガ有機的活躍ヲシマスルニハ、一ツノ机上ノ其ノ枯渴シタル所ノ定規ダケデハイケナイノデアリマスカラ、其ノ點ハ巧クヤツテ戴カナケレバナラヌ、馬鈴薯ヲ早く出セト云ヘバ、譯ノ分ラヌ者ガ、早ク出スノハ宜イガ、乾カナイ物ヲ出スカラ、問屋ニアル間ニ皆腐ツテシマフ、サウ云フ風ニシテ食糧缺乏、資材ノ缺乏ノ時ニ經濟的ニ活用セシムルコトナクシテ無ニ歸スルト云アルカ、斯様ナコトカラ私共ハオ役人サンヲドウスウト云フ譯デハアリマセヌガ、モウ少シ根本ニ觸レテ商工政策ノ大本ヲ樹立シテ戴キタイト私ノデアリマス、ソレデアリマスルカラ此ノ產業設備營團ノ總裁ニ致シマシテモ、其ノモノニ若シ色々ノ地位ガアルナラバ、地位マデ褫奪スル位ノ本當ノモノデナケラネバ、唯國民ニ命令スルガ、命令シタ者ハ何人モ責任ヲ負ハスト云フノデハ、世界各國何レノ國デモ失敗ニ終リマス、威壓ヲシテ之ニ依ツテ事ヲナサシメルト云フコトダケデナクシテ、本當ニ心カラナル國民ノ協同體ト云フコトニナサシメルノニハ、上下ヲ通ジテ其ノ賞罰ト云フモノヲ明カニシナケレバナラヌノデアリマシテ、此ノ點ハ私ハ岸國務大臣ノ間ニ斯ウ云フ點ノ原理ヲツ樹立サレルト云フコトノ端緒ヲ開イテ貰ヒタイト思フノデアリマス、是等ニ對シマシテ商工大臣ハ何等カノ

○ 岸國務大臣 統制經濟實行ノ衝ニ當ルベ
キ指導者ハ責任ヲ明カニシナケレバナラナ
イト云フ御論旨ニ對シマシテハ全然同感デ
アリマス、隨ヒマシテ私共統制會ノ會長ニ
付キマシテハ、一面ニ於テ其ノ業界ノ指導
者トシテ業界全體ノ統制ニ對シテ十分ナ責
任ガ盡セルダケノ權限ヲ任せ、之ヲ信頼シ、
之ヲ尊重スルト同時ニ、其ノ全責任ニ於テ
總テノコトヲヤツテ貰フ、責任感ヲ明カニ
シテ此ノ問題ニ當ツテ貰フト云フ事柄ヲ強
ク要望致シテ居ルノデアリマス、私共統制
會が今後ノ產業統制運用ノ中心トナルト云
フ事柄ヲ考ヘマシテ、統制會ノ組織竝ニ其
ノ會長ノ問題ニ付キマシテハ、業界ノ實情目
ニ適シ、眞ニ業界ノ輿望ヲ擔ツテ居ツテ、
全責任ヲ以テ此ノコトニ當ルト云フ眞面目
ナ人ニ之ヲ引受ケテ貰ツテ、サウシテ強イ
責任感ノ下ニ強イ權限ヲ施行シテ、以テ產
業統制ノ完璧ヲ期シテ貰フト云フ考ヘデア
リマス、又本營團ノ役員ニ付キマシテモ同
ジ考ヘデアリマシテ、役員ガ本營團ノ目的
ヲ達成スル爲ニ必要ナ事業ヲ行ツテ行ク事
柄ニ關シマシテハ、出來得ル限り役員ノ創
意ニ於テ其ノ經驗ト知識ヲ傾ケテ、以テ此
ノ營團本來ノ使命ヲ達成スルヤウニ、活動
ガ十分ニ行クヤウニ一面ハ考ヘルト同時
ニ、此ノ役員トシテハ重大ナ責務ヲ持ツテ
居ラレル譯デアリマスカラ、其ノ責任ヲ飽
クマデモ明カニシテ、御話ノ通り賞罰ヲ明
確ナラシメテ行クト云フコトガ望マシイト
思フノデアリマス

カト云フ御質問モアリマシタガ、役員ガ三十八條ノ規定ニ依ツテ其ノ職務ヲ適當ニ行フコトガ出来ナイト云フ意味ニ於テ政府力ヲ解任ヲサレルト云フ事柄ハ、謂ハベ懲戒免任デアリマシテ、役人トシマシテハ懲戒免官ガ其ノ役人ニ對スル最高ノ制裁デアル如ク、此ノ解任ガ行クナラバ、其ノ人ノ恐ラク社會的活動ト云フモノモ將來はガ爲ニ出来ナイト云フコトニナルグラウト思ヒマス、要ハ之ニ對スル役員又政府ガ責任感ヲ發揮スルコトデアリ、隨テ間違ツタ場合ニ於キマシテ、其ノ責任ヲ明カニスル、之ヲ實行スルト云フコトデアラウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ單ニ三十八條ノ處罰ガ非常ニ輕イカラシテ、役員ノ責任が明カデナイト云フヤウナ考へハ實ハ持ツテ居ラナイノデアリマス、何レニシロ政府、統制會、又此ノ營團等、重大ナル國家的使命ヲ遂行すべき地位ニアルモノニ付キマシテハ責任ヲ明カニシ、又之ニ當ル人ガ責任ヲ明確ニ痛感スルヤウニ指導致シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○岸國務大臣 要ハ役員ガ此ノ營團ノ使命ト云フモノノ重大サヲ自覺シ、隨て是ガ施行ニ當ルト云フ事柄ガドウ云フ意味ヲ持ツカドウカニ依ツテ私ハ解任ノ意義が非常ニ違フト思フノアリマス、唯一般ノ營利的ナ仕事デアルトカ、或ハ通常ノ仕事ヲシテ居ルト云フヤウナ心構ヘデ此ノ事ヲヤツテ居ルナラバ、或ハ或ル場合ニ於テハ解任サレルコトガ迷惑デナシニ、却ツテ宜イト云フヤウナ感ジモアルカモ知レマセヌガ、此ノ職務自體ガ非常ナ國家的重要ナコトデアリマスト共ニ、此ノ地位ニ就キマス爲ニハ、國家ノ使命ニナツテ居リマシテ、而モ定款ニ違反スルトカ、或ハ法令ニ違反スルトカ、或ハ公益ヲ害スルト云フ理由ヲ以テ其ノ地位ヲ剥奪サレタ場合ニ於キマシテハ、私ハ理事者トシマシテ相當ナ責任ヲ感ブルコトデアリ、又社會的ニ言ヒマシテモ相當強イ制裁デアルト、斯ウ信ジテ居リマス。

○服部英委員 只今ノ御答辯デハ一寸満足致シ兼ネマスガ、何レ後ノ順序ノ場合ニ於テ又御尋ネ致スコトニ致シテ、是デ打切リマス

○福田(闕)委員 モウ大體終ヒデアリマスガ、一、二御伺ヒシタイト思ヒマス、近時私有權ニ付キマシテ色々ナ疑惑ヲ持ツテ吾吾ニ質問シテ來ル者ガアリマシテ困ルノデアリマス、私有權ノ尊重ハ、職業ノ完全ナル亨有、自己ノ危險ト負擔トニ基キマスル企業ノ遂行等、是ハ私有權當然ノ途デアルノデアリマス、コンナ考ヘガ段々擴マリツツアルト云フコトハ、果シテ現時日本ノ國策ガ治安維持法デ禁止シテアル事項ニハ少

シモ觸レヌノデアルト解釋シテ宜イノカドウカト云フ點デアリマスガ、此ノ點ハ餘程國民思想ニ及ボシマスル影響モ重大デアリマス、固ヨリ此ノ非常時局デアリマスカラ、平時ニ於キマスルヤウナ考ヲ持ツ者ハゴザイマセヌケレドモ、其ノ根本ニ於テ、例ヘバ「イタリ」ニ致シマシテモ「ドイツ」ニ致シマシテモ、非常時デアル、非常時デアリマスガ、サウ云フ方面ハ儼然トシテ之ヲ確保スルニ政府其ノモノハ努力サレテ居ルノデアリマス、是等ニ對シマスル政府ノ御考ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス
ソレカラ此ノ營團ノ條項ニ付テ一、二御伺ヒ致シマス、維持困難ナル事業カ今度御着手ニナラウト思フモノニ相當アラウト思フノデアリマスガ、其ノ維持困難ナル事業ヲドウ云フ形式デ御繼承ニ相成ルト云フコトニナルノデアリマセウカ、此ノ場合ハ事業者ト共同的ニ運營サレルノデアルカ、其ノ困難ト思フ設備ヲ悉ク買收スルモノデアルカ、其ノ點ヲ承リタイト思ヒマス、ソレカラ又其ノ買收維持建設ニ付キマシテ、遊休設備、又ハ維持困難ナル事業、工場ヲ選定スベキ一定ノ基準ガアルノデゴザイマセウカ、ドウデアリマセウカ、是ガ私ハ實際ニ當リマシテ餘程難カシイト思フ、先程中央金庫或ハ更生金庫ノコトヲ御話ニナリマシテ、是ガ爲ニ非常ニ中小商工業者ナリ一般ガ助カルト云フヤウナ御話ガゴザイマシタ、是ハ形式論カラ言ヘバ或ハ左様ニ歸結致シマスガ、實際論ト致シマシテハ、厚生金庫ノ如キハ先程他ノ同僚カラモ御話ヲサレマシタヤウニ、目下殆ド效力ハアリマセヌ、ナイト云フノハ嘘デ、アルノガ本當デアリマス、併シ理論デハアルノデアリマス

ガ、實際ニハ殆ド效力ガゴザイマセヌ、ソ
レハ何處ニ理由ガアルカト云フト、斯ウ云
フヤウナ建設物ナリ、工場ノ認定ニ付テハ
非常ナ困難ガアル、ソレデアリマスカラ今
度本營團ヲ設立相成リマシテ、是等ノモノ
ヲ活用シテ、生産力擴充モシ、一面ニ於テ
ハ相當ナル國家產業ノ基準ヲ確保スルト云
フコトニ御志シデアリマスケレドモ、中々
困難デアリマス、丁度厚生金庫ガ人ニ金ヲ
アルノデアリマスガ、此ノ點ハドウ云フヤ
貸サウトシテ色々調査致シマシテモ、結局
ハ貸セナイト云フコトニナツタ時ニハ、餘
程此ノ營團ノ目的達成ノ上ニ副ハナイ所ガ
アルノデアリマスガ、此ノ點ハドウ云フコ
トニ御考ヘデゴザイマセウカ、ソレカラ例
ヘテ見ルト或ル工場ガ、大體常識カラ見テ、
此ノ營團ニ吸收スペキモノデアルト云フコ
トガ認メラレマシテモ、中々此ノ役員ノ人
人ノ感情ニ依ツテ、因縁情實ニ依ツテ、當
然必要ト認メラレルモノガ阻碍サレテ、然
ラザルモノガ却テ採用サレルト云フコト
ハ、是マデノ國策會社及ビ國家的ノ發動ノ
上ノ實績カラ見マスト非常ニ多イノデアリ
マス、斯ウ云フ點ニ付テ政府ハ相當ニ何カ
ノ基準ヲ御設ケニナル積リデアリマスカ、
唯ヤリツ放シデソレ等ノ役員ノスル通りニ
委シテ置クト云フノデアリマスカ、實際ニ
於キマシテハ中々情實因縁ガ之ニ加ハルト
云フコトヲ御考ヘ願ヒタイ、之ニ對シマス
御考ヘハドウデアリマスカ、又先程カラノ
御話ヲ私ハ聽カナイ點モアツタノデアリマ
スガ、是ハ軍需產業ノ轉向ニ適シタル大工
場ダケヲ中心ニナサルノデアリマスカ、之
ヲ斯ウスレバ斯ウ云フ有用ナモノニ轉換ガ
出來ルト云フ見込ノ時ニハ、軍需產業ノミデ
ナクテ、ヤハリソレニ轉向セシメルト云フ

コトニ此ノ營團ガ効キ掛ケルノデアリマス
カ、其ノ點ヲ承ツテ見タイト思フノデアリ
マス

マスガ、今ハ使ハヌガ斯ウ云フモノハ保存シテ置カナケレバナラナイ、又平和克復ノ後ニ御考ヘ願ヒタイノハ、日本ハ資材モ外國カラ來マセヌシ、第三國ニ對スル貿易モ全ク杜絕シテ居ルノデアリマスガ、平和克復ノ後ニハ世界各國ハ商權ノ獲得、所謂商權戰爭ト云フノガ今度ハ武器ノ戰爭ニ代ツテ起ルノデアリマス、其ノ時ニ日本ガ俄ニ世界ノ經濟戰ニ對抗シテ行カウトシテモ、其ノ準備ガナケレバ、日本ノ將來戰後ト云フモノハ暗澹タル結果ヲ生ズルノデゴザイマスカラ、其ノ平和克復後ニ於ケル世界經濟戰ニ對應スベキ大所高所ヨリノ御考ヘヲ以テ、此ノ遊休設備ナリ、或ハ未動設備等ヲ活用サレル御考ヘヲ以テ此ノ營團等ニ對シテ居ルノデアリマスカ、此ノ營團ハ百七八億ノモノヲ僅カナ費用デ運營スルノデアリマスカラ十分デアリマセヌガ、商工當局トシテハ平和克復後ニ於ケル所ノ日本ガ世界經濟ニ對應スベキ大所高所ヨリノ政策ガ確立サレテ居リマスカドウカ、一ツ承ハツテ置キタイト思ヒマス

ソレカラ第二十條ニ於テ「政府ハ產業設備營團ガ第十七條第一項第一號又ハ第三號ノ規定ニ依リ設備ヲ買受ケタル場合ニ於テ之ヲ賣渡シタル者ニ對シ其ノ代價トシテ受ケタル金錢又ハ國債證券ノ處分ニ關シ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得」トアルノデアリマスガ、是ハ勅令デ謳ハレルカドウカ知リマセヌガ、此處ニモ疑ヒヲ生ズルノデアリマス、苟モ政府ガ人ノ所得權ヲ買收サレマ

シテ、ソレニ興ヘタル所ノ代價モ是ガ「金
錢又ハ國債證券」デアリマスカラ、國債證
券ガ多ク興ヘラレルト見ナケレバナリマセ
ヌ、此ノ條章ニ依ルト其ノ國債證券デサヘ
モ其ノ處分ヲ半禁止スルト云フヤウニ見エ
ルノデアリマス、サウシマスト自己ノ品物
ヲ賣ツタ金ノ使用ニ付テモ制限ヲ受ケルト
云フコトガ、所有權ノ上ニ於キマシテモ相
當働キ掛ケルノデアリマシテ、國民ノ疑ヒ
ヲ挾ム結果トモナルノデアリマスガ、此ノ
點ハドウ云フ指示ヲナサルノデアリマスカ、
之ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス
ガ、ソレカラ先程來度々御話ガゴザイマシタ
員デモナイ、無論官吏デハナイ、サウシマ
スト一ツノ私立會社ノ役員ト變ラナイノデ
アリマシテ、今マデモ私共ハ國家ノ豫算實
行ノ上ニ於キマシテ隨分長キニ瓦ツテ經驗
ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、實際常識力
ヲ見マシテモ國家ニ不利益ナ契約ヲ締結サ
レルコトガ少クナイ、サウ云フ場合ハ枚舉
ニ遑ガナイノデアリマスガ、殊ニ是等官吏
ニアラズ、公務員ニアラザル者ガ一ノ方面
ノ要請、情實、因縁、利害等ニ依リマシテ
非常ナル營團ニ不利益ナ契約ヲ締結スルコ
トガアルト云フコトヲ想像シナケレバナリ
マセヌ、今、岸商工大臣ノ御話ニ依リマス
ト、人選等ニ於テハ非常ニ嚴選ヲシテ遺憾
ナキヲ期スルト云フコトデゴザイマスカラ
サウ云フコトハゴザイマスマイ、併シ今日マ
デ國家ノ官吏ノ方ノナサレマシタ事業遂行
上ノ契約ニ付テモ恐ルベキ結果ガ生ジテ、
國家ノ受ケマス損害ハ幾億圓ニ及ンデ居ル
カ測リ知ルコトガ出来マセヌ、斯ウ云フ事
實ハ私共ハ知悉シテ居ルノデアリマシテ、

アリマスガ、是等ガ非常ナ不利益ナ契約ヲ以テヤツタ云フコトハ、如何様ニモ解釋ガ出来ル、認識ヲ過ツタト言ヘバソレキリナビスウ云フ國難ニ處シマシテノ事業一ツハ救濟トナリ國家産業擴充ノ基本トナルノデアリマスカラ、私共ハサウ云フヤウナ過チノナイヤウニ致シマスル爲ニハ、ソコマデノ御留意ヲ願ハナケレバナラスト思フノデアリマス、今日マデノ經驗ニ基イテ此ノコトヲ申上ゲルノデアリマスガ、是等ニ対シマスル御所見モ一つ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

ソレカラ最後ニ、是ハ御答辯ハ要リマセヌガ、先程來私共ガ申上ゲマシタコトニ付テ、岸商大臣ハ大體ニ於テ斯クノデアルト云フコトニハ御贊意ヲ表セラレ、商工省トシテモ其ノ通リニ依ツテ總テ國策ヲ遂行シテ行クト云フコトヲ仰セニナリマシタノデゴザイマスガ、兎角政府ノ議會ニ於キマスル御答辯ハ、ドウモ其ノ政府ナリ國務大臣ナリ其ノ他ノ方ガ毎年此處ニオイデニナルト云フコトガ困難ナ場合ガゴザイマシテ、オ送リニナリマスト、遂ニ其ノ根本ノ精神ガ動搖シテ來ル、是デハ商工行政ノ本當ノ確立ト云フ、一貫シタル所ノ商工行政ノ確立性ガ缺ケルノデゴザイマスカラ、凡ソ國務大臣トシテ仰セニナリマシタコトハ歴代ノ國務大臣モ之ヲ踏襲セラレテ、政策ニ付テハ其ノ場ノデ變リマスルケドモ、サウ云フ精神的方面ニ付キマシテハ何處マデモ之ヲ一貫シテ、商工行政ノ上ニ於テ、商工省ノ傳統トシテ參ルト云フヤウナ方法ヲ御講ジハ出來ナイモノデゴザイマセ

○岸國務大臣 色々ナ點ニ付テノ御質問デ
アリマシテ、私ヨリ先づ總括的ノ御答ヘヲ
申上ゲマジテ、専門的ノモノニ付キマシテ
ハ政府委員カラ御答辯申上ガルト云フコト
ニ致シタイト思ヒマス、戰後ニ處スベキ世
界政策的ナ見地カラ、此ノ未動遊休施設ノ
活用等ニ付テモ考ヘテ居ルカ、又商工省ト
シテサウ云フコトニ付テ對處スベキ場合ニ
於テノ全產業ノ見透シヲドウ云フ風ニ持ツ
テ居ルカト云フ御間ヒデアリマスガ、今日
未動遊休施設ガ出來マシタ事柄ハ、其ノ原
因ハ色々アリマセウケレドモ、現在直面シ
テ居リマスル所ノ急速ニ國防國家體制ヲ整
備スル必要カラ起ツテ居ル問題デアリマシ
テ、隨テ一口ニ未動遊休施設ト申シマシテ
モ、其ノ悉クガ「スクラップ」サレルトカ、
或ハ之ヲ買取ツテ廢棄スルト云フ性質ノモ
ノデハナインデアリマス、其ノ大部分ハ將
來ノ爲ニ之ヲ保有シテ置カナケレバナラヌ
モノデアルト思フノデアリマス、其ノ保有
ニ付キマシテハ先刻モ申上ゲマシタ通り、
第一段ニ於テハ各企業ニ於テ、又企業者ノ
共同ノ施設ニ於キマシテ、之ヲ保有スルト
云フヤウナモノニ付テハ、保有ノ途ヲ講ズ
ベキデアリマス、併シナガラ又業者々々ノ
團體等ニ之ヲ保有セシメルダケデハ到底適
當デナイト思フモノハ、此ノ營團ガ代ツ
シ通スト云フコトハ困難デアリマシテ、
テ保有スルモノモアルト思ヒマス、併シ
又一面吾々ガ今後ニ直面スベキ事態ト
云フモノハ、今日カラ總テノ場合ヲ豫測
隨テ其ノ事態如何ニ依リマシテハ、一應
保有スルト云フ見透シヲ持ツテ居リナ

ガラ、更ニ他ノ緊急ナ目的ノ爲ニ之ヲ
廢棄スルトカ、或ハ之ヲ利用スルト云フ必
要ノ生ズルモノモアラウト思ヒマス、併シ
ナガラ大體ニ於キマシテハ、現在直面シテ
居ル事柄ハソレニ對處スルトシテ、將來ノ
見透シハヤハリ持ツテ、此ノ未動遊休施設
ノ活用利用、又保有廢棄ト云フヤウナ問
題ヲ考ヘテ行カナケレバナリマセヌシ、又
吾々トシテハ考ヘテ居ル次第デアリマス
ソレカラ各種ノ統制強化ト共ニ、私有權
自體ニ對シテノ色々ノ問題デアリマスガ、私
有權ノ問題ニ關シマシテハ、治安維持法ガ
アリ、又此ノ根本ラドウスルト云フ考ヘ方
ヲ何人モ持タナイコトハ言フヲ俟タナイノ
デアリマスガ、併シナガラ國家ノ現實ノ必
要カラ是ガ色々ナ制限ヲ受ケルト云フコト
亦已ムヲ得ナイノデアリマシテ、勿論國民
ト雖モ今日絶對無制限ノ完全ナル私有權ヲ
主張シ、是ガ私有權デアルトシテ之ヲ主張
シテ居ル者ハナカラウト思ヒマス、唯問題
ハ、實際國家全體ノ必要ガ要求スル場合ニ
於キマシテ、其ノ限度ニ於キマシテ、憲法
ヲ交付シ、又或ル場合ニ於キマシテハ、此
ノ支拂代金トシテ受ケタ所ノモノニ付テ、
其ノ處分ニ關シテ必要ナル指示ヲスルト云
取リマシタ所ノ設備ノ反對給付トシテ公債
ヲ問題ハ、是ハ「インフレーション」防止ノ
見地カラ適當ナ制限ヲ加ヘルコトガアル
ト云フコトヲ定メテ居ル譯デアリマス、今
日此ノ設備營團ガ活動シテ、相當ナ額ノモ
ノガ未動遊休施設ノ反對給付トシテ交付サ
ト、戰時經濟遂行上「インフレーション」ノ
レ、ソレガ流通スルト云フコトニナリマス

惡影響ヲ受ケルコトニナツテ困ルデハナイ
カト云フ點モ、一部ニ於テハ懸念サレテ居
ルコトデアリマス、是等ニ對シテ十分ナル
對處スル途ヲ講ジテ置クト云フ事柄ガ、產
業設備營團ノ事業ノ上カラ申シマシテモ、
產業全體ノ上カラ申シマシテモ、更ニ國民
生活ノ確保ノ上カラ申シマシテモ必要ナフ
デアリマス、サウ云フ見地カラ來テ居ル譯
デアリマシテ、決シテ私有權其ノモノノ本
體ニ疑問ヲ持タセルヤウナ見地カラ是が起
ツテ居ルモノノナイコトハ十分御諒承願ヒ
タイト思ヒマス、隨テ國民ガサウ云フ誤解
ヲ此ノ問題カラ抱クコトハ絶對ナイト思ヒ
マスケレドモ、尙ホ特ニサウ云フ意味ヲ一應
申上げテ置キタイト考ヘテ居リマス、他ノ
事ハ政府委員カラ申上げマス
○神田政府委員 只今大臣カラ御答辯ガア
リマセナカツタ點ニ付キマシテ御答ヘ致シ
マス、其ノ一つハ本營團ガ買收シマンタ設
備ヲ軍需工業以外ノ方面ニモ利用スルカト
云フ御質問デゴザイマスガ、勿論軍需工業
以外ノ所謂生產擴充計畫產業ト稱セラレマ
ス産業、其ノ他戰時ニ必要ナ代用品工業、
不足物資工業ト云フヤウナ方面ニハ利用サ
レル譯デアリマス、ソレカラ此ノ營團ノ役
員ガ公務員デモナケレバ役人デモナイ、サ
ウ云フ者ガ國家ニ不利ナヤウナヤリ方ヲ執
ツタ場合ニ、何等罰則ガナイデハナイカト
云フ御質問ニ對シマシテハ、サウ云フ場合
ニハ是ハ刑法上ノ背任罪ニ當然行クヤウニ
ナルカト吾々ハ考ヘテ居リマス、以上落チ
マシタカモ知レマセヌガ、一應御答ヘ致シ
マス

○横川委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、
明日ハ午前十時ヨリ質疑ヲ續行政シマシテ、
大體午前中ニ於テ質疑ヲ打切りタイト考ヘ
テ居リマス

午後六時五十分散會

昭和十六年十一月十八日印刷

昭和十六年十一月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局